困ったときは

付属の各説明書をご覧ください。
本書および別冊の「取り付けと接続」、「ホームステーション取扱説明書」（NV-XYZ88/XYZ77/XYZ33に付属）には、困ったときに役立つ情報（「困ったときは」「用語集」「索引」「エラーメッセージ一覧」など）が記載されています。

それでもわからないときは下記にお問い合わせください

XYZ（ジィーゼット）と関連商品について

- 商品の情報
- アップグレード/更新地図のご案内
- 商品の取り扱い
- お買い物相談
- 商品の故障や修理（型名、お買い上げ日、症状を具体的にご連絡ください。）

■ XYZ関連ホームページ

XYZホームページ：http://www.sony.co.jp/XYZ/
サポートのページには、FAQ（よくあるご質問）やアップグレード/更新地図のご案内などが掲載されています。
Sony Mobile：http://www.sony.co.jp/SonyMobile/
Sony Drive：http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

■ お客様ご相談センター

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
- ナビダイヤル…………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
- Fax………………………………0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

電話は自動応答にてお受けしています。

VICS情報について

- XYZの調子や使用方法、受信の可否
- 地図表示（レベル3）の内容
- VICS情報の受信エリアや内容の概略

- 文字情報（レベル1）の内容
- 簡易図形表示（レベル2）の内容
- VICSの概念、サービス提供エリア

■（財）VICSセンター（東京センター）

電話によるお問い合わせ
電話番号：0570-00-8831
（全国から市内通話料金でご利用になれます）
携帯・PHS専用：（03）3592-2033（東京）
（06）6209-2033（大阪）
受付時間：9:30 ～ 17:45
（土日、祝祭日、年末年始のセンター休日は除く）

Faxによるお問い合わせ
Fax番号：（03）3592-5494（全国）
受付時間：24時間

- VICSの最新情報、FM多重放送局の周波数の情報など

■（財）VICSセンターのホームページ

URL：http://www.vics.or.jp/

地図の情報について

地図データや検索データなど

■ 株式会社ゼンリン

フリーダイヤル：0120-210-616
受付時間：月～金 10：00 ～ 17：00
（祝祭日、株式会社ゼンリン指定休日は除く）

お問い合わせ先に迷ったら、お客様ご相談センター、またはお買い上げの販売店までご相談ください。

eco info
・主なはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
・包装用緩衝材に発泡スチロールを使用していません。
・外箱の表層に100%雑誌古紙を使用しています。
・主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
・この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan
2-548-189-**02**(1)

SONY
HDD AV NAVI SYSTEM
NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55/XYZ33
取扱説明書

SONY

取扱説明書



XYZ

HDD AV NAVI SYSTEM

NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55/XYZ33

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　本機は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

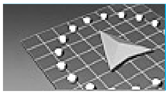
この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

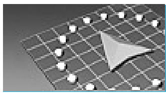
本書は、NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55/XYZ33で共通です。以下の記号を参考にご覧ください。

[全機種]：全機種共通で使える機能
[88]：NV-XYZ88で使える機能
[77]：NV-XYZ77で使える機能
[55]：NV-XYZ55で使える機能
[33]：NV-XYZ33で使える機能

共通操作－すべての機能で使えます



ナビゲーションを使うための準備



ナビゲーションを使う



テレビを見る *2



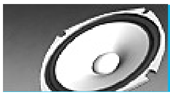
外部機器/バックカメラを使う *2

本書で使っている画像は、スチル画像によるイメージのため、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

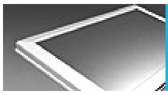
*1 NV-XYZ33は別売りのリモコンRM-X700が必要です。
*2 NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。(NVA-TS2にはさらに市販アンテナが必要です。)
*3 別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5が必要です。
*4 NV-XYZ55は別売りのホームステーションNVA-HS1が必要です。

次のページにつづく

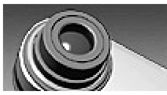
目次（つづき）



音楽を聞く



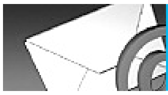
ビデオを見る



写真を見る



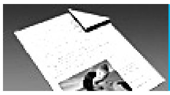
インターネット（メール/ホームページ）を使うための準備



メールを使う



ホームページを見る



ファイルブラウザを使う

PDFを見る

その他

* NV-XYZ55は別売りのホームステーション NVA-HS1が必要です。

⚠警告 安全のために

本機はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより、人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「取扱説明書」および「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 運転中に画面を注視しない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。
- ナビゲーションでのルート案内時は、一方通行など実際の交通規制に従って運転する。
- 自動車の運転中にナビゲーションシステムの画面を凝視することは法律により制限されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

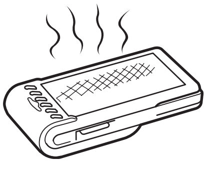
故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら

煙が出たら



❶ **安全な場所に車を停める。**

❷ **電源を切る。**

❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

「取扱説明書」および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

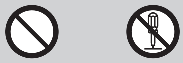
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電　手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止

行為を指示する記号



指示

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

⚠警告 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電、**により**死亡や大けが**の原因となります。

正しく取り付ける

本機をご自分で取り付けるときは「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。なお、拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77のみ付属）の取り付けは専門知識が必要です。取り付けはお買い上げ店などにご相談ください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

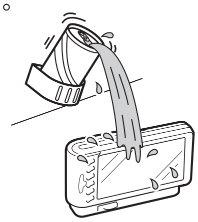
指示



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

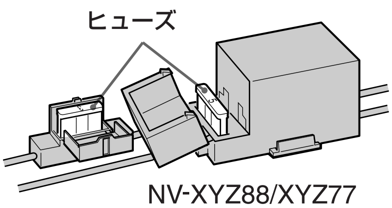


規定容量のヒューズを使う

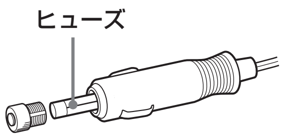
ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。

規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

指示



NV-XYZ88/XYZ77

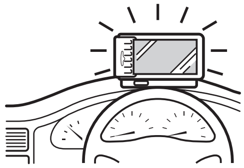


NV-XYZ55/XYZ33

前方の視界を妨げる場所に、モニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。

禁止

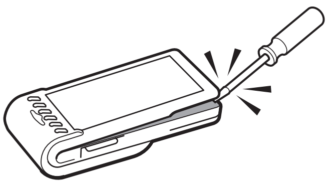


分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

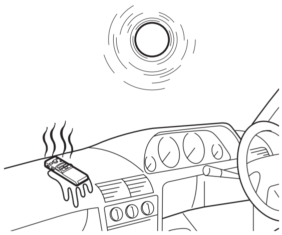
分解禁止



リモコンをダッシュボードに置かない

ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置すると、電池の液漏れ、破裂によりけがの原因となります。

禁止



エアバックの動作の妨げになる場所に取り付けない

動作の妨げになる場所に取り付けると、けがの原因となります。

禁止

⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車**に**損害**を与えたりすることがあります。

XYZ本体を確実に取り付ける

XYZ本体を確実にインダッシュステーションまたはカーステーションに取り付けないと、落ちるなどして、事故やけがの原因となることがあります。

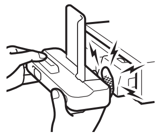




取付台を前後に調整するときは、裏側に指を入れない（NV-XYZ88のみ）

指をはさまれ、けがの原因となることがあります。





電池についての安全上のご注意

電池の使いかたを誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

⚠危険

- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受ける。

⚠警告

- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流す。
- 乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 火の中に入れたり、加熱、分解、改造しない。
- 電池の（＋）と（－）を正しく入れる。
- ショートの原因となるので、金属製のコインやキー、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池は充電しない。
- 使い切った電池はすぐに機器から取り出す。
- 長期間使用しない場合には、機器から電池を取り出す。

⚠注意

- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけない。
- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させない。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所に放置、保管しない。
- 電池を保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部（金属部分）を絶縁する。
- 電池を水などでぬらさない。

重要なご注意

「使用上のご注意とお手入れ」（184ページ）も、あわせてお読みください。

重要！

必ず下記のことを守ってください。守らないとXYZ本体の機能が使えなくなります。

- 付属（NV-XYZ55の場合は別売りのNVA-HS1に付属）のソフトウェア以外では、XYZ本体ハードディスクをフォーマットしないでください。
- 付属（NV-XYZ55の場合は別売りのNVA-HS1に付属）のソフトウェア以外では、XYZ本体ハードディスクのファイルを追加/削除/移動したり、ファイル名の変更をしたりしないでください。
- XYZ本体を車内などの高温多湿または低温になる場所に放置しないでください。

ハードディスクについて（ハードディスクを壊したり、大切なデータを失ったりしないために）

XYZ本体には車載用に設計されているため、別冊の「取り付けと接続」に沿った正しい設置がされていれば安心して車でも使えます。しかし、何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データは修復できません。大切なデータを失うことのないよう、特に以下の点にご注意ください。なお、XYZ本体のハードディスクの記録内容の補償について、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

- お客様自らでハードディスクの交換や増設を行わないでください。
- XYZ本体を落としたり、ぶつけたりするなど強い衝撃を与えないでください。
- 悪路走行など激しい振動が加わる場所や不安定な場所で使わないでください。
- 電源を入れたまま本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中（XYZ本体のハードディスクアクセスランプが点灯中）には、絶対に電源を切ったりリセットしたり、インダッシュステーションまたはカーステーションからはずしたりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使わないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。

データのバックアップのお願い

ソフトウェア更新時や修理時に、まれにデータが消失したり変更されたりすることがあります。これらの作業を行う前は必ず、自らで、データをバックアップしてください。データの消失に関する補償やそれに付随する損害には、弊社は一切の責任を負いかねます。なお、“メモリースティック”などの記録媒体そのものの故障の場合にも、データの修復はできません。大切なデータは定期的にバックアップすることをお勧めします。

XYZ本体やインダッシュステーション、カーステーションの取り扱いについて

XYZ本体のガラスが割れたり、故障の原因となったりするので、以下のことにご注意ください。

- XYZ本体を落としたり、強いショックを与えたり、重いものを載せたりしないでください。
- 雨または湿気にさらさないでください。
- 画面を強く押さないでください。XYZ本体をインダッシュステーションまたはカーステーションに取り付けたり、取りはずしたりする際も充分注意してください。
- 硬いものでXYZ本体の画面を操作したり、強打したりしないでください。
- XYZ本体をインダッシュステーションまたはカーステーションに無理に取り付けないでください（接続端子が壊れることがあります）。
- 持ち運びの際は必ず付属のキャリングケースに入れてください（キャリングケースはXYZ本体を傷から守るためのものであり、衝撃を防ぐためのものではありません。取り扱いにはご注意ください）。

- 内部に水や砂などの異物を入れないでください。万一水や砂などの異物が入ったときは、すぐにXYZ本体の電源を切り*、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

  * NV-XYZ88/XYZ77のみ。NV-XYZ55/XYZ33では電源コードをシガーソケットから抜いてください。
- XYZ本体やインダッシュステーション、カーステーション、拡張ステーションを分解しないでください。
- 接続端子に金属物や金属片が触れないようにしてください。接続端子がショートすることがあります。
- "メモリースティック""CF（コンパクトフラッシュ）カード"のスロットに異物を入れないでください。
- 温度が5℃以下、または45℃以上の場所では使わないでください。
- 本機が高温になり正常に動作しない場合はいったん電源を切り、温度が下がってから電源を入れ直してください。
- 寒い場所で使うと、内部照明装置（バックライト）が暗くなります。車内の温度が上がると元に戻ります。
- XYZ本体は寒冷地で使うと、機器を保護する仕様になっています。寒冷地で起動する際に「本体の温度が低すぎるため起動できません。しばらくお待ちください」が表示されたときは、ヒーターなどで車内の温度を上げ、本機内部の温度が上昇し、起動するまで、しばらくお待ちください。

アクセサリー（ACC）ポジションのない車で本機をお使いの場合には

アクセサリー（ACC）ポジションのない車では、エンジンを切った際には必ず下記の操作を行ってください。

- POWERボタンを長押ししてXYZ本体の電源を切ってください（NV-XYZ88/XYZ77）。
- 電源コードをシガーライターソケットから抜いてください（NV-XYZ55/XYZ33）。

アクセサリー（ACC）ポジションのない車では、エンジンを切ってもXYZ本体の電源は切れませんので車のバッテリーあがりの原因となります。

接続について

- 接続には指定されたコードを使ってください。別冊の「取り付けと接続」に記載されているコードを使わないと、故障の原因となることがあります。
- コードなどを接続するときは、XYZ本体や接続する機器の電源を切ってから行ってください。

著作権について

あなたがXYZ本体に転送したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

個人情報について

- 本製品には、お客様の個人情報が保存されることがありますので、盗難などには充分ご注意ください。
- プライバシー保護のため、本製品を譲渡、処分などする場合は、個人情報の取り扱い、管理（消去など）を必ずお客様の責任において行ってください。

共通操作
－すべての機能で使えます

本機の主な機能

本書は、NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55/XYZ33で共通です。各機種の付属品や別売りについて詳しくは、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。

すべての機種でできることは 全機種 で示しています。

NV-XYZ88/XYZ77の主な機能（88 77 全機種 で示しています）

- ナビゲーションを使う
- 道路交通情報（VICS）を見る
- 外部機器を使う
- ビデオを見る
- メールを送受信する
- ホームページを見る
- 自律航法
- テレビを見る
- 音楽を聞く
- 写真を見る

ホームステーションと接続すると

- パソコンから転送した音楽を聞く
- パソコンから転送したビデオを見る
- XYZ本体のハードディスクのパーティションを変更する
- 地図データを修復する

NV-XYZ55の主な機能（55 全機種 で示しています）

- ナビゲーションを使う
- 音楽を聞く
- ビデオを見る
- 写真を見る
- メールを送受信する
- ホームページを見る

別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2、ホームステーションNVA-HS1をお買い上げいただくと、さらに以下の機能が楽しめます。

- 自律航法
- 道路交通情報（VICS）を見る
- テレビを見る
- 外部機器を使う
- パソコンから転送した音楽を聞く
- パソコンから転送したビデオを見る
- XYZ本体のハードディスクのパーティションを変更する
- 地図データを修復する

NV-XYZ33の主な機能（33 全機種 で示しています）

- ナビゲーションを使う
- 音楽を聞く
- ビデオを見る
- 写真を見る
- メールを送受信する
- ホームページを見る

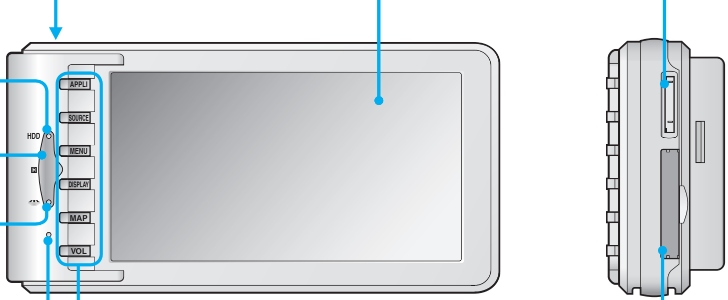
別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2をお買い上げいただくと、さらに以下の機能が楽しめます。

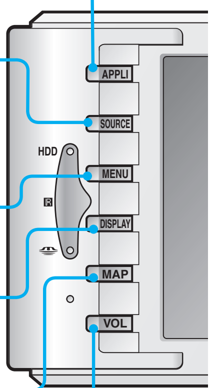
- 自律航法
- 道路交通情報（VICS）を見る
- テレビを見る
- 外部機器を使う

各部のなまえ

各部のはたらきについて詳しくは、( ) 内のページをご覧ください。

XYZ本体 全機種





APPLIボタン
各アプリケーションの選択画面を表示します。

SOURCEボタン*
テレビ/外部機器/音楽/ビデオを切り替えます。2秒以上押すと、テレビ/外部機器/音楽/ビデオをOFFにします。

MENUボタン（29ページ）
各種メニューを表示します。

DISPLAYボタン（74、75ページ）
画面表示を切り替えます。

MAPボタン
ナビ画面を表示します。

VOLボタン（27ページ）
XYZ本体のスピーカーのボリュームを調整します。

* 切り替わるソースは拡張ステーションや外部機器の接続状況や設定によって異なります。

次のページにつづく

リモコン 88 77 55

NV-XYZ33でも別売りのリモコンRM-X700で操作が可能です。

カーソル/決定ボタン（23、44ページ）

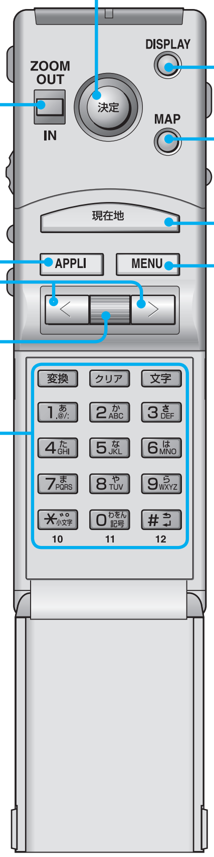
ZOOM OUT/INボタン（23ページ）

APPLIボタン
各アプリケーションの選択画面を表示します。

＜/＞ボタン（23ページ）

センタージョグ（23、44ページ）

数字ボタン（29ページ）



DISPLAYボタン（74、75ページ）

MAPボタン
ナビ画面の地図表示を平面/立体/簡易に切り替えます。

現在地ボタン
現在地を表示します。
また各アプリケーションのメイン画面に戻ります。

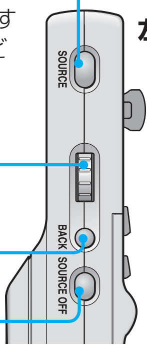
MENUボタン（23ページ）

SOURCEボタン*
テレビ/外部機器/音楽/ビデオを切り替えます。2秒以上押すと、テレビ/外部機器/音楽/ビデオをOFFにします。

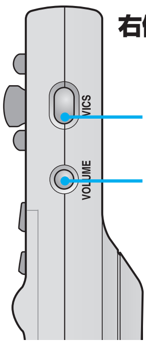
サイドジョグ（23ページ）

BACKボタン
前の画面に戻ります。

SOURCE OFFボタン
テレビ/外部機器/音楽/ビデオをOFFにします。



左側面



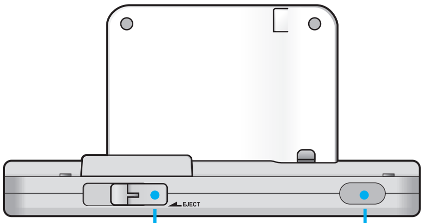
右側面

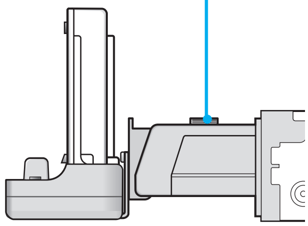
VICSボタン（38、64ページ）

VOLUMEボタン（27ページ）

* 切り替わるソースは拡張ステーションや外部機器の接続状況や設定によって異なります。

インダッシュステーション 88





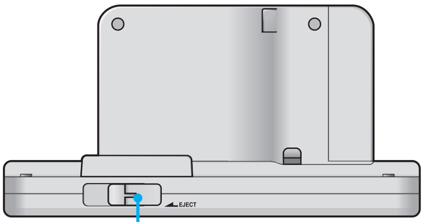
角度調整つまみ

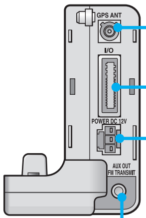
前後に約5cmスライドします。

EJECTレバー
(18ページ)

別売りDVDプレーヤー MV-101専用
リモコン受光部

カーステーション 77 55 33





EJECTレバー
(18ページ)

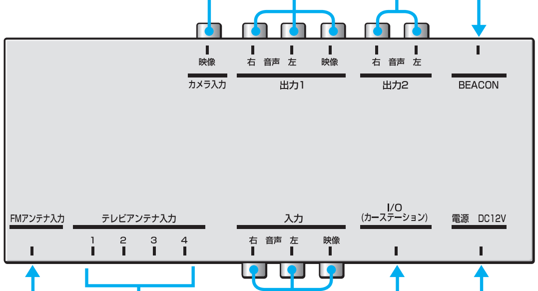
GPS ANT(GPSアンテナ)
端子

I/O(拡張ステーション)端子

POWER DC 12V端子

AUX OUT/FM TRANSMIT
ANT(外部出力/トランスミッ
ターアンテナ)端子

拡張ステーション 88 77



出力1(音声右/左、映像)端子

カメラ入力端子(バックカメラ映像用)

出力2(音声右/左)端子

BEACON端子

FMアンテナ入力端子

テレビアンテナ入力端子

入力(音声右/左、映像)端子

電源 DC 12V端子

I/O(カーステーション)端子
インダッシュステーションまたは
カーステーションを接続します。

ステップ1：XYZ本体を取り付けて電源を入れる

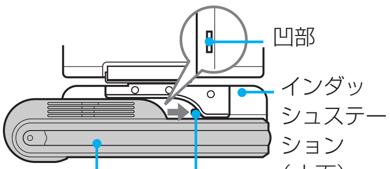
全機種

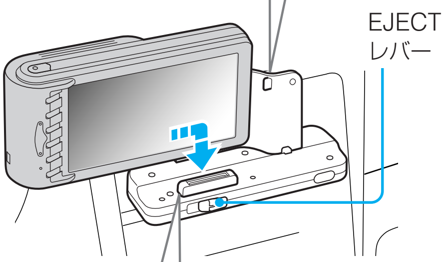
あらかじめインダッシュステーションまたはカーステーションを車に取り付け、接続しておいてください。詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

1 XYZ本体をインダッシュステーションまたはカーステーションに取り付ける。

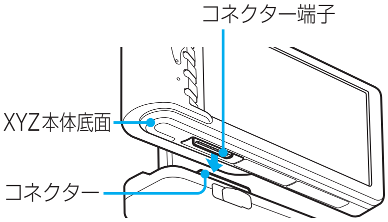
NV-XYZ88の場合

❶ インダッシュステーションの凸部がXYZ本体背面の凹部に収まるように、XYZ本体を矢印の方向へずらす。



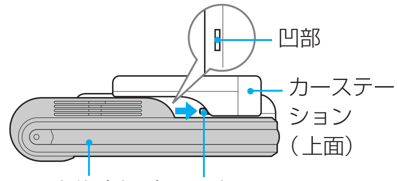


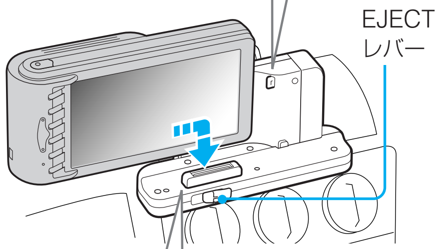
❷ XYZ本体底部のコネクター端子をインダッシュステーションのコネクターに「カチッ」と音がするまで差し込む。



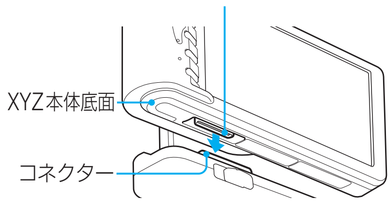
NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33の場合

❶ カーステーションの凸部がXYZ本体背面の凹部に収まるように、XYZ本体を矢印の方向へずらす。





❷ XYZ本体底部のコネクター端子をカーステーションのコネクターに「カチッ」と音がするまで差し込む。



2 車のエンジンをかけるか、車のキーをONの位置にする。

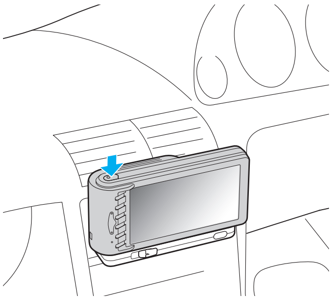
本機に電源供給できる状態になり、XYZ本体の電源が入ります。車のキーをOFFの位置にすると、本機の電源は自動的に切れます。

XYZ本体をインダッシュステーションまたはカーステーションから取りはずすには

EJECTレバーの先端を手前に立て、XYZ本体を支えながらEJECTレバーを左にずらして取りはずします。取りはずしたら、EJECTレバーの先端は右へ倒してください。

手動で電源を入/切するには

手動で電源を入/切するには、POWERボタンを押します（切るときは長押し）。



手動で電源を切ると、車のエンジンをかけたり、車のキーをONの位置にしたりしても、電源は自動的に入りません。POWERボタンを押して、電源を入れてください。

パスワード入力の画面が表示されたら

あらかじめ本機にパスワードを設定しておくと、本機の電源を入れたときにパスワードを入力する画面が表示されます（お買い上げ時は表示されません）。パスワードを入力すると、本機が使えるようになります。

パスワード入力は、2回失敗すると「パスワード削除」が表示されます。タッチすると、パスワードを削除します。その際、以下の内容が消去されます。

- 登録したマークやルート、検索履歴、走行軌跡
- WEBのブックマーク
- メールのアドレス帳と本文
- ネットワーク設定
- メニュー設定（コントロールパネルの設定）

音楽やビデオ、写真、XYZ本体に転送やコピーしたファイルなどのコンテンツは消去されません。

ご注意

- 電源を切っても、XYZ本体前面のランプが約1分間点灯している場合があります。
- ACCポジションのない車で本機の電源を切るときは、POWERボタンを長押しするか（NV-XYZ88/XYZ77使用時）、電源コードをシガーソケットから抜いてください（NV-XYZ55/XYZ33使用時）。NV-XYZ55/XYZ33は電源コードを抜かないと、シガーソケットのランプが点灯したままになり、バッテリーあがりの原因となります。

ステップ2：本機を操作するために

全機種

初めてお使いになる際には、タッチパネルの位置調整が必要です。

電源を入れると、タッチパネルの位置を調整する画面が表示されます。位置調整するのは、初めて使うとき、またはタッチした位置と反応する位置が大きくずれてきたときだけです。

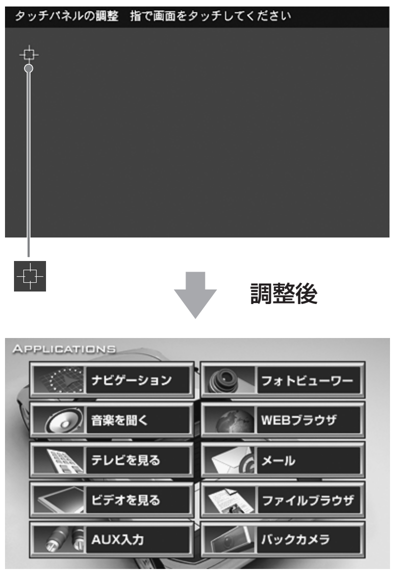
位置調整が終わると、指で画面をタッチする（軽く触れる）だけで、いろいろな操作ができるようになります。

画面に マークが表示されたら、その上をタッチする。

画面の表示とタッチした位置が一致するように調整します。

の中心を正確にタッチしてください。

調整が完了すると、アプリケーション選択画面が表示されます。



ご注意

- 指以外の物でタッチすると、画面が傷ついたり割れたりする原因になります。
- 正確にタッチしないとアプリケーション選択画面は表示されません。

ステップ3：音楽やテレビなどの音声を聞くために

全機種

初めてお使いになる際には、音楽やテレビなど、ナビ以外の音声を聞くための設定が必要です。
テレビ/外部機器/音楽/ビデオの音声をお手持ちのカーステレオで聞けます。カーステレオで音声を聞く方法には下記の2種類があります。
お好みやお手持ちのカーステレオの仕様に合わせて、どちらかの設定を行ってください。
外部機器については、入力レベル設定（101ページ）をしてから以下の設定を行ってください。

- **FMトランスミッター（FMモジュレーター*）を使う（このページ）**
  本機の音声（ナビ音声を除く）を、カーステレオのFMチューナーで受信して聞けます。
  NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33では、付属の専用アンテナを取り付ける必要があります。
- **カーステレオのAUX入力（外部入力）を使う（21ページ）**
  AUX入力（外部入力）端子付きのカーステレオをお使いの場合、カーステレオをインダッシュステーション/カーステーションまたは拡張ステーション**に接続し、本機の音声（ナビ音声を除く）をカーステレオで聞けます。接続のしかたについて詳しくは、「取り付けと接続」をご覧ください。

* NV-XYZ88のみ。
** NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

ご注意

本体から聞こえるのは、ナビの音声と操作音のみです。必ず上記のどちらかの設定を行ってください。

FMトランスミッター（FMモジュレーター）を使う

1 **NV-XYZ88では、インダッシュステーションと車のFMアンテナ、インダッシュステーションとカーステレオが正しく接続されていることが必要です。**
NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33では、専用アンテナ（付属）を、カーステーションに取り付ける必要があります。
詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

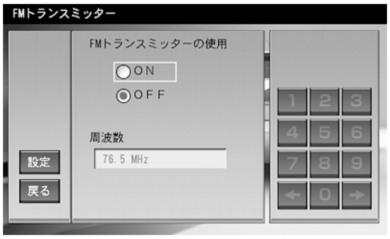
2 **アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。**



3 **「基本設定」をタッチする。**



4 **「FMトランスミッター」をタッチする。**



5 **「ON」をタッチして、チェックを入れる。**
お買い上げ時の設定では「OFF」にチェックが入っています。



6 **送信周波数を入力する。**
設定できる周波数範囲は、FM76.5MHz～79.5MHzです。FM周波数の設定は、FMラジオ放送の周波数を避けて設定してください。FMラジオ放送局がない周波数に設定しても電波状況によりノイズが出ることがあります。

7 **入力が完了したら、「設定」をタッチする。**



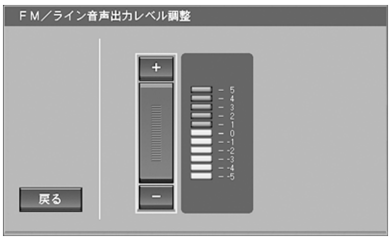
8 **カーステレオのFM受信周波数を、手順6で設定した周波数に合わせる。**
カーステレオのサーチモードでFM受信周波数を合わせると、設定した周波数で止まらないことがあります。その場合は、手動で合わせてください。

カーステレオのAUX入力（外部入力）を使う

1 **本機とカーステレオが正しく接続されているかを確認する。**
詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

2 **このページの手順2、3を行い、「音設定」をタッチする。**

3 **「FM/ライン音声出力レベル調整」をタッチする。**



4 **＋/－をタッチして、テレビ/外部機器/音楽/ビデオの音量とカーステレオの音量のバランスを調整する。**

操作のしかた

全機種

タッチパネルの使いかた 全機種

タッチパネルは、画面上のボタンやバーに指でタッチして（触れて）使います。

項目を選び、決定するには
選びたい項目をタッチします。

画面をスクロールするには
スクロールバーを上/下になぞります。▼をタッチすると1つ下へ、▲をタッチすると1つ上へ、それぞれスクロールします。

前の画面に戻るには
◀をタッチします。



ご注意

- 本機を操作するには、初回のみ「タッチパネルの調整」が必要です。詳しくは19ページをご覧ください
- タッチするときには画面の1箇所をタッチしてください。複数の箇所をタッチすると、正しい操作ができません。

リモコンの使いかた 88 77 55

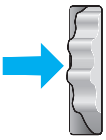
リモコンを使っても、タッチパネルと同じように、項目を選んだり、スクロールしたりできます。画面から離れた場所から操作するときに便利です。
NV-XYZ33でも別売りのリモコンRM-X700で同じように操作が可能です。



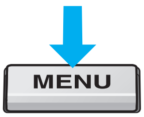
ナビの検索リストをページ送りするには
ZOOM OUT/INボタンを上/下に動かします。



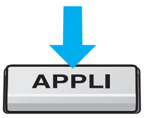
サイドメニューを表示するには
TV/音楽/ビデオの画面にした状態で、サイドジョグを押します。
詳しくは、TV（92ページ）、音楽（108ページ）、ビデオ（116ページ）の各ページをご覧ください。



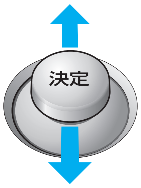
メニュー項目を表示するには
MENUボタンを押します。



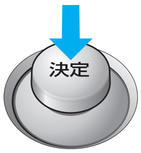
各アプリケーションの選択画面を表示するには
APPLIボタンを押します。



項目を選ぶには
カーソル/決定ボタンを上/下に動かします。またはセンタージョグを回しても選べます。



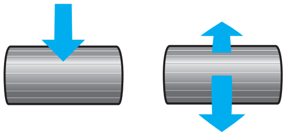
項目を決定するには
カーソル/決定ボタンを押し込みます。



前の画面に戻るには
カーソル/決定ボタンを左に動かします。または、< ボタンを押しても戻れます。



ナビでよく使う機能（ショートカットメニュー）を呼び出すには
地図画面にした状態で、センタージョグを回します（くるぴメニュー表示、44ページ）、または押します（ぴっくるメニュー表示、44ページ）。



アプリケーション選択画面各部のはたらき 全機種

本機をインダッシュステーションまたはカーステーションに取り付けて、電源を入れると（18ページ）、各機能への入り口となるアプリケーション選択画面が表示されます。機能名をタッチするだけで、選んだ機能が使えるようになります。



ナビゲーション（37ページ）
初めて本機を使うときは、準備が必要です（34ページ）。

音楽を聞く（103ページ）
パソコンから転送した音楽や"メモリースティック"や"CFカード"に保存してある音楽を聞けます。

テレビを見る（89ページ）
あらかじめ拡張ステーションを接続しておく必要があります。詳しくは別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

ビデオを見る（113ページ）
パソコンから転送したビデオや"メモリースティック"や"CFカード"に保存してあるビデオを見ることができます。

AUX入力（95ページ）
あらかじめ拡張ステーションを使って外部機器と接続しておく必要があります（96ページ）。

フォトビューワー（121ページ）
"メモリースティック"や"CFカード"の写真を見たり、転送したりできます。また、パソコンから転送した写真ファイルも見ることができます。

WEBブラウザ（159ページ）
インターネットに接続し、ホームページを見ることができます。
初めて本機を使うときは、インターネット接続のための準備が必要です（134ページ）。

メール（143ページ）
メールを受信したり、送信したりできます。
初めて本機を使うときは、インターネット接続のための準備が必要です（134ページ）。

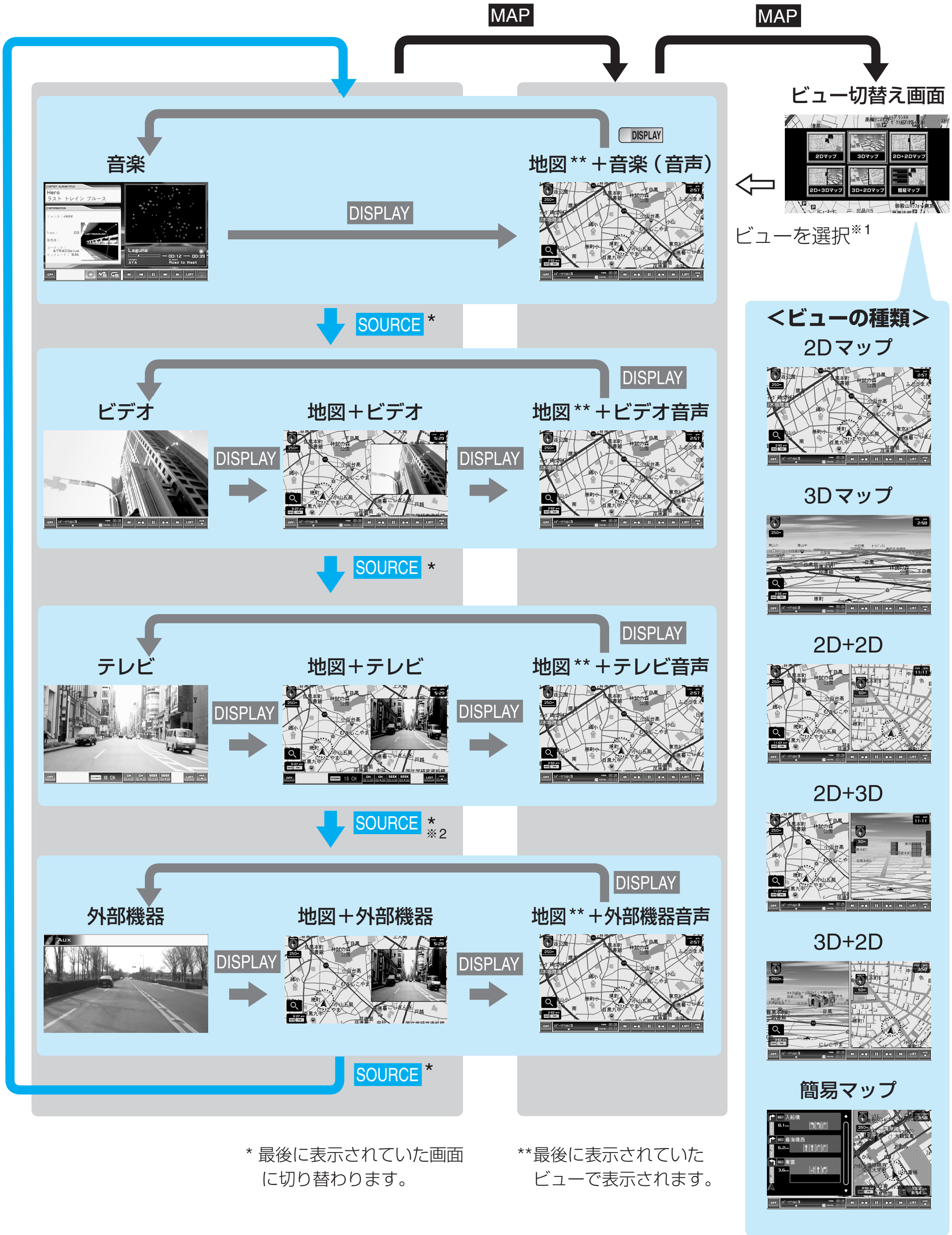
ファイルブラウザ（169ページ）
XYZ本体や"メモリースティック"、"CFカード"に保存してあるファイルを開けます。

バックカメラ（95ページ）
バックカメラの映像を表示できます。
あらかじめ拡張ステーションを使ってバックカメラと接続しておく必要があります（96ページ）。

ちょっと一言
以下の場合、機能名がグレー表示され、使えない機能があります。
- パーキングブレーキを引いていないとき（安全のため、「フォトビューワー」や「WEBブラウザ」、「メール」、「ファイルブラウザ」は使えません）。
- 別売り品が必要なとき（詳しくは、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください）。

アプリケーション起動時の画面切替え 全機種

音楽を聞いたり、テレビやビデオ、外部機器の映像を見たりしているときの、画面の切り替えと操作ボタンの関係は次のとおりです。



* 最後に表示されていた画面に切り替わります。

**最後に表示されていたビューで表示されます。

※1：選択→決定ボタン、または選択して数秒後に画面が切り替わります。

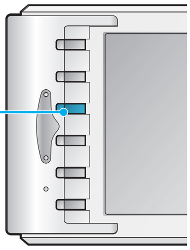
※2：外部機器を選択していない場合は、「音楽」画面になります。

明るさ調整のしかた

全機種

画面の明るさを調整して、画面を見やすくできます。

MENUボタン



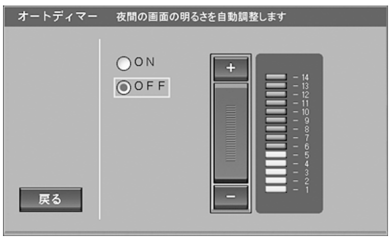
1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。



2 「画面設定」をタッチする。



3 「オートディマー」をタッチする。



4 「ON」をタッチする。

初期設定では「OFF」にチェックが入っています。

「ON」

周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調整します。

明るさはお好みで設定できます。

「OFF」

最大限の明るさで固定されます。

5 ＋/－をタッチする。

画面の明るさを調整します。

ちょっと一言

走行が一定時間続くと、「ON」に切り替わります。

画面を見る角度に合わせて、明るさを調整するには

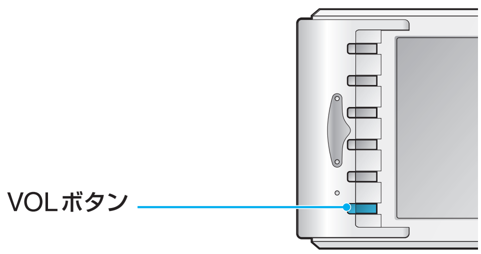
1 手順1、2を行い、「ブライトネス」をタッチする。

2 ＋/－をタッチする。

音量調整のしかた

全機種

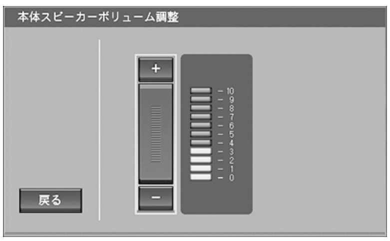
ナビの音声ガイドや操作音はXYZ本体内蔵のスピーカーから聞けます。その他（オーディオ/テレビ/ビデオなど）の音声はお手持ちのカーステレオから聞けます（20ページ）。



ナビの音声ガイド/操作音の音量を調整する

1 VOLボタンを押す。

2 ＋/－を繰り返しタッチして、音量を調整する。



テレビ/外部機器/音楽/ビデオの音量を調整する

テレビや外部機器の音声をFM信号に変換して、カーステレオのFMチューナーで受信して聞けます。詳しくは、「ステップ3：お手持ちのカーステレオで音声を聞く（初回のみ）」（20ページ）をご覧ください。

カーステレオのボリュームで調整する。

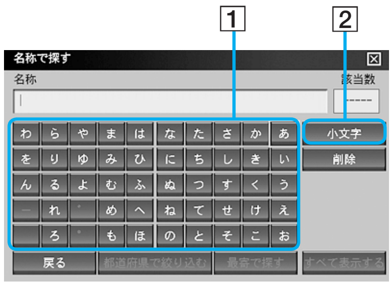
文字入力のしかた

全機種

文字や数字は、施設の名称や電話番号、また、メールのアドレスやホームページのURLなどを入力するときに使います。機能によって文字入力画面は異なります。ここでは代表的な文字入力画面を例に、文字入力のしかたを説明します。リモコンの数字ボタンやカーソル/決定ボタンでも入力できます。

文字入力画面で、文字をタッチして入力する。
入力内容によって、文字入力画面は異なります。

ナビの文字入力画面



1 かな入力キーボード
タッチして入力します。入力する名称がアルファベットやカタカナ、数字の場合でも、かな文字で読みかたを入力すれば、目的地/経由地の候補が表示されます。

2 「小文字」
拗音（「ゃ」、「ゅ」、など）や促音（「っ」）入力キーボードになります。

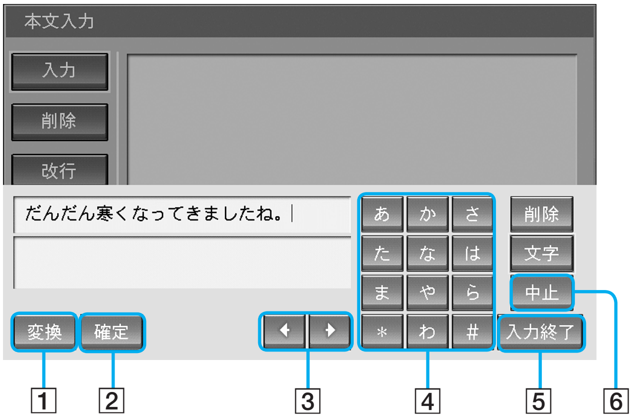
ナビの数字入力画面



1 数字入力キーボード
数字をタッチして入力します。

文字入力のしかた（つづき） 全機種

メールの文字入力画面



1「変換」
かな入力した単語を漢字に変換します。
入力したい漢字をタッチしてください。

2「確定」
漢字の変換の確定をするときに選びます。

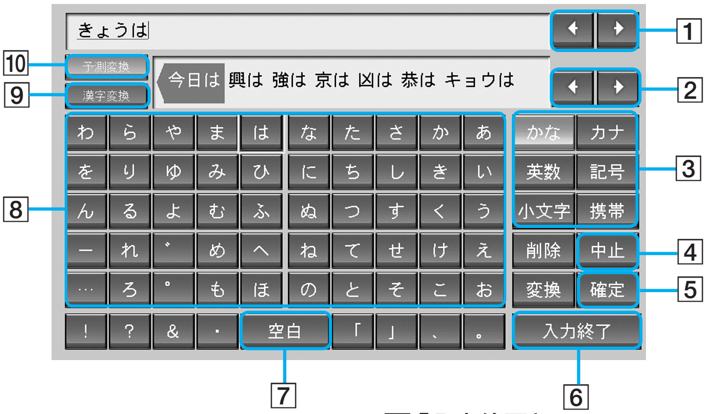
3 ◀ / ▶
カーソルを前後させて文節の区切りを変更します。

4 かな入力キーボード

5「入力終了」
文字入力を完了します。

6「中止」
入力を途中でやめます。

ホームページの文字入力画面



1 ◀ / ▶
カーソルを前後させて文節の区切りを変更します。

2 ◀ / ▶
候補の単語を一覧表示します。

3「かな」/「カナ」/「英数」/「記号」/「小文字」/「携帯」
入力する文字の種類に合わせて、タッチしてキーボードを切り替えます。
「携帯」は10キーを使って携帯電話と同じように文字入力操作ができます。

4「中止」
入力を途中でやめます。

5「確定」
選択されている漢字候補を確定します。

6「入力終了」
文字入力を完了します。

7「空白」
半角スペースを挿入します。

8 かな入力キーボード

9「漢字変換」
かな入力した連文節を漢字に変換します。

10「予測変換」
入力した文字から予測される単語を一覧表示したり、後に続く単語の候補を表示したりします（予測入力機能）。入力したい単語をタッチしてください。よく使う単語を学習しますので、使うほど便利になります。

間違った文字を入力したときは

「削除」をタッチして削除します。

リモコンで入力するには

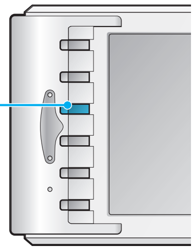
数字入力画面では、数字ボタンを押して入力します。文字入力画面では、入力する文字が含まれる50音の各行（例：あ、か、さ、た...）ボタンを繰り返し押して、文字を入力します。
また、カーソル/決定ボタンを上下左右に動かして画面の文字/数字を選び、カーソル/決定ボタンを押し込んで入力することもできます。



XYZ本体の設定を変える—操作音、スクリーンセーバーなど

全機種

画面に表示されるメニューで、お好みの設定にしたり、地図データのバージョンを確認したりできます。



1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。



2 メニュー項目をタッチして、設定/調整する。

各項目については以下のページをご覧ください。

「基本設定」：30ページ
「画面設定」：31ページ
「ネットワーク設定」：31ページ
「バージョン情報」：32ページ
「CFカードを取りはずす」：32ページ

次のページにつづく

「基本設定」

操作音やFM/ライン音声出力レベル調整など、本体とカーステレオの音声に関わる設定をしたり、外部機器やバックカメラの入力を設定したりできます。下線は、初期設定を示しています。

項目	設定	
「音設定」	「操作音」	項目を選んだときの確認音を「大」、「中」、「小」、「OFF」から選べます。
	「FM/ライン音声出力レベル調整」	XYZ本体とAUX入力端子付きのカーステレオをつないだときの、出力レベルを調整します。
「FMトランスミッター」	XYZ本体で再生しているテレビや外部機器、音楽、ビデオの音声をFM信号に変換して、カーステレオのFMチューナーで受信して聞けます。 FMトランスミッター（FMモジュレーター）の「ON」/「OFF」の設定や周波数を調整できます。詳しくは、20ページをご覧ください。	
「外部入力設定」	「バックカメラの自動切替」	バックカメラを使うときは「ON」を、使わないときには「OFF」を選びます。
	「AUXスキップ」	SOURCEボタンを押して画面切り替えをしたときに、「AUX入力」をスキップするように設定するには「ON」を、しないに設定するには「OFF」を選びます。
「文字入力設定」	「学習辞書の登録」	学習辞書に登録する文字を入力します。文字入力のしかたについて詳しくは、27ページをご覧ください。 入力した単語は、本機の学習辞書に登録され、同じ文字列を入力すると頻度順に候補を表示します。よく入力する単語をあらかじめ本機の学習辞書に登録しておけます。
	「学習辞書のクリア」	学習辞書に登録した内容を初期化します。
「タッチパネル」	「タッチパネル調整」	画面のタッチのずれを調整できます。タッチした位置と反応する位置が大きくずれてきたとき、タッチパネルの調整を行う必要があります。画面に従い マークをタッチしてください。
「パワーオンパスワード」	設定した個人情報を他人に見られないよう保護するため、パスワードを設定できます。パスワードを設定するには、「ON」にチェックを入れ、パスワードを入力します。使える文字は数字のみです。本機にパスワードを設定しておくと、本機の電源を入れたときにパスワードを入力する画面が表示されます（お買い上げ時は表示されません）。パスワードを入力すると、本機が使えるようになります。 パスワード入力は、2回失敗すると「パスワード削除」が表示されます。タッチすると、パスワードを削除します。その際、以下の内容が消去されます（パワーオンパスワード」で「OFF」にしてパスワード設定を解除した場合は消去されません）。 • 登録したマークやルート、検索履歴、走行軌跡 • WEBのブックマーク • メールのアドレス帳と本文 • ネットワーク設定 • メニュー設定（コントロールパネルの設定） 音楽やビデオ、写真、XYZ本体に転送やコピーしたファイルなどのコンテンツは消去されません。	

「画面設定」

画面に関する設定を変更します。
下線はお買い上げ時の設定です。

項目	設定	
「スクリーンセーバー」	「スクリーンセーバーの起動」	本機の電源を入れたまま操作しないときに、スクリーンセーバーを表示するには「ON」を、表示しないには「OFF」を選びます。
	「スクリーンセーバーの種類」	スクリーンセーバーを選べます。 「プレビュー」: 選んだスクリーンセーバーを表示します（プレビュー）。 「決定」: 選んだスクリーンセーバーに決定します。
	「起動までの時間」	本機の電源を入れた状態で、どれくらいの時間が経過するとスクリーンセーバーが表示されるかを、「1分」、「3分」、「5分」、「7分」、「10分」の中から選びます。
	「時計表示」	画面に現在時刻を表示するには「ON」を、表示しないには「OFF」を選びます。
「オートディマー」	詳しくは、26ページをご覧ください。	
「ブライトネス」	画面を見る角度に合わせて明るさを調整します。	
「デモンストレーション」	「オートスタート設定」	オートスタート設定を「ON」、「OFF」、「オートOFF」から選べます。 「ON」: 一定時間何も操作しないと、デモンストレーションを表示します。 「OFF」: 表示しません。 「オートOFF」: 一定時間何も操作しないと、デモンストレーションを表示します。走行が一定時間続くと、「OFF」に切り替わり、同時に「オートディマー」(26ページ) が「ON」に切り替わります。
	「表示切替」	デモンストレーションの表示内容を、「プリインストールビデオ」、「外部入力」から選びます。「プリインストールビデオ」を選ぶと、デモンストレーション用のビデオを表示し、「外部入力」を選ぶと、接続している機器に映る映像を出力します。
	「デモンストレーションの開始」	デモンストレーションを開始します。

「ネットワーク設定」

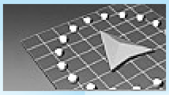
詳しくは、134 ～ 142ページをご覧ください。

「バージョン情報」

項目	設定
「ファームウェア」	ファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアについて詳しくは、ホームステーション付属の「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。
「地図データ」	地図のバージョン情報を表示します。地図のバージョンについて詳しくは、ホームステーション付属の「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。

「CFカードを取りはずす」

“CFカード” を取りはずすときは、必ず「CFカードを取りはずす」をタッチしてから取りはずしてください。「CFカードを取りはずす」をタッチせずに取りはずすと、データが壊れることがあります。“CF通信カード” など「CFカードを取りはずす」がグレー表示され選べないときは、この操作は不要です。



ナビゲーションを使うための準備

準備1：自車位置を正しく表示する

全機種

自車位置は、GPS 衛星の電波を受信、および自律航法*（213ページ）とマップマッチング（214ページ）の方法で測定されています。
本機を初めて取り付けたときや他の車に付け替えたときは、見通しの良い場所でGPS 衛星を確実に受信し、自律航法*とマップマッチングの測定方法を利用して、自車位置を正しく測定（測位）させる必要があります。
拡張ステーションを初めて取り付けたときは、XYZ本体のリセットボタンをつまようじの先などで押して、リセットしてください*。
なお、拡張ステーションをXYZ本体と共に別の車に載せ替えたときやタイヤ交換をしたときは、リセットは不要ですが、自律航法の学習値を初期化してください*（「車種を設定する」80ページ）。

* NV-XYZ88/XYZ77および別売りの拡張ステーション接続時のみ。

1 （現在地）をタッチする。

すでに現在地を表示しているときは表示されません。
お買い上げ時の画面は、上が進行方向になるように設定されていますが、北を上にしたほうが見やすい場合には、設定を変えられます（40ページ）。

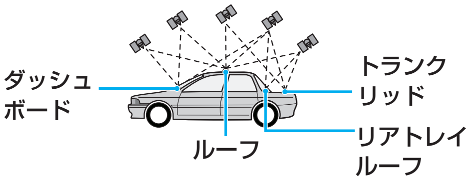


2 地図画面のマーク（自車）が赤（GPS測位中）の状態で、周りに高い建物や木々がない道路を一定速度で30 分ほど走行する。

マークの色で測位状況が分かります。
赤色：正常
灰色：測位できていない
オレンジ色：自律センサーだけで測位している

ちょっと一言

- GPS アンテナの取り付け位置はGPS 衛星からの電波をさえぎる障害物がない位置を選んでください。
  また、できるだけ広い角度から電波が受けられるように、車内に取り付けるときはリアトレイやダッシュボードの平らな位置にGPSアンテナ取付板（反射板）を取り付けその上にアンテナが水平になるように取り付けてください。車内に適する場所がない場合は、車外に取り付けてください。



- 自車位置を正しく表示するためには、別冊「取り付けと接続」に従い、拡張ステーションを正しく取り付けることが重要です。自律航法による自車位置の測定が開始されたかどうかは、接続情報画面で確認できます（79ページ）。
- 別冊「使ってみよう」の「自車位置を正しく表示させる」（10ページ）もご覧ください。
- XYZ本体は、拡張ステーションが接続された5台までの車の車種と、その自律航法の学習値をXYZ本体に記憶し、XYZ本体を車から車へ載せ換えた際には自動的にそれらを切り替えます。なお、車種については事前に設定が必要です（80ページ）。

ご注意

拡張ステーションが接続された6台目以降の車にXYZ本体を接続すると、最初に接続した車の情報から順に上書きされていきます。

準備2：自宅を登録する

全機種

自宅を登録しておくと、どこへ行っても帰宅時は、行き先検索メニューから「自宅に帰る」を選ぶだけで自宅までのルート案内を開始できます（52ページ）。

1 自宅に駐車（パーキングブレーキを引いた）状態で、アプリケーション選択画面から「ナビゲーション」をタッチする。



2 （現在地）をタッチする。

すでに現在地を表示しているときは表示されません。手順3に進んでください。



3 自宅位置をタッチする。

自宅位置に（カーソル）マークが付きます。



4 （決定）をタッチし、決定メニューを表示する。



5 「マークを登録する」をタッチする。

マークが付きます。



6 マークの上に、マークがあることを確認する。

マークが表示されないときは、マークをタッチして、マークを表示します。



7 （決定）をタッチし、決定メニューを表示する。



次のページにつづく

8 「マークを編集する」をタッチする。

マーク編集画面が表示されます。



9 「グループ：未設定」をタッチして、「自宅」をタッチする。

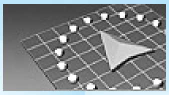
マークの場所が自宅として登録されます。





ちょっと一言

- 以下の方法で探しても登録できます。自宅から離れた場所や、GPSが受信できない場所で自宅を登録するときに便利です。
  - 住所で探す（47ページ）
  - 電話番号で探す（48ページ）
- リモコンのぴっくるメニューで「自宅に帰る」を選んで、自宅までのルート案内を自動的に開始することもできます（44ページ）。
- 地図の見かたがわからないときや、地図の表示方法を変えたいときは、38ページをご覧ください。

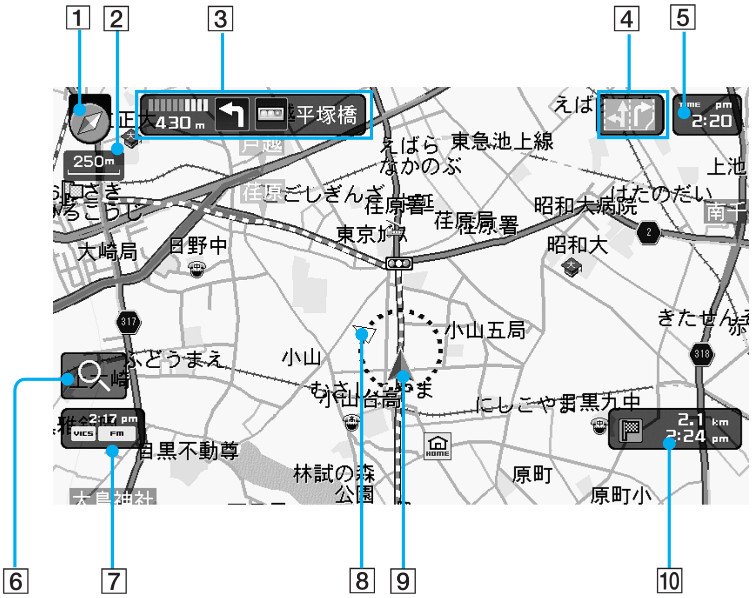


ナビゲーションを使う

ステップ1：お好みの地図表示にする

地図の縮尺を変えたり、平面/立体に切り替えたり、地図の表示方法をお好みに設定できます。

地図の見かた 全機種



1 **方位（コンパス）**

2 **地図スケール**
地図画面の縮尺値を表示します。

3 **次の交差点までの距離**
表示できる距離は10km以内です。

4 **レーンガイド**
次の交差点のレーン情報を表示します（最大8レーンまで）。

5 **現在時刻（12時間表記）**

6 **（かんたん最寄検索）**
タッチすると、近くにある駐車場やガソリンスタンドなどの施設を探します。

7 **VICS受信***
VICS情報の提供時刻を表示します。

ルート沿いに渋滞を見つけると、VICSが赤くなります。

このとき、VICSをタッチすると渋滞箇所を地図と音声で知らせます。また、⚡が表示されているとき、VICSをタッチしたままにすると、最後に受信したビーコン簡易図形**を表示します。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）を使うときはVICSボタンを押すか、2秒以上押すことで、同様の操作ができます。

* NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

** 別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5が必要です。

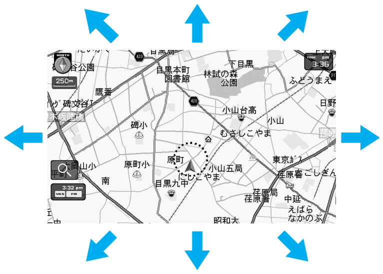
8 **目的地方向**
ルート案内時に目的地への方向を示します。

9 **自車位置**

10 **目的地までの距離/到着予想時刻**
タッチすると、次のガイドポイントを案内します。

地図を動かす—スクロール 全機種

地図を8方向に動かして、見たい場所を表示できます。



1 アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。



2 見たい方向の地図の上をタッチして、地図を動かす。



地図上をタッチしたまま、動かしたい方向に指をずらしても、地図をスクロールできます。

スクロール後、（微調整）が表示されます。微調整したいときは、をタッチします。8方向に矢印が表示されたら、動かしたい方向の矢印をタッチします。タッチし続けるとスクロールします。

スクロール後



微調整中



ちょっと一言

- リモコン（NV-XYZ33では別売り）を使うと、カーソル/決定ボタンを上/下、左/右、斜めに動かし、動かしたい方向に地図を移動できます。
- 地図画面が表示されているときは、自車マークが表示されていない場合も、地図を動かすことができます。

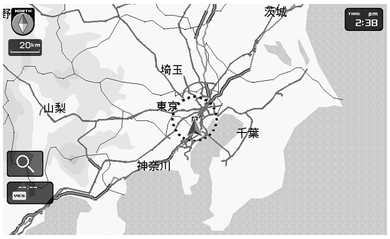
次のページにつづく

ステップ1:お好みの地図表示にする
（つづき）

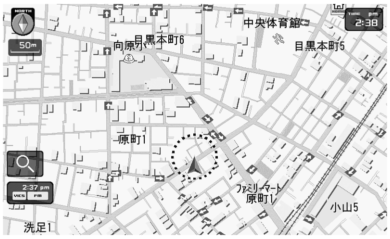
地図の縮尺を変える―ズーム 全機種

現在地や行き先がどのあたりに位置しているのかを把握するときは広域画面にし、周辺施設や道路など現在地や行き先付近について調べるときは詳細画面にするなど、使い分けると便利です。

広域画面



詳細画面＊



＊ NV-XYZ33で市街地図を表示するには別売りのバージョンアップ地図ディスクSDRM-XYZ2またはインターネットから地図データを購入し、XYZマップマネージャーを使ってXYZ本体へ転送してください。ダウンロードのしかたについて詳しくは「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。

1 アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。

地図スケール



2画面表示のときにサブマップの縮尺を変更するには、ここでサブマップの地図スケールをタッチして選んでください。

2 地図スケールをタッチする。



3 「広域」または「詳細」をタッチする。

タッチしたままにすると、縮尺を連続して変更します。



ちょっと一言

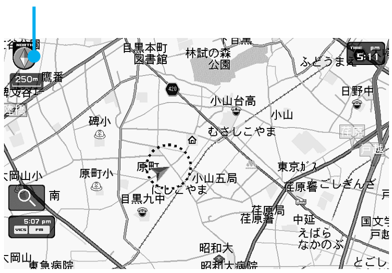
- タッチしたまま、右回り/左回りに円を描いて、地図の縮尺を広域/詳細に変更することもできます。
- リモコン（NV-XYZ33では別売り）を使うと、ZOOM OUTを押すと「広域」に、INで「詳細」に、縮尺を変更できます。押したままにすると、連続して変更できます。
- 2画面表示のときも、画面を選んで縮尺を変えることができます。
- 走行中は、縮尺250 m～ 50 mの地図では、細街路（主に道幅が3.0m以上5.5m未満の道路）は表示されません。
- 走行中は、縮尺50 m～ 10 mの市街地図でのスクロール操作はできません。スクロール操作した場合は縮尺が市街地図ではない50 mに自動変更されます。

画面の上を進行方向/画面の上を北にして表示する 全機種

方位（コンパス）で、進行方向または北のどちらが上になっているか確認できます。

1 アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。

方位（コンパス）



2 方位（コンパス）をタッチする。

「NORTH」と表示されるときは北を上に、何も表示されないときは進行方向を上にして表示しています。タッチして切り替えることができます。



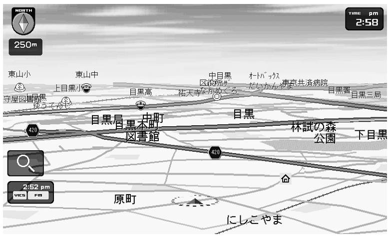
地図を平面/立体/簡易に切り替える —2D/3D/簡易 全機種

入り組んだ細い道を通るときなどは2D画面、遠方の施設や道路状況を確認したいときは3D画面、先々のガイドポイントと簡易地図を2画面表示したいときは簡易マップを、それぞれ状況に合わせて選べます。

2D画面（地図帳のような平面地図）



3D画面（立体地図）



簡易マップ画面（ガイドポイントと簡易マップ）



ガイドポイント

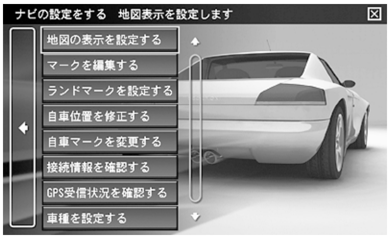
1 アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。



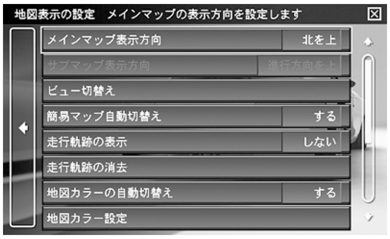
2 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



3 「ナビの設定をする」をタッチする。



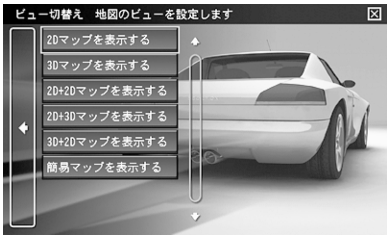
4 「地図の表示を設定する」をタッチする。



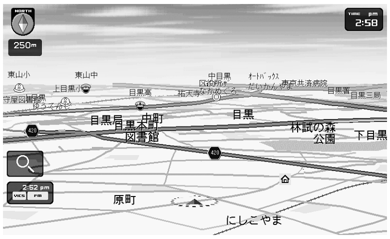
次のページにつづく

ステップ1:お好みの地図表示にする
（つづき）

5 「ビュー切替え」をタッチする。



6 「2Dマップを表示する」または「3Dマップ表示する」をタッチする。



簡易マップに表示されるガイドポイントの詳細/地図情報を見るには

ガイドポイントをタッチして選びます。

右画面：ガイドポイントを中心とした地図が表示されます。

左画面：ガイドポイントの詳細情報が表示されます。

ご注意

簡易マップの右画面の地図はスクロールできません。

ちょっと一言

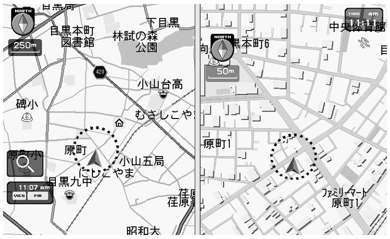
- 3Dマップの見かたを調整するには「3Dマップを調整する」（77ページ）をご覧ください。
- リモコン（NV-XYZ33では別売り）の数字ボタン2、4、6、8をタッチすると、3Dマップのアングルを変更できます。
- XYZ本体およびリモコン（NV-XYZ33では別売り）のMAPボタンを押してビュー切替え画面（25ページ）を表示し、ビューを切替えることもできます。くるぴメニュー（44ページ）で切替えることもできます。

2画面にして表示する 全機種

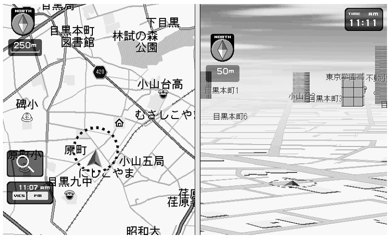
左右2画面に表示方法の異なる地図を表示できます。

たとえば、「2D+3Dマップを表示する」を選ぶと、「2D」の詳細な平面地図で進行方向を確認しながら、「3D」の立体的な地図で先々まで見通すなど、利点の異なる地図表示を、左右2画面で同時に表示できます。

「2D+2Dマップを表示する」



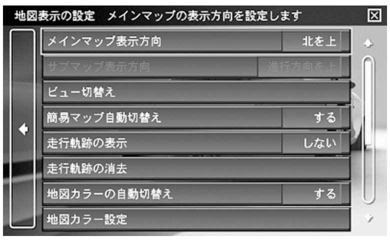
「2D+3Dマップを表示する」



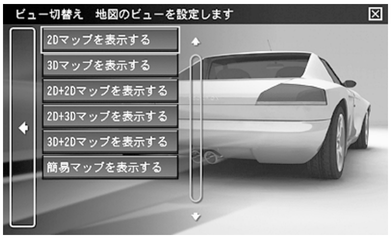
「3D+2Dマップを表示する」



1 41ページの手順1～4の操作を行う。



2 「ビュー切替え」をタッチする。



3 お好みの表示方法をタッチする。

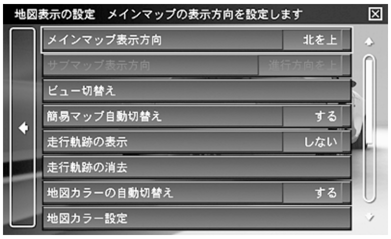
ご注意

右側の画面（サブマップ）は、スクロールできません。

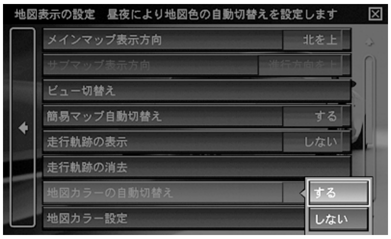
昼夜色を変更する 全機種

地図の色合いを、時刻に合わせて自動的に変更されるように設定できます。
地図の色合いは地図カラーの設定（77ページ）で変更できます。

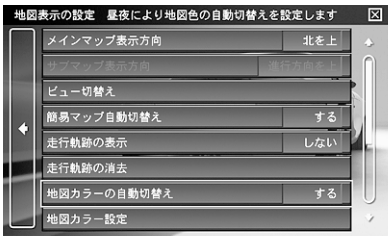
1 41ページの手順1～4の操作を行う。



2 「地図カラーの自動切替え」をタッチする。



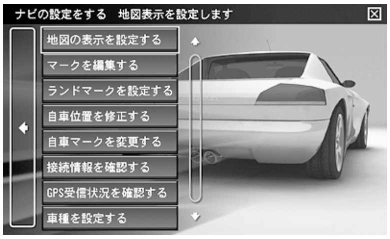
3 「する」をタッチする。



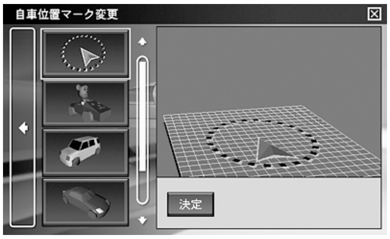
自車マークを変更する 全機種

自車マークやキャラクターなど、お好みに合わせてマークを変更できます。

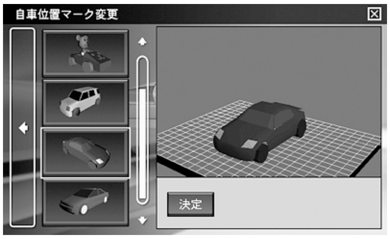
1 41ページの手順1～3の操作を行う。



2 「自車マークを変更する」をタッチする。



3 お好みの自車マークをタッチする。



4 「決定」をタッチする。

次のページにつづく

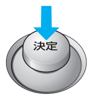
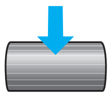
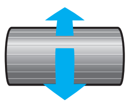
よく使う機能（ショートカットメニュー）をリモコン*で呼び出す 88 77 55



本機の使用状況に合わせて、便利なショートカットメニューを表示できます。このショートカットメニューは、使用頻度の高い機能をすばやく呼び出せます。

* NV-XYZ33では別売り。

各機能を呼び出してからの操作について詳しくは、( ) 内の通常操作のページをご覧ください。

表示方法	呼び出せる機能
地図画面のとき、カーソル/決定ボタンを押す。 （決定メニュー） 	「ここへ行く」(46ページ) 「ここに立ち寄る」(46ページ) 「マークを登録/編集する」(46、78ページ) 「ここの情報を見る」(46ページ) 「最寄で探す」(50ページ)
センタージョグを押す。 （ぴっくるメニュー） 	「自宅に帰る」(52ページ) 「検索履歴から選ぶ」(51ページ) 「ルート履歴から選ぶ」(51ページ) 「マークから選ぶ」(50ページ) 「ルート探索条件を切替える」(60ページ) 「ルート案内を開始/終了する」(54ページ) 「経由地をスキップする」(62ページ) 「かんたん最寄で探す」(50ページ) 「ルート全体を表示する」(46ページ)
センタージョグを回す。 （くるぴメニュー） 	「メインマップ 北を上/進行方向を上」(40ページ) 「サブマップ 北を上/進行方向を上」(40ページ) 「ビューを切替える」(41ページ) 「VICS渋滞表示を切替える」(68ページ) 「走行軌跡を表示する/しない」(77ページ) 「一方通行を表示する/しない」(77ページ) 「3Dマップを調整する」(77ページ)

ステップ2：目的地/経由地を決めてルートを探す

全機種

目的地や、途中で立ち寄りたい場所を、住所や電話番号、ジャンル、最寄などで探せます。

途中で立ち寄る場所も設定しておけば、本機がそれらの場所を経由して目的地に向かうルートを自動的に探します。
いくつか名所を回ってから宿泊地に向かうときなど、名所を経由地として「ここに立ち寄る」に、宿泊地を目的地として「ここへ行く」に設定すれば、効率よく回れるルートを探せるので無駄がありません。

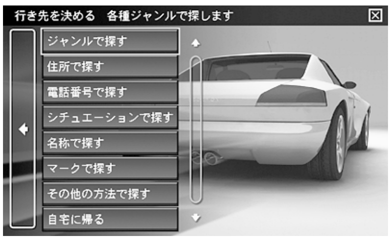
1 **アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。**



2 **MENUボタンを押してメニューを表示する。**



3 **「行き先を決める」をタッチする。**



4 **行き先の検索方法をタッチする。**

それぞれの検索方法について詳しくは、以下のページをご覧ください。

「ジャンルで探す」：46ページ
「住所で探す」：47ページ
「電話番号で探す」：48ページ
「シチュエーションで探す」：49ページ
「名称で探す」：49ページ
「マークで探す」：50ページ
「その他の方法で探す」
－**「最寄で探す」**：50ページ
－**「検索履歴で探す」**：51ページ
－**「ルート履歴で探す」**：51ページ
－**「郵便番号で探す」**：51ページ
－**「緯度経度で探す」**：52ページ
－**「自宅に帰る」**：52ページ

検索が終わると、行き先周辺の地図が表示されます。✚マークが行き先からずれているときは、行きたい位置をタッチして✚マークを動かします。



✚マーク（選んだ行き先の位置）

5 **決定（決定）をタッチして、決定メニューを表示する。**

地図画面を、タッチした位置が中心の地図に切り替わるまでタッチしてから離しても、決定メニューを表示できます。



次のページにつづく ➡

ステップ2：目的地/経由地を決めてルートを探す（つづき） 全機種

6 **選んだ行き先を目的地に設定する場合は「ここへ行く」、経由地に設定する場合は「ここに立ち寄る」を、それぞれタッチして設定する。**

（目的地）または（経由地）マークが付き、ルートを探索します。完了すると、自動的に目的地までのルート案内を開始します。

選んだ行き先にマークを付けるには

手順6で、「マークを登録する」をタッチします。

マークを削除するには

削除の方法について詳しくは、78ページをご覧ください。

ルート全体を表示するには

下記の手順で確認できます。

アプリケーション選択画面で「ナビゲーション」をタッチする→MENUボタンを押して、メニューを表示する→「ルート情報/案内を見る」をタッチする→「ルート全体を表示する」をタッチする

選んだランドマーク/テナントの情報を見るには

手順6で、「ここの情報を見る」をタッチします。「詳細」ボタンをタッチすると、ランドマーク/テナントの詳細情報を表示します。

ちょっと一言

ユーザーマークの情報は、「マークを編集する」（78ページ）で見ることができます。

「ジャンルで探す」

食事や買い物、スポーツなど、目的（ジャンル）を選ぶだけで、本機が自動的に目的に合った行き先を見つけてくれます。

たとえば、土地勘のない旅先でも、食べたい料理や買いたい物をジャンルで探して、行きたい店舗や施設を簡単に見つけられます。さらに、表示された店舗や施設を現在地から近い順に探したり、50音順に並べ替えたり、絞り込んだりできます。

1 **45ページの手順1～4に従って、「ジャンルで探す」を選ぶ。**



ジャンルリスト

2 **左リストでジャンルをタッチしてから、右リストでさらに細かいジャンルをタッチする。**

さらに絞り込まれたジャンルリストが表示されます。



3 **ジャンルをタッチする。**



4 都道府県、市区町村の順でタッチする。



5 行きたい施設をタッチする。

該当する場所の地図が表示されます。



6 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

ちょっと一言

- 手順3、4で［アイコン］が表示されたときにMENUボタンを押すと、並べ替えや絞込みができます。
- 中分類（ファミレス、ファーストフードなど）および小分類（個別の店舗名など）は前回選択した項目が1番目に並び、2番目以降は選択された頻度に応じて並びます。ただし、「全て」は常にリストの1番上に表示されます。

「住所で探す」

都道府県や市区町村、大字町名、番地を選び、該当する地域の地図を表示できます。

1 45ページの手順1～4に従って、「住所で探す」を選ぶ。



2 都道府県をタッチする。



3 画面に従って住所をタッチする。

該当する場所周辺の地図が表示されます。



4 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

ご注意

- 一部の市区町村では、番地、号を指定できません。
- 選びたい番地/号数が表示されない場合は、近い数字を選んでください。

ちょっと一言

- リモコン（NV-XYZ33では別売り）の数字ボタンを使うと、50音別の頭出しができます。
- 番地など住所の詳細が分からないときは、市区町村を指定したあと「代表地点」をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

ステップ2：目的地/経由地を決めてルートを探す（つづき） 全機種

「電話番号で探す」

電話番号を入力して、電話帳に掲載されている店舗の場所を調べられます。

1 45ページの手順1～4に従って、「電話番号で探す」を選ぶ。



2 数字をタッチして、電話番号を市外局番から入力する。



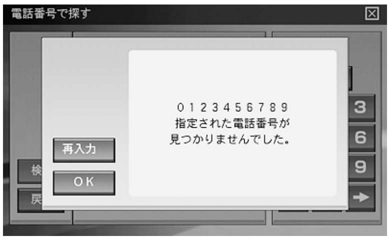
10桁目を入力すると、自動的に検索が始まります。手動で検索を始めるには、「検索」をタッチします。

店舗などの電話番号を入力したとき

入力した電話番号が検索情報と一致すると、指定した場所付近が地図表示されます。

店舗などが検索できないとき

入力した電話番号が検索情報と一致しない場合、次の画面が表示されます（電話番号を正しく入力しても、この画面が表示されることがあります）。



「再入力」をタッチすると、電話番号入力画面に戻ります。
「OK」をタッチすると、行き先検索方法の画面に戻るので、もう一度、違う検索方法から探してください。

個人宅の電話番号を入力したとき

電話帳に記載してある個人名の姓のみ入力してください。



入力した電話番号と個人名が一致すると、場所が地図表示されます。一致しなかったり、入力し忘れたりすると、「個人名を確認できませんでした」と表示され、個人名称入力画面に戻ります。

3 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

ご注意

電話帳に掲載されていない場合は、検索できません。

ちょっと一言

リモコン（NV-XYZ33では別売り）の数字ボタン0を押すと、「電話番号で探す」画面をすぐに表示できます。

「シチュエーションで探す」

その時々の場面（シチュエーション）を選ぶだけで、自動的にお勧めの場所を探してくれます。たとえば、ドライブ中に「みんなでご飯」を選ぶと、最寄のレストランやお気に入りのチェーン店を簡単に見つけられます。

1 45ページの手順1～4に従って、「シチュエーションで探す」を選ぶ。



2 シチュエーションをタッチする。

自車位置周辺地域で条件に該当する施設が表示されます。



3 施設名をタッチする。



4 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

「名称で探す」

店舗や施設の名称を入力し、候補地を絞り込んで探せます。

1 45ページの手順1～4に従って、「名称で探す」を選ぶ。



2 名称を入力する。

1文字入力するたびに、該当する件数が絞り込まれます。件数が少なくなると「都道府県で絞り込む」、「最寄で探す」が選べます。さらに件数を絞り込むと、「すべてを表示する」が選べます。



3 「都道府県で絞り込む」をタッチする。



4 都道府県名をタッチする。



次のページにつづく

ステップ2：目的地/経由地を決めてルートを探す（つづき） 全機種

5 施設名をタッチする。



6 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

ご注意

NV-XYZ33で市街地図を表示するには別売りのバージョンアップ地図ディスクSDRM-XYZ2またはインターネットから地図データを購入し、XYZマップマネージャーを使ってXYZ本体へ転送してください。
ダウンロードのしかたについて詳しくは「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。

「マークで探す」

登録してあるマークから、そのマークの場所を簡単に呼び出せます。あらかじめ、よく行く場所などにマークを付けて、本機に登録しておいてください（46ページ）。いったん登録しておくと、マークで簡単に探せるので、毎回住所や電話番号を入力する必要がありません。

1 45ページの手順1～4に従って、「マークで探す」を選ぶ。



登録してあるマークグループ

2 マークグループをタッチして選び、マークをタッチする。

選んだマーク周辺の地図が表示されます。



3 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

ちょっと一言

- マークの付けかたについて詳しくは、「選んだ行き先にマークを付けるには」（46ページ）をご覧ください。
- マーク編集について詳しくは、「マークを編集する」（78ページ）をご覧ください。

「最寄で探す」

ドライブ中、すぐ近くにある施設を探せます。ガソリンが残り少なくなったときは最寄のガソリンスタンド、お腹が空いたときは最寄のレストランなどを、すぐに検索できます。

1 地図画面上の（かんたん最寄検索）をタッチする。



2 ジャンルをタッチする。

3 施設名をタッチする。



4 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

最寄マークにないジャンルを探すには

1 45ページの手順1～4に従って、「その他の方法で選ぶ」を選ぶ。
2 「最寄で探す」をタッチする。
3 リストでジャンルをタッチしてから、右リストでさらに細かいジャンルをタッチする。
4 施設名をタッチする。
5 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

「検索履歴で探す」「ルート履歴で探す」

本機は最近探した目的地/経由地を合わせて検索履歴は最大20件、ルート履歴は最大8件を記憶しているので、以前検索した目的地/経由地を再び行き先として設定できます。

1 45ページの手順1～4に従って、「その他の方法で探す」を選ぶ。

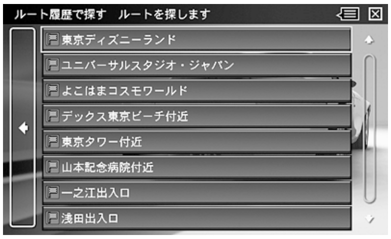


2 「検索履歴で探す」または「ルート履歴で探す」をタッチする。

「検索履歴で探す」：以前検索した場所のリストが表示されます。



「ルート履歴で探す」：以前検索したルートが表示されます。



3 行き先をタッチする。



4 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

検索履歴、ルート履歴を消去するには

1 消去したい項目を選んでMENUボタンを押す。
2 「1件削除」または「全件削除」、「この履歴を削除する」をタッチする。

「郵便番号で探す」

郵便番号を入力し、その地域の地図を表示して、行き先を探せます。

1 45ページの手順1～4に従って、「その他の方法で探す」を選ぶ。



2 「郵便番号で探す」をタッチする。



次のページにつづく

ステップ2：目的地/経由地を決めてルートを探す（つづき） 全機種

3 数字をタッチして郵便番号を入力し、「検索」をタッチする。

7桁目を入力すると、自動的に検索が始まります。



行き先の周辺地域が地図表示されます。

4 行きたい位置をタッチする。

5 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

「緯度経度で探す」

緯度経度を入力し、その地点を中心とした地図を表示して、行き先を探せます。ただし、本機に収録されていない地域の緯度経度の地図は表示できません。

1 45ページの手順1～4に従って、「その他の方法で探す」を選ぶ。



2 「緯度経度で探す」をタッチする。



3 緯度経度を入力し、「検索」をタッチする。

入力したい枠をタッチしてから、数値を入力します。



4 45、46ページの手順5、6に従って操作する。

緯度経度を調べるには

1. 緯度経度を知りたい場所をタッチする。
2. 決定（決定）をタッチする。
   緯度経度が表示されます。

「自宅に帰る」

どこにいても、登録してある「自宅に帰る」を選べば、自宅に帰るまでのルートをすぐに探せます。

あらかじめ自宅を登録しておいてください（35ページ）。

45ページの手順1～4に従って、「自宅に帰る」をタッチする。

自宅までのルートを探索します。完了すると、自動的に自宅までのルート案内を開始します。



自宅が登録されていないときは

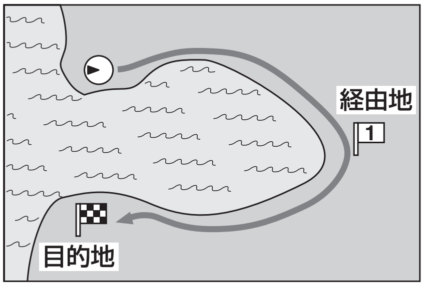
「自宅に帰る」にタッチできません。

自宅登録を行ってください（34ページ）。

ルートが見つからないときは

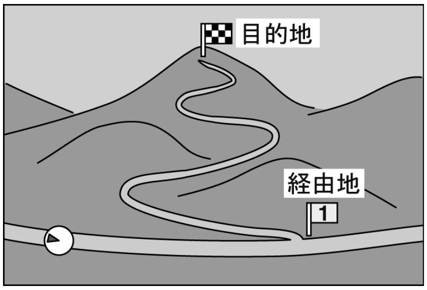
出発地と目的地の位置関係や、目的地付近での交通規制情報などによって、ルート探索できないことがあります。以下の場合、目的地を少しずらしたり、経由地を追加したりすることで、正しくルート探索できることがあります。ルート変更について詳しくは、「ルートの探しかたを変える」（59ページ）をご覧ください。

- 出発地と目的地を結ぶルートが、大きく弓なりになるとき



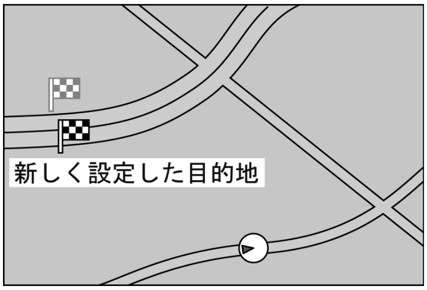
出発地と目的地の間に、海や険しい山があると、ルートを発見できないことがあります。弓なりになっているルートの中央付近を経由地（ ）に追加してみてください。

- 目的地が国道などの幹線道路から大きく離れているとき



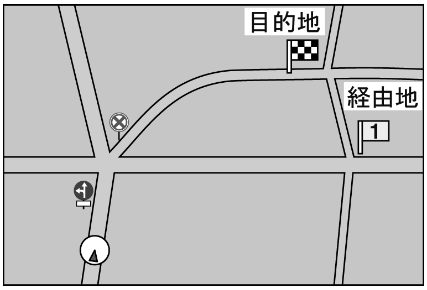
山の中のスキー場などを目的地に設定すると、ルートを発見できないことがあります。目的地近くの幹線道路に、経由地（ ）を追加してみてください。

- 目的地が中央分離帯のある道路上やその近くにあるとき



Uターン禁止の道路上に目的地を設定すると、道路規制の内容によって、ルートを発見できないことがあります。反対車線側に、目的地（ ）を設定してみてください。

- 目的地が観光地や駅周辺など、交通規制の厳しい場所にあるとき



交通規制の内容によって、ルート探索に失敗することがあります。少し手前の交差点などに、目的地（ ）または経由地（ ）を設定してみてください。

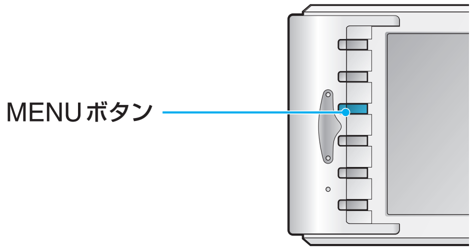
ご注意

ルートは、経路データが存在する地点に、出発地/経由地/目的地を設定した道路上でのみ探索されます。経路データがない地点に設定したときは、周辺の経路データが存在する道路上の交差点や分岐点がそれぞれ探索されます。
そのため、山岳部で近くに道路のない地域や、道路があっても商店街の中など細い道路しかない地域に、目的地/経由地を設定すると、ルートが行き先近くまで表示されない場合があります。また、離島やゴルフ場など、広い場所に設定すると、正しいルートが表示されない場合があります。
経由地、目的地付近に交通規制が存在する場合、規制アイコンが表示されることがあります。また、ルートの色がピンク色の場合は、通常のルート探索では対象にならない細い道（細街路）のため一方通行や右左折禁止などの規制に反したルートが表示されることがあります。
このような場合には、実際の交通規則に従って走行してください。

ステップ3:ルート案内を終了する

全機種

目的地を設定すると、本機が自動的にルートを探索し、ルート案内を開始します（45ページ）。目的地に到着するとルート案内は自動的に終了しますが、ルート案内の途中でルート案内を終了するには、以下の手順で操作してください。



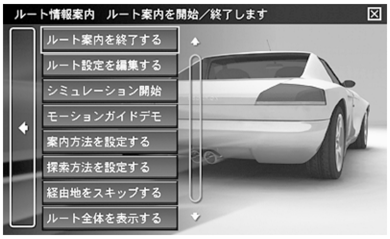
1 アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。



2 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



3 「ルート情報/案内を見る」をタッチする。



4 「ルート案内を終了する」をタッチする。

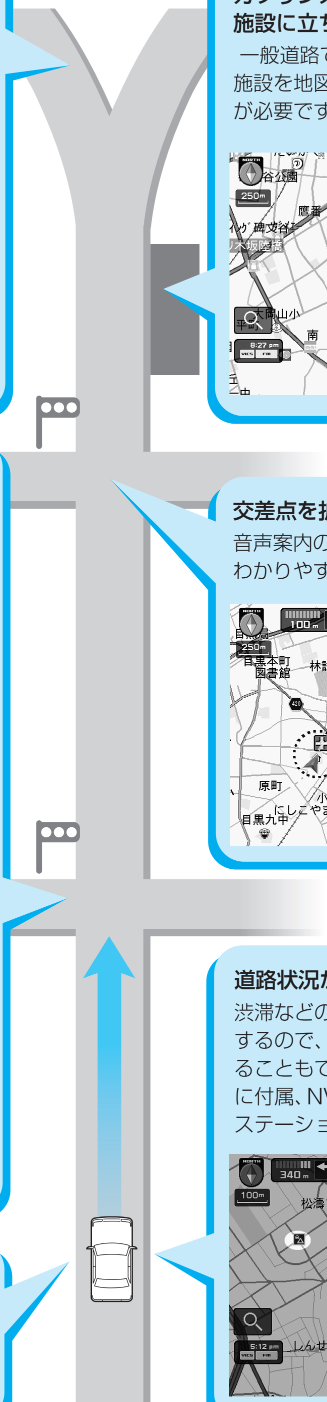


ルート案内を再開するには

手順1～3に従って、「ルート案内を開始する」をタッチする。

ルート案内中の運転サポート機能

本機がきめ細やかな案内で運転をサポートします。



XYZモーションストリートガイド*で表示します。

NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55は東京都と政令指定都市の主要部、NV-XYZ33は東名阪の主要都市（サンプル版）で、交差点や建物をドライバーに近い視点で3D表示します。



ガソリンスタンド、コンビニなどの周辺施設に立ち寄れます。

一般道路では、走行している周辺のお店や施設を地図表示します（事前に表示の設定が必要です）。



万一、道を間違えても大丈夫です。

ルートをはずれて走行しても、本機が自動的に、適切なルートをすばやく探し直して、道案内を続けます。



正しいルート



探し直したルート

交差点を拡大表示します。

音声案内のほか、曲がる方向と走行車線をわかりやすく表示します。

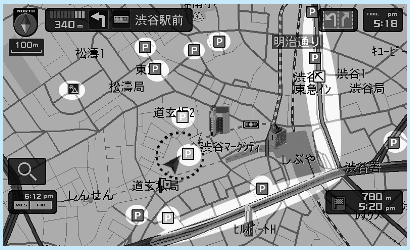


音声案内の音量を調整できます。

VOLボタンを押し、＋/－をタッチして調整します。調整後、音量調整画面は自動的に消えますが、VOLボタンを押す、または「戻る」をタッチしても消せます。

道路状況がリアルタイムでわかります。

渋滞などの道路状況をリアルタイムで表示するので、渋滞していない道を選んで走行することもできます（NV-XYZ88/XYZ77のみに付属、NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です）。

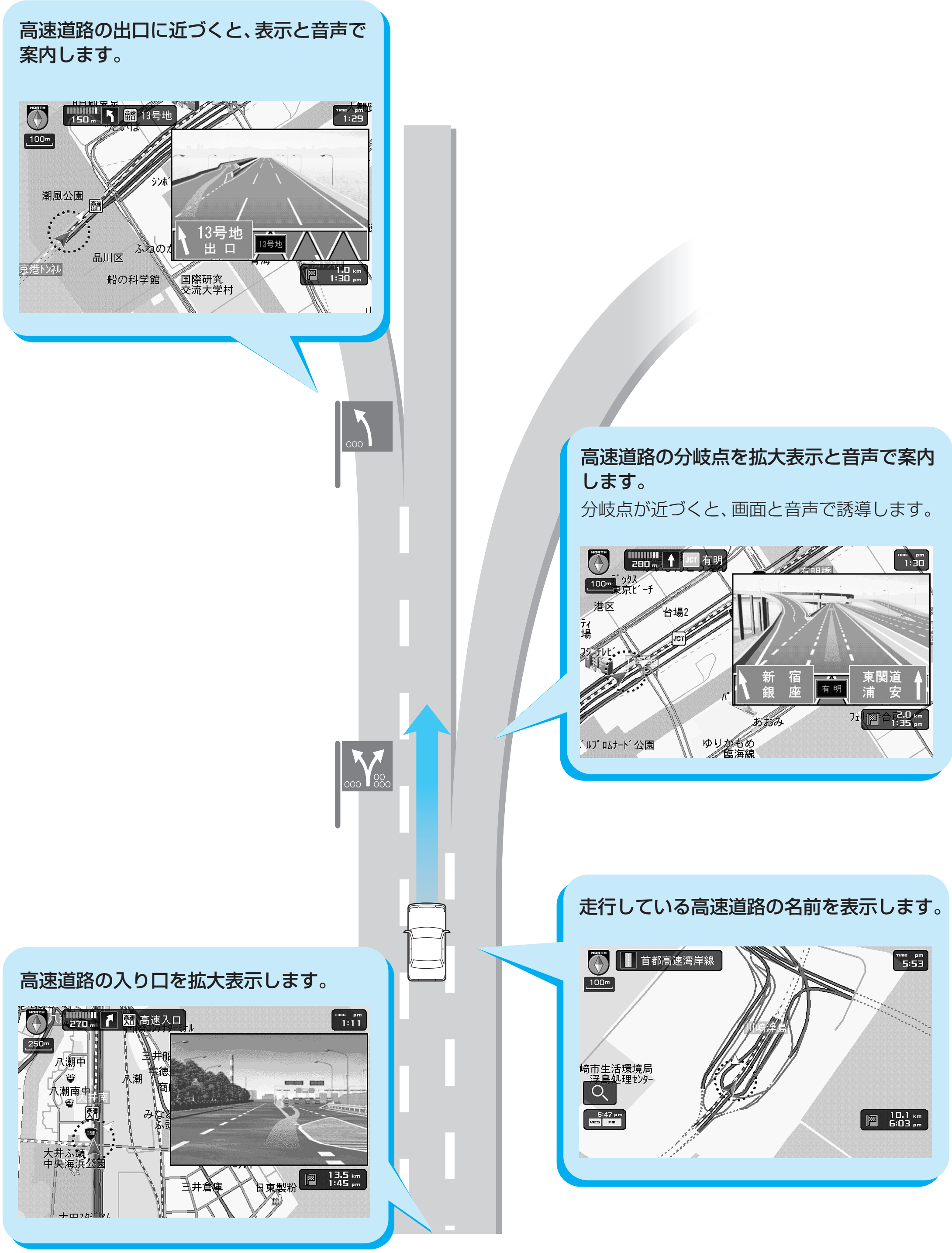


* データがない、または高速で走行している時など、データはあってもタイミングが合わない場合は、表示されなかったり、正しく表示されなかったりします。また、ルート案内時、ルート線が道路の中央や右側などにずれて表示される場合がありますが、交通規則に従い正しく走行してください。
広告、看板表示などは、データ収録時点のものなので、実際とは異なる場合があります。

次のページにつづく

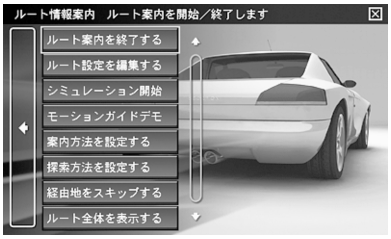
ステップ3:ルート案内を終了する
（つづき） 全機種

高速道路ではさらに以下のような案内もあります。



「ルートを消去する」

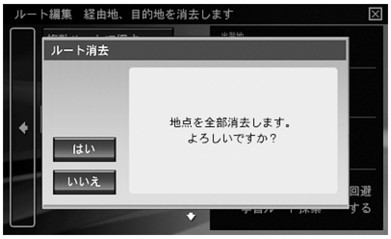
1 54ページの手順1～3の操作を行う。



2 「ルート設定を編集する」をタッチする。



3 「ルートを消去する」をタッチする。



「地点を全部消去します。よろしいですか？」と表示されます。

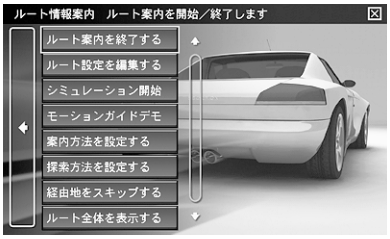
4 「はい」をタッチする。

ルートを消去すると、前の画面に戻ります。

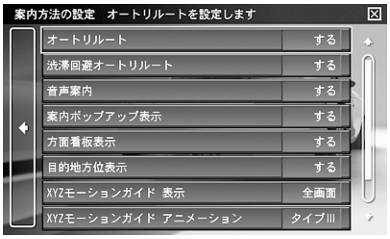
ルート案内についての設定をする
—音声案内/各種表示

ルート案内中のオートリルートや音声案内、案内ポップアップ表示、方面看板表示などを、お好みの設定に変えられます。
たとえば、方面看板表示を設定すると、前方の見通しが悪いときでも、実際に路上に出てくるのと同じ方面看板を表示できるので安心です。

1 54ページの手順1～3の操作を行う。



2 「案内方法を設定する」をタッチする。



3 設定する項目を選び、「する」、「しない」をタッチする。

「オートリルート」：自車がルートからはずれると、自車位置から目的地（経由地）までのルートを探し直し、自動的にルートを変更します。

「渋滞回避オートリルート」：自車がルートからはずれると、自車位置から目的地（経由地）までのルートを探し直し、VICSの情報から、渋滞している道を避けて自動的にルートを変更します*。

*拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77のみに付属）と別売りのVICSビーコンユニットNVA-VB4/ VB5を接続時。

「音声案内」：次のガイドポイント（経由地、曲がる交差点など）までの道のりを音声で知らせます。

「案内ポップアップ表示」：ガイドポイントごとに案内をポップアップで表示します。

「方面看板表示」：実際に路上に出てくる方面看板を表示します。

「目的地方位表示」：目的地の方位を黄色い三角で表示します。

「XYZモーションガイド表示」：「全画面」/「ポップアップ」/「しない」から選べます。

次のページにつづく ➡

ステップ3: ルート案内を終了する（つづき）全機種

「XYZモーションガイドアニメーション」:
交差点に近づくまでの視点の変化を設定します。
タイプⅠ：常にドライバーの視点で表示します。
タイプⅡ：上空からドライバーの視点に変化します。
タイプⅢ：ドライバーの視点から上空の視点に変化します（お買い上げ時の設定）。
「ルート線表示」：実線/破線を選べます。

設定後は

をタッチします。

ちょっと一言

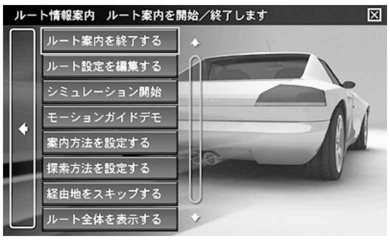
- 音声案内する主な項目は、以下のとおりです。
  - ルート案内開始/終了
  - ガイドポイント案内（ガイドポイントまでの距離、種類（名称）、方向*）
  - ガイドポイント基本案内（ガイドポイントまでの距離、種類（名称）、方向*、方面）
- 自車位置がルートからはずれているときは、ルート案内は行われません。
- 54ページの手順3で「モーションガイドデモ」を選ぶと、XYZモーションガイドのデモンストレーションを表示します。

* 方向には、「大きく右方向」、「右方向」、「ななめ右方向」、「直進方向」、「ななめ左方向」、「左方向」、「大きく左方向」、「Uターン」の8種類があります。

走行シミュレーション

目的地まで自車マークが走行するのを表示して設定したルートが確認できます。

1 54ページの手順1～3の操作を行う。



2 「シミュレーション開始」をタッチする。



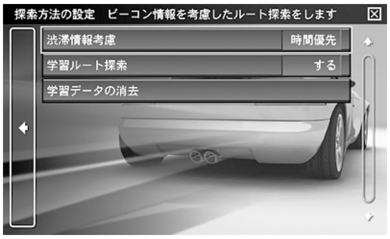
ご注意

「走行シミュレーション」はルート案内中のみ働き、ルートが設定されていないと、選択/表示できません。ご覧になるときは停車してから操作してください。

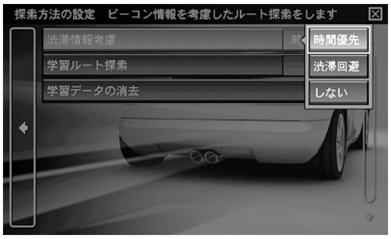
「探索方法を設定する」—時間優先/渋滞回避/学習ルート

出発前に設定しておくと、ルート案内中、VICSの情報から渋滞を自動的に回避したり、よく通る道を学習してルート探索に活用できます。

1 54ページの手順1～3に従って、「探索方法を設定する」をタッチする。



2 変えたい探索条件をタッチしてから、選択項目をタッチする。



「渋滞情報考慮」*：渋滞情報や交通規制などの道路交通情報から混雑している道を避けてルートを探します。「時間優先」を選ぶと、行き先まで短時間で行けるルートを探し、「渋滞回避」を選ぶと、渋滞している道を避けて回り道をするルートを探します。

「学習ルート探索」：よく通る道をナビが学習します。「する」を選ぶと、ルート探索するときに、通る回数の多い道を使ってルートを設定します。学習したルートは太線で表示されます。

「学習データの消去」：学習データを消去します。

* 渋滞情報は拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77のみに付属）と別売りのVICSビーコンユニットNVA-VB4/ VB5を接続しているときのみ有効です。

ルートの探しかたを変える

全機種

本機が提案する複数ルートの中から運転しやすいルートを選べます。また、ルート設定した後でも、経由地を追加して、ルートを簡単に設定し直せます。

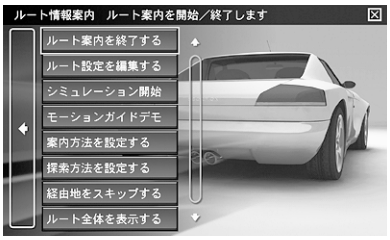
1 アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。



2 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



3 「ルート情報/案内を見る」をタッチする。



次のページにつづく

ルートの探しかたを変える（つづき）

全機種

4 「ルート設定を編集する」をタッチする。



5 ルートの編集方法をタッチする。

それぞれの編集方法について詳しくは、以下のページをご覧ください。

「複数ルートで探す」：このページ
「ルートを探す」：このページ
「出発地」を変更してルートを探す：61ページ
「経由地」を追加してルートを探す：61ページ

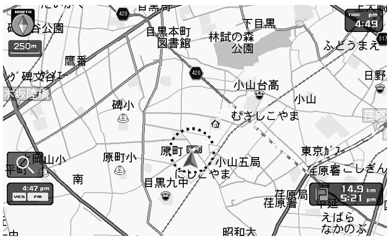
「複数ルートで探す」

優先する探索条件（推奨、一般、有料、距離）を選べます。

1 59、60ページの手順1～5に従って、「複数ルートで探す」をタッチする。



2 探索条件をタッチしてから「OK」をタッチする。



選んだ条件で探索したルートで、案内を開始します。

ご注意

- 有料道路料金は自車位置や設定した場所（目的地/経由地）によって、正しく表示されない場合があります。
- 有料道路を使うルートを探したときの料金は、目安の表示です。

「ルートを探す」―推奨ルート/一般道路優先/有料道路優先/距離優先

一般道路と有料道路を使い、おすすめのルートを探します（推奨ルート）。ルート探索が終わると、総距離、予想所要時間、有料道路料金などが表示されます。

1 59、60ページの手順1～5に従って、「ルートを探す」をタッチする。



2 探索条件をタッチする。



総距離、予想所要時間、有料道路料金などが表示されます。

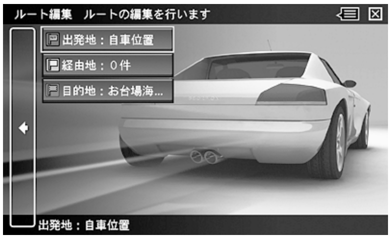
ご注意

- 有料道路料金は自車位置や設定した場所（目的地/経由地）によって、正しく表示されない場合があります。
- 有料道路を使うルートを探したときの料金は、目安の表示です。

「出発地」を変更してルートを探す

あらかじめ、自車位置ではない場所を出発地として設定しておけます（何も設定しなければ、ルート設定したときの自車位置が出発地に設定されます）。
たとえば、旅行の計画を立てるときに、あらかじめ旅先でかかる移動時間などを本機で調べて、無理のない旅行日程を計画できます。

1 **59、60ページの手順1～4の操作に従って、「ルートを編集する」をタッチする。**



2 **「出発地」をタッチする。**

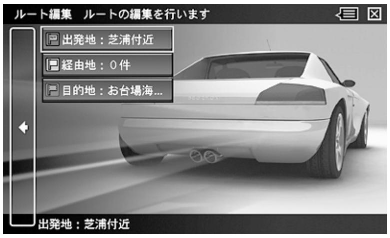


3 **「場所を選ぶ」をタッチしてから、「検索」を選ぶ。**



4 **検索方法をタッチする。**
それぞれの検索方法について詳しくは、「ステップ2：目的地/経由地を決めてルートを探す」（45ページ）をご覧ください。
検索が終わると、出発地周辺の地図が表示されます。✚マークが出発地からずれているときは、画面をなぞって✚マークを出発地まで動かします。

5 **決定（決定）をタッチする。**

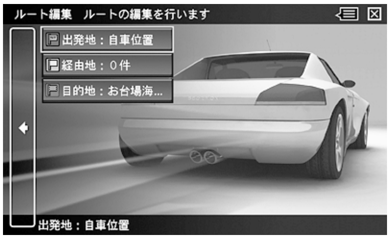


設定が完了すると出発地が設定されたルート設定画面を表示します。

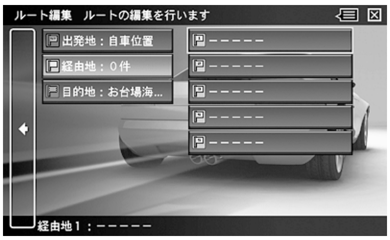
「経由地」を追加してルートを探す

ドライブ中、レストランやインターチェンジ、ガソリンスタンドなど、急に立ち寄りたい場所ができたとき、経由地に追加して、案内中のルートを設定し直せます。経由地は5個まで設定できます。

1 **59、60ページの手順1～4の操作に従って、「ルートを編集する」をタッチする。**



2 **「経由地」をタッチする。**



次のページにつづく

ルートの探しかたを変える（つづき）

全機種

3 経由する順に並んだ経由地リストから、経由地をタッチする。



4 「場所を選ぶ」をタッチする。

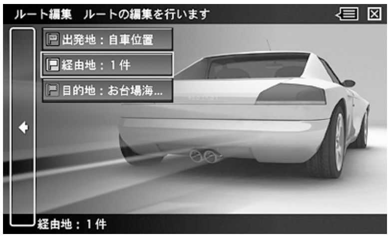


5 「検索」をタッチする。

それぞれの検索方法について詳しくは、「ステップ2：目的地/経由地を決めてルートを探す」（45ページ）をご覧ください。



6 決定（決定）をタッチする。



設定が完了すると、経由地が設定されたルート設定画面が表示されます。

経由地を削除するには

1. 59、60ページの手順１～４の操作に従って、「ルートを編集する」をタッチする。
2. 「経由地」をタッチする。
3. 削除する経由地をタッチしてから、「削除」をタッチする。

   「入力した地点を削除します。よろしいですか？」が表示されます。
4. 「はい」を選ぶ。

最寄の経由地をスキップするには

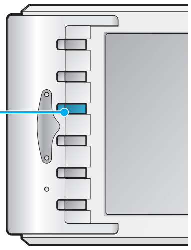
1. 59、60ページの手順１～３の操作に従って、「経由地をスキップする」をタッチします。
2. 次の経由地を通らないルートを探索します。

道路交通情報を見る—VICS

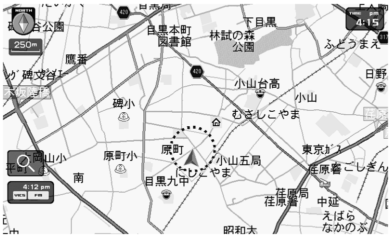
88 77

拡張ステーション接続時、渋滞、交通規制などの情報や、駐車場の混雑状況などを受信できます。
NV-XYZ55/XYZ33は別売り拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

MENUボタン



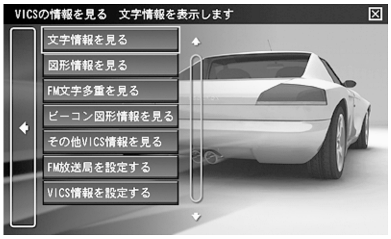
1 アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。



2 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



3 「VICS情報を見る」をタッチする。



VICS情報の見かた/設定のしかたについて詳しくは、以下のページをご覧ください。

「文字情報を見る」：65ページ
「図形情報を見る」：65ページ
「FM文字多重を見る」：65ページ
「ビーコン図形情報を見る」：66ページ
「その他VICS情報を見る」：66ページ
「FM放送局を設定する」：67ページ
「VICS情報を設定する」：68ページ

ご注意

- 受信状況によって、受信するまでに多少の時間がかかります。
- FM放送が受信できていても、受信状況によって、文字情報は受信できないことがあります。この場合は、別売りのアンテナ分配器を使い、カーステレオのFMアンテナを接続することをお勧めします。
- 番組番号を選んでも、番組が受信できないことがあります。
- 番組ジャンプは、番組の構成によって、すべてのページが表示されないことがあります。
- ビーコン*情報の内容は、受信する地域によって異なることがあります。
  - * 別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5が必要です。

次のページにつづく ➡

道路交通情報画面各部のはたらき



1 **情報提供時刻＊**
地図表示しているエリアの情報提供時刻を表示します。
ルート沿いに渋滞を見つけると、VICSが赤くなります。
このとき、VICSをタッチすると渋滞箇所を地図と音声で知らせます。また、⚡が表示されているとき、VICSをタッチしたままにすると、最後に受信したビーコン簡易図形＊＊を表示します。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）を使うときはVICSボタンを押すか、2秒以上押すことで、同様の操作ができます。

2 **VICS情報表示＊**
渋滞、交通規制などの情報や、駐車場の混雑状況を表示します。

3 **点滅表示＊**
渋滞している場所は赤色、混雑している場所はオレンジ色に点滅して表示されます。

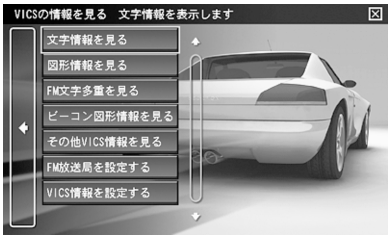
4 **規制表示＊**
通行止め、速度規制、車線規制などを表示します。

5 **渋滞なし/不明表示＊**
渋滞していない箇所は水色、渋滞不明の箇所は灰色で表示されます。

＊ NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。
＊＊ 別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5が必要です。

「文字情報を見る」

1 63ページの手順1～3の操作を行う。



2 「文字情報を見る」をタッチする。

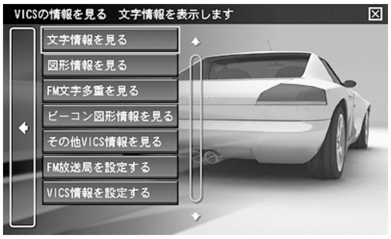


3 番組番号をタッチする。



「図形情報を見る」

1 63ページの手順1～3の操作を行う。



2 「図形情報を見る」をタッチする。

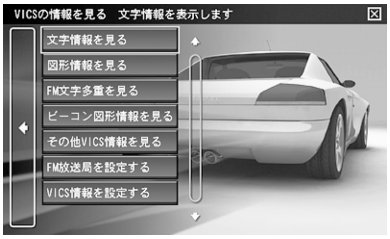


3 番組番号をタッチする。

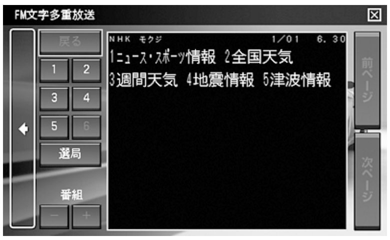


「FM文字多重を見る」

1 63ページの手順1～3の操作を行う。



2 「FM文字多重を見る」をタッチする。



3 番組番号をタッチする。

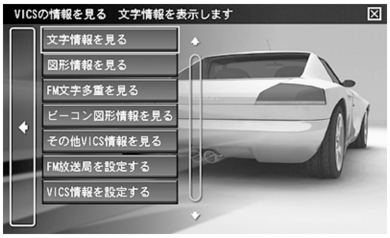


次のページにつづく→

「ビーコン図形情報を見る」

ビーコン情報は、別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5が必要です。

1 63ページの手順1～3の操作を行う。



2 「ビーコン図形情報を見る」をタッチする。



「その他VICS情報を見る」

区間ごとの所要時間や、渋滞情報を見ることができます。

1 63ページの手順1～3の操作を行う。



2 「その他VICS情報を見る」をタッチする。



3 項目をタッチする。

FM区間旅行時間（区間ごとの所要時間）
区間旅行時間*（特定の区間の所要時間）
目標地旅行時間*（目的地までの区間ごとの所要時間）
緊急メッセージ*/**（災害時などに受信する道路規制情報）
メッセージ情報*（渋滞情報）
障害情報*（事故/故障/工事情報）
注意警戒情報*（災害時などに受信する道路規制情報）
センター障害*
広域文字情報*
サービス情報*

* 別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5接続時のみ受信できます。

** 本機は、緊急メッセージを受信できますが、本機自体で災害による被害を予防したり、損害を回避したりすることはできません。緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、取り扱いの誤りなどにより、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償されません。このことをご理解のうえ、本機を使ってください。

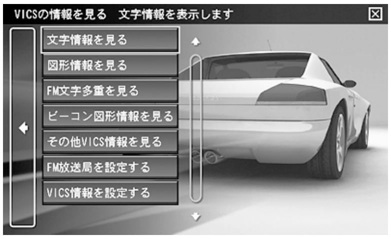
ご注意

- 受信した内容は、停車してご覧ください。
- 受信状況により、送信された緊急メッセージをすべて受信できるとは限りません。

「FM放送局を設定する」

VICS放送局とFM文字多重放送局を受信できます。
VICS放送局を選ぶと渋滞情報が、FM多重放送局を選ぶとFM文字多重放送番組（東京FM、J－WAVEなど）が、それぞれ受信できます。

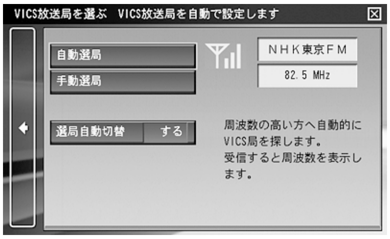
1 63ページの手順1～3の操作を行う。



2 「FM放送局を設定する」をタッチする。

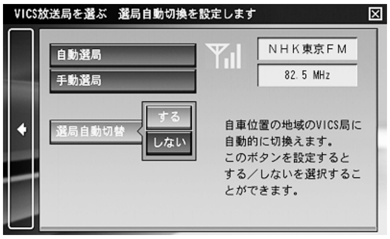


3 「VICS放送局を選ぶ」をタッチする。



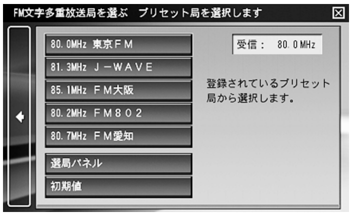
4 選局方法をタッチする。

「自動選局」：自車位置周辺地域のVICS放送局の周波数を自動的に探して選局します。
「手動選局」：周波数入力画面が表示されるので、受信したいVICS放送局の周波数を入力してください。
「選局自動切替」：自車位置周辺地域のVICS放送局に自動的に切り替わります。

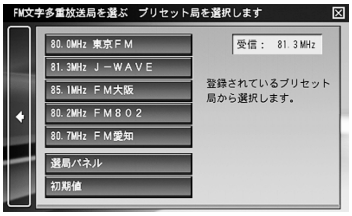


FM多重放送局を受信するには

1 63ページの手順1～3に従って、「FM放送局を設定する」をタッチする。
2 「FM多重放送局を選ぶ」をタッチする。



3 放送局をタッチする。



ちょっと一言

- FM放送とFM多重放送では受信可能エリアに差があります。そのため、FM放送が受信できる地域でもFM多重放送が受信できない場合があります。
- 「初期値」を選ぶと、初期設定の周波数に戻ります。

次のページにつづく

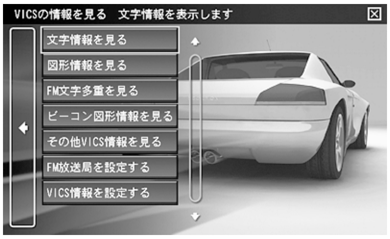
道路交通情報を見る—VICS（つづき）

88 77

「VICS情報を設定する」

VICS情報表示の設定を変えられます。
渋滞している道路を点滅表示させたり、駐車場の場所を表示させたり、お好みの設定にできます。

1 63ページの手順1～3の操作を行う。



2 「VICS情報を設定する」をタッチする。



3 設定する項目を選んでから、選択項目をタッチする。

下線はお買い上げ時の設定です。



渋滞情報の表示

「すべて」：高速道路/一般道路
「一般道路」：一般道路のみ
「高速道路」：高速道路のみ
「しない」：どれも表示しない

渋滞なし・不明表示

「する」：渋滞していない箇所は水色、渋滞不明の箇所は灰色で表示されます。
「しない」：表示しない

規制表示

「する」/「しない」

駐車場表示

「する」/「しない」

渋滞情報の点滅

「する」：渋滞している場所は赤色、混雑している場所はオレンジ色に点滅して表示されます。
「しない」：表示しない

取得時刻の表示

「する」/「しない」

ポップアップ情報の表示

「すべて」
「図形」
「しない」

ポップアップ情報の表示時間

「10秒」/「20秒」

ビーコン*受信のチャイム通知

「する」/「しない」

ビーコン*情報を消す

ビーコンから受信したVICS情報を消します。

* 別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5が必要です。

設定が終わったら

をタッチして、前の画面に戻ります。

VICSについて

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、VICSセンターで、最新の道路交通情報を一元化して編集処理したものを、ドライバーにリアルタイムに提供し、交通渋滞の緩和と安全性の向上をはかる道路交通情報通信システムです。情報は5分ごとに更新されます。

提供されるVICS情報について

VICS情報には以下のようなものがあります。

渋滞情報：渋滞地点、渋滞区間など
所要時間情報：主要地点間の所要時間
交通障害情報：事故、故障車、工事など
交通規制情報：通行止め、速度規制、車線規制など
駐車場情報：駐車場、パーキングエリア、サービスエリアなどの混雑状況など

VICS情報の提供方法

VICS情報は以下の3つの方法で提供されています。

拡張ステーションで受信できるVICS情報は、FM多重放送で提供される情報のみです。電波ビーコンや光ビーコンの情報を受信するには、別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5が必要です。

FM多重放送：一般道路（都道府県単位）/高速道路の広域情報
電波ビーコン：周辺一般道路/高速道路（前方約200km）の狭域情報
光ビーコン：一般道路（前方約10数km）/高速道路の狭域情報

ちょっと一言

別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5接続時、以下のようなことがありますが、故障ではありません。

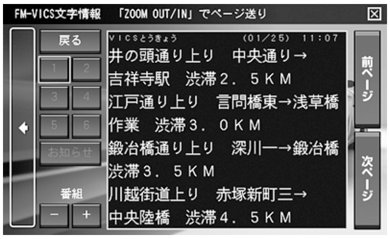
- 高速道路付近の一般道路走行中に、高速道路のVICS情報を受信する。
- 一般道路走行中に、対向車線のVICS情報を受信する
- トンネルの中では、VICS情報を受信しない。
- 大型車と並走したり、大型車を追い越したりしたときに、VICS情報を受信しない。
- 幅の広い道路や車線数の多い道路では、VICS情報を受信しない。

VICS情報の表示形態

VICS情報は以下の3種類の表示形態で提供されます。

文字表示型（レベル1）

VICS情報が文字で表示されます。最新の道路交通情報を文字で提供し、ドライバーのルート選択をサポートします。



簡易図形表示型（レベル2）

パターン化された図形や文字によって、渋滞箇所や区間の所要時間が表示されます。走行方向前方の道路交通状況がひと目でわかり、ルート選択の参考になります。



地図表示型（レベル3）

NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

ナビシステムの地図画面に、渋滞情報などが重ねて表示されます。走行地点と渋滞箇所がひと目でわかります。



次のページにつづく

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

第1条（約款の適用）
財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

第2条（約款の変更）
当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

第3条（用語の定義）
この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス
　当センターが自動車を利用中の加入者のために、ＦＭ多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
　当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
　当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー
　ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

第4条（VICSサービスの種類）
VICSサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
　文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
　簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
　車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

第5条（VICSサービスの提供時間）
　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

第6条（契約の単位）
当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

第7条（サービスの提供区域）
VICSサービスの提供区域は、別表Ｉ（P71）のとおりとします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の伝わりにくいところでは、VICSサービスを利用することができない場合があります。

第8条（契約の成立等）
VICSサービスは、VICS対応ＦＭ受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

第9条（VICSサービスの種類の変更）
加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応ＦＭ受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

第10条（契約上の地位の譲渡又は承継）
加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

第11条（加入者が行う契約の解除）
当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

第12条（当センターが行う契約の解除）
当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

第13条（料金の支払い義務）
加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表Ⅱ（P72）に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

第14条（当センターの保守管理責任）
当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

第15条（利用の中止）
当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

第16条（利用に係る加入者の義務）
加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

第17条（免責）
当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表Ⅰ
VICSのサービス提供区域について

東京都
２３区及び昭島市、あきる野市、稲城市、青梅市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、立川市、多摩市、調布市、西東京市、八王子市、羽村市、東久留米市、東村山市、東大和市、日野市、府中市、福生市、町田市、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

神奈川県
厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、小田原市、鎌倉市、川崎市、相模原市、座間市、逗子市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、三浦市、南足柄市、大和市、横須賀市、横浜市

埼玉県
上尾市、朝霞市、入間市、岩槻市、桶川市、春日部市、加須市、上福岡市、川口市、川越市、北本市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、越谷市、
さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、草加市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、羽生市、飯能市、東松山市、日高市、深谷市、富士見市、本庄市、三郷市、八潮市、吉川市、和光市、蕨市

千葉県
我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、柏市、勝浦市、鎌ヶ谷市、鴨川市、木更津市、佐倉市、白井市、袖ヶ浦市、館山市、千葉市、銚子市、東金市、流山市、習志野市、成田市、野田市、船橋市、松戸市、茂原市、八街市、八千代市、四街道市

愛知県
安城市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、大府市、岡崎市、尾張旭市、春日井市、蒲郡市、刈谷市、江南市、小牧市、新城市、瀬戸市、高浜市、知多市、知立市、津島市、東海市、常滑市、豊明市、豊川市、豊田市、豊橋市、名古屋市、西尾市、日進市、半田市、尾西市、碧南市

大阪府
池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪市、大阪狭山市、貝塚市、
交野市、門真市、河内長野市、岸和田市、堺市、四条畷市、吹田市、摂津市、泉南市、大東市、高石市、高槻市、豊中市、富田林市、寝屋川市、羽曳野市、東大阪市、枚方市、藤井寺市、松原市、箕面市、守口市、八尾市

京都府
綾部市、宇治市、亀岡市、京田辺市、京都市、城陽市、長岡京市、福知山市、舞鶴市、
宮津市、向日市、八幡市

長野県
飯田市、飯山市、伊那市、上田市、大町市、岡谷市、更埴市、駒ヶ根市、小諸市、佐久市、塩尻市、須坂市、諏訪市、茅野市、中野市、長野市、松本市

兵庫県
相生市、明石市、赤穂市、芦屋市、尼崎市、伊丹市、小野市、加古川市、加西市、川西市、神戸市、三田市、洲本市、高砂市、宝塚市、龍野市、豊岡市、西宮市、西脇市、姫路市、三木市

福岡県
飯塚市、大川市、大野城市、大牟田市、春日市、北九州市、久留米市、古賀市、田川市、太宰府市、筑後市、筑紫野市、中間市、直方市、福岡市、前原市、宗像市、柳川市、山田市、八女市、行橋市

広島県
因島市、尾道市、呉市、竹原市、廿日市市、広島市、福山市、府中市、三原市、三次市

宮城県
石巻市、岩沼市、角田市、気仙沼市、塩竈市、白石市、
仙台市、多賀城市、名取市、古川市

北海道
（札幌地区）
赤平市、芦別市、石狩市、岩見沢市、歌志内市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、札幌市、砂川市、滝川市、伊達市、千歳市、苫小牧市、登別市、美唄市、三笠市、
室蘭市、夕張市
（旭川地区）
旭川市、士別市、名寄市、富良野市、留萌市
（函館地区）
函館市
（釧路地区）
釧路市、根室市、帯広市
（北見地区）
網走市、北見市、紋別市

静岡県
熱海市、伊東市、磐田市、御殿場市、静岡市、島田市、下田市、裾野市、天竜市、沼津市、浜北市、浜松市、袋井市、富士市、藤枝市、富士宮市、三島市、焼津市

群馬県
安中市、伊勢崎市、太田市、桐生市、渋川市、高崎市、館林市、富岡市、沼田市、藤岡市、前橋市

福島県
会津若松市、いわき市、喜多方市、郡山市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、原町市、福島市

岡山県
井原市、岡山市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、玉野市、津山市、新見市

沖縄県
糸満市、浦添市、沖縄市、宜野湾市、名護市、那覇市

宮崎県
小林市、西都市、日南市、延岡市、都城市、宮崎市

岐阜県
恵那市、大垣市、各務原市、岐阜市、関市、高山市、多治見市、土岐市、中津川市、羽島市、瑞浪市、美濃加茂市、山県市、瑞穂市

次のページにつづく

道路交通情報を見る—VICS（つづき）

88 77

三重県
伊勢市、尾鷲市、亀山市、桑名市、鈴鹿市、津市、久居市、松阪市、四日市市

山口県
岩国市、宇部市、小野田市、下松市、下関市、長門市、萩市、光市、防府市、美祢市、柳井市、山口市、周南市

茨城県
石岡市、笠間市、北茨城市、古河市、高萩市、土浦市、下館市、下妻市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、水戸市、結城市

和歌山県
有田市、海南市、御坊市、新宮市、田辺市、和歌山市

滋賀県
大津市、近江八幡市、草津市、彦根市、守山市、八日市市、栗東市

奈良県
生駒市、橿原市、香芝市、御所市、桜井市、天理市、奈良市、大和郡山市、大和高田市

栃木県
足利市、今市市、宇都宮市、大田原市、小山市、鹿沼市、黒磯市、佐野市、
栃木市、日光市、真岡市、矢板市

山梨県
塩山市、大月市、甲府市、都留市、韮崎市、富士吉田市、山梨市、南アルプス市

新潟県
小千谷市、柏崎市、加茂市、五泉市、三条市、新発田市、上越市、白根市、燕市、栃尾市、豊栄市、長岡市、新潟市、新津市、見附市、村上市、両津市

石川県
金沢市、小松市、珠洲市、七尾市、羽咋市、松任市、輪島市

熊本県
荒尾市、牛深市、宇土市、菊池市、熊本市、玉名市、人吉市、水俣市、八代市、山鹿市

大分県
宇佐市、臼杵市、大分市、杵築市、佐伯市、竹田市、津久見市、中津市、日田市、別府市

香川県
坂出市、善通寺市、高松市、丸亀市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県
今治市、伊予市、伊予三島市、宇和島市、大洲市、川之江市、西条市、東予市、新居浜市、松山市、八幡浜市

佐賀県
伊万里市、鹿島市、唐津市、佐賀市、多久市、武雄市、鳥栖市

長崎県
諫早市、大村市、佐世保市、島原市、長崎市、平戸市、福江市、松浦市

鹿児島県
阿久根市、出水市、指宿市、大口市、鹿児島市、加世田市、鹿屋市、国分市、川内市、垂水市、西之表市、枕崎市

徳島県
阿南市、小松島市、徳島市、鳴門市

高知県
安芸市、高知市、宿毛市、須崎市、土佐市、土佐清水市、中村市、南国市、室戸市

福井県
大野市、小浜市、鯖江市、武生市、敦賀市、福井市

富山県
魚津市、小矢部市、黒部市、新湊市、高岡市、砺波市、富山市、滑川市、氷見市

山形県
上山市、寒河江市、酒田市、新庄市、鶴岡市、天童市、長井市、南陽市、東根市、村山市、山形市、米沢市

秋田県
秋田市、大館市、男鹿市、能代市、本荘市、湯沢市

青森県
青森市、黒石市、五所川原市、十和田市、八戸市、弘前市、三沢市、むつ市

島根県
出雲市、江津市、大田市、浜田市、平田市、益田市、松江市、安来市

鳥取県
倉吉市、境港市、鳥取市、米子市

岩手県
一関市、大船渡市、釜石市、北上市、久慈市、遠野市、花巻市、宮古市、水沢市、盛岡市、陸前高田市

別表Ⅱ
視聴料金315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格*に含まれております。

* NV-XYZ88/XYZ77と拡張ステーション NVA-TS1/TS2のみ。

VICSに関するお問い合わせ

- VICSセンターが提供する情報に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- VICSセンターでは、道路の新設もしくは改造などの形状変化、信号機、車両感知器増設など交通施設の変化に応じ、より適切な情報を提供するため、毎年、道路交通情報の追加、削除を行っています。したがって、道路交通情報が削除された道路では、道路交通情報が表示されなくなる場合があります。
- VICS最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、以下のホームページをご覧ください。
  URL：http://www.vics.or.jp/
- お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙をご覧ください。
- お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まず、問い合わせ窓口（またはお買い上げ店）までご連絡ください。お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙をご覧ください。

ナビを使いながら音楽を聞く

88 77 33

ホームステーションを使って、あらかじめパソコンからXYZ本体へ音楽ファイルを転送しておいてください。転送のしかたについて詳しくは、ホームステーション付属の「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。
NV-XYZ55は別売りのホームステーションNVA-HS1が必要です。

1 **アプリケーション選択画面で「音楽を聞く」をタッチする。**

音楽の聞きかたについて詳しくは、「ステップ2：転送した音楽を聞く」（104ページ）をご覧ください。



「LIST」

2 **「LIST」をタッチして、リストを表示する。**



3 **「アルバム検索」をタッチする。**



次のページにつづく →

88 77 33

4 アルバム名をタッチする。



5 曲名をタッチする。

選んだ曲を再生します。

6 DISPLAYボタンまたはMAPボタンを押す。

ナビゲーション画面が表示され、曲を再生したまま、ナビ機能が使えます。



ナビを使いながらテレビやビデオを見る—2画面

88 77

拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77のみに付属）を接続すると、テレビを見ることができます。

安全のため、サイドブレーキを引いた状態でないと映像は表示されません。
NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

1 アプリケーション選択画面で「テレビを見る」または「ビデオを見る」をタッチする。



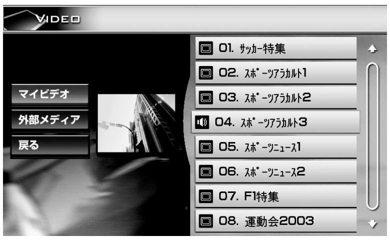
2 「LIST」をタッチして、リストを表示する。

テレビの場合



チャンネルをタッチしてお好みのテレビ画面を表示します。

ビデオの場合



「マイビデオ」をタッチしてからタイトルをタッチして、お好みのビデオ画面を表示します。

3 DISPLAYボタンを押す。

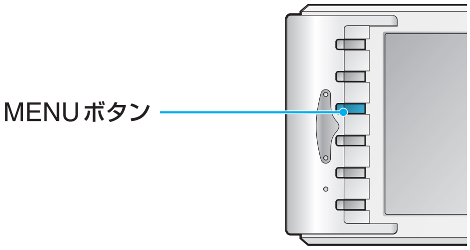
一度押すと、メイン画面にナビ、サブ画面にテレビ/ビデオが表示され、DISPLAYボタンをもう一度押すと、ナビ画面（下にテレビ/ビデオのツールバーを表示）が表示されます。
テレビ/ビデオを再生したまま、ナビ機能が使えます。



ナビの設定を変える

全機種

画面に表示される設定メニューで、画面上の進行方向を変えたり、マークを編集したりできます。



1 アプリケーション選択画面で、「ナビゲーション」をタッチする。

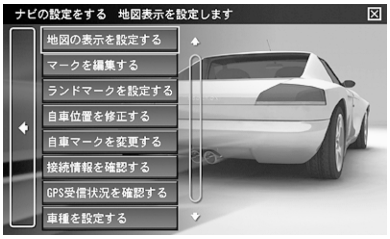


2 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



次のページにつづく

3 「ナビの設定をする」をタッチする。



4 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

MENUボタンを押すときの画面によって、メニュー項目は異なります。調整/表示できない項目はグレー表示されます。
各項目については以下のページをご覧ください。

「地図の表示を設定する」：77ページ
「マークを編集する」：78ページ
「ランドマークを設定する」：79ページ
「自車位置を修正する」：79ページ
「自車マークを変更する」：79ページ
「接続情報を確認する」：79ページ
「GPS受信状況を確認する」：80ページ
「車種を設定する」：80ページ

「地図の表示を設定する」

項目	設定
「メインマップ表示方向」	メインマップで、画面上を進行方向にするときは「進行方向を上」、画面上を北にするときは「北を上」を選びます。 また、方位（コンパス）をタッチしても同じように、「進行方向を上」/「北を上」の切り替えができます。 **ちょっと一言** 方位（コンパス）は、北を上にしているときは （方位（コンパス）上に「NORTH」が表示される）、進行方向を上にしているときは （方位（コンパス）上に何も表示されない）の状態で表示されます。
「サブマップ表示方向」	サブマップで、画面上を進行方向にするときは「進行方向を上」、画面上を北にするときは「北を上」を選びます。 また、方位（コンパス）をタッチしても同じように、「進行方向を上」/「北を上」の切り替えができます。
「ビュー切替え」	地図を平面/立体/簡易に切り替えたり、2画面表示にして見ることができます。 詳しくは「地図を平面/立体/簡易に切り替える」（41ページ）、「2画面にして表示する」（42ページ）をご覧ください。
「簡易マップ自動切替え」	有料道路走行時、自動的に簡易マップ表示に切り替えます。
「走行軌跡の表示」	一度通ったルートを表示します。
「走行軌跡の消去」	走行軌跡を消去します。
「地図カラーの自動切替え」	地図の色合いが見やすくなるように、周りの明るさに合わせて自動的に変更します。詳しくは、「昼夜色を変更する」（43ページ）をご覧ください。
「地図カラー設定」	地図のカラーを16パターンから選びます。選んだ色で昼夜色を設定します。
「方面ガイドスクロール」	地図をスクロールしたときに上下左右に方面名称を表示します。
「3Dマップを調整する」	3Dマップのアングルを変更します。
「立体ポリゴン表示」	3D表示の市街地図画面で建物などを立体的に表示します。
「立体ランドマーク表示」	東京ドームや六本木ヒルズなどを立体ランドマークで表示します。 立体ランドマークについて詳しくは、85ページをご覧ください。
「一方通行表示」	一方通行の箇所をマークで表示します。（市街地図のみ）

次のページにつづく →

「マークを編集する」

マークリストを設定した順に並べ替えたり、
マークを編集できます。
左側にジャンルリストを表示し、右側にジャンル
内のマークを表示します。

項目	設定
「名称」	マークの名前を変えられます。 新しい名前を入力し、「入力終了」をタッチします。
「読み」	マークに読みかたを設定できます。読みかたの順でマークの並び替えを行うときに便利です。 読みをひらがなで入力し、「入力終了」をタッチします。
「シンボル」	マークした場所に付けるシンボルを変更できます。 オリジナルのシンボルやランドマークのシンボルを設定できます。
「グループ」	マークをグループに設定しておくと、グループでマークを絞り込めます。 設定するグループを選びます。
「TEL」	マークに電話番号を登録できます。レストランや友人宅の電話番号を入力しておくと、電話帳として使えて便利です。 電話番号を入力し、「決定」をタッチします。
「登録日時」	登録した年/月/日時を表示します。
「削除」	マークを削除します。

マークを並べ替えるには

1 マークリストの画面で、MENUボタンを押す。
2 並べ替えかたをタッチする。

「50音順でソート」*：「読み」が設定されているマークを50音順に並び替えます。

「アイコンでソート」：シンボルごとに並び替えます。

「登録順でソート」：登録した日付が新しいものから順に並び替えます。最後に登録したマークが先頭になります。

*「50音順でソート」はマーク名称ではなく、マークの読みがなを使って並び替えます。
あらかじめ登録されているマークの「読み」を入力しておいてください。
マークはグループ毎に、50音順、アイコン順など個別に並べ替えられます。

「ランドマークを設定する」

ドライブの目印になるように、ガソリンスタンドやコンビニ、遊園地などの施設をマークで表示できます。
マーク表示したい施設/店舗を選んで、チェックを入れます。

「自車位置を修正する」

GPSの受信状況により、実際の車の位置や向きが異なるとき、以下の操作を行ってください。

1 地図上をタッチして、✚マークを修正したい場所に動かし、「決定」をタッチする。

2 ↶ または ↷ をタッチする。

「自車マークを変更する」

お好みに合わせて自車マークを変更できます。

「接続情報を確認する」

取り付け状況や自車位置の精度を確認できます。

項目	設定
「GPSレベル」	GPSの受信状況を4段階で表示します。
「自律航法」*	車速パルスを使った自律航法の状態を以下の3つの状態で表示します。 動作中：車速パルスを使って位置を検出しています。 準備中：車速パルスを検出後、GPSを使って進行量を計算しています。 未使用：車速パルス、未検出。GPSを使って進行量を計算しています。
「車速パルス数」*	1秒間に入ってくる車速パルス数を表示します。 車速パルスについて詳しくは、213ページをご覧ください。
「パーキングブレーキセンサー」	パーキングブレーキが入っているときは「ON」を、入っていないときは、「OFF」を表示します。
「拡張ステーション」*	拡張ステーションが接続されているかどうか表示します。
「バックセンサー」*	車のギアセレクトレバーがリバース（バック）に入っているとき「ON」を、入っていないときは「OFF」を表示します。
「ビーコンユニット」*	別売りのビーコンユニットNVA-VB4/VB5が接続されているかどうか表示します。
「拡張ステーション設置角度」*	拡張ステーションの設置角度が正常なときは「OK」を表示します。計測結果が表示されるには、10km程度走行する必要があります。

* NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

次のページにつづく ➡

「GPS受信状況を確認する」

項目	設定
「緯度」	現在の自車位置の緯度を表示します。
「経度」	現在の自車位置の経度を表示します。
「GPSレベル」	GPSの測位モードを4段階で表示します。
「高度」	現在の自車位置の高度を表示します。

「車種を設定する」

XYZを搭載する車種を設定します。
車種を設定すると、ルート探索で、有料道路を通るルートが選ばれたとき、有料道路の料金がその車種に応じた料金で計算されます。
「自律航法の学習値を初期化」をタッチすると、自律航法の学習値が、お買い上げ時の状態に戻ります。

ちょっと一言

MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。

地図について

全機種

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

「NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55/XYZ33」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の改訂作業を行うため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合等、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重要!!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)の間の「NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55/XYZ33」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトをご使用になる前に、必ずお読みください。本ソフトをご使用になった場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の「取扱説明書」(「取説」)に従い本ソフトを機器で使用する権利を許諾します。
2. お客様は、本ソフトの使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   (1) 必ず安全な場所に車を停車させて本ソフトを使用すること。
   (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意しそれらを優先して行うこと。
3. お客様は、以下の事項を了承するものとします。
   (1) 本ソフトの著作権は弊社または弊社に著作権にもとづく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、全て正確かつ完全ではないこと。弊社は、これらがあっても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
   (3) 本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、故意または重過失による場合を除き、直接的かつ通常の損害の賠償に限られ、また、本ソフトと同等の機能を有する弊社商品の標準価格を限度とすること。この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任の全てを規定したものとすること。
4. お客様は以下の行為をすることはできません。
   (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの一部でも、複製、抽出、転記、改変、送信することまたは2台以上の機器で使用すること。
   (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の一部でも利用させること。
   (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることその他のこれらに準ずる行為をすること。
   (4) その他本ソフトについて本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください

この「取扱説明書」では、安全にかかわる注意事項を、その危険の大きさの程度に応じて、次のように記載しています。

⚠警告

その危険を回避できなかった場合に、死亡または重傷を負う可能性のあるもの

- **運転者は、走行中に操作をしないでください。**
  運転を誤り交通事故を招くおそれがあります。
- **操作は、安全な場所に停車して行ってください。**
  安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

次のページにつづく →

地図について（つづき） 全機種

- **運転中は、画面を注視しないでください。**
  運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
- **常に実際の道路状況や交通規制・標識などを優先して運転してください。**
  画面に表示された道路状況・交通規制・標識表示や経路探索、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り交通事故を招くおそれがあります。
- **一方通行表示についても常に実際の標識表示を優先してください。**
  一方通行表示は全ての一方通行道路についてなされている訳ではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
- **本ソフトを救急施設などへの誘導用に使用しないでください。**
  本ソフトには全ての病院、消防署、警察などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。
- **オーディオ用プレーヤーでは絶対再生しないでください。**
  大音量により耳に傷害を被ったり、驚いて交通事故を招くおそれがあります。また、スピーカーを破損するおそれがあります。

⚠注意

その危険を回避できなかった場合に、軽傷を負う可能性のあるもの、および他の財物への損害の可能性があるもの

- **ひび割れや変形または接着剤を使って補修したDVD-ROMは、絶対に使用しないでください。**
  ケガをするおそれがあります。
- **DVD-ROMのプラスチックケースの上に重い物を置いたり、落としたりしないでください。**
  ケースが破損しケガをするおそれがあります。
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。（承認番号平14総使、第396-52号）
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。
  （承認番号04-4）
- 本ソフトに使用している交通規制データは、2003年4月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識·標示等にしたがってください。
- 本ソフトに使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会が有し、弊社は二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本ソフトに使用している交通規制データを無断で複写·複製·加工·改変することはできません。
- 本ソフトに使用している個人宅電話番号検索は（株）ダイケイのテレデータを使用しています。
- VICS は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2003年10月、国道、都道府県道についてはおおむね2003年9月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。ご了承ください。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な時がありますのでご注意願います。現場の状況を優先して運転してください。
- 「市街地図」データは弊社発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。ご了承ください。

- 電話番号検索データはタウンページ（2003年9月発行）をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、㈱ダイケイのテレデータを使用しています。公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。ご了承ください。
- 本ソフトに使用している郵便番号検索は、全国の町域（町名から○丁目を除く部分および大字）ごとに設定された郵便番号を基準に作成しています。それ以外の小字、地番、通称ごとや、特殊に設定された一部地域の郵便番号については収録されていない場合があります。ご了承ください。
- VICSリンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印等）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報についてのお問い合わせ先
詳しくは、裏表紙をご覧ください。

本ソフトの情報について
本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいております。

- 道路：2003年10月（高速・有料道路）/ 2003年9月（国道・都道府県道）
- 交通規制*：2003年4月
- 住所検索：2003年12月
- 電話番号検索：2003年9月
- 個人宅電話番号検索：2003年11月
- 郵便番号検索：2003年12月
- ジャンル検索：2003年11月
- 高速・有料道路料金：2003年11月
- 市街地図：2003年7月

* 交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

地図の内容についてのお問い合わせ先
詳しくは裏表紙をご覧ください。

2004年5月発行
製作・発行/株式会社ゼンリン

次のページにつづく →

収録情報の一覧表

全国地図	日本全国
市街地図収録都市 *	日本全国
個人宅電話番号検索	約3,000万件
施設電話番号検索	約1,100万件
住所検索	約3,000万件
ジャンル検索	1,048ジャンル、約340万件
周辺検索	1,048ジャンル、約340万件
3Dガイド地図データ **	東京都と全13政令都市の主要部

* 住宅や建物の形などが表示される50mスケール以下の詳細な地図データ

** XYZモーションストリートガイド（リアルな3D交差点ガイド）を表示するための地図データ

個人情報保護について

- 本ソフトでは、個人宅電話番号検索機能を実現する目的で、公開されている電話帳の情報を元に作成されたデータ（株式会社ダイケイ製）を使用しています。
- 当社は、本品において、当該個人情報を上記機能の実現のみに使用し、また事業協力会社を除く第三者に開示しません。
- 個人情報の削除/変更をご希望の方は、次のソニー株式会社窓口までご連絡ください。対応可能な次期商品から対応いたします。なお、製造済みの商品の回収/変更/削除には応じられませんので、ご了承ください。

お問い合わせ窓口

テクニカルインフォメーションセンター

048-794-5194

受付時間　月～金　9：00 ～ 18：00（祝日、年末年始を除く）

地図の表示される記号や道路の色について

地図表示記号の例

- 都道府県庁舎/北海道支庁庁舎（オレンジ色）
- 市役所/特別区庁舎（黄色）
- 町村役場/政令指定都市区役所庁舎
- 消防署（含む：分署/支署/出張所）
- 学校
- 工場
- 港
- マリーナ
- 史跡/旧跡、観光名所
- 城跡
- スタジアム
- 運動施設
- 城（城郭）/天守閣
- 山頂
- 自衛隊
- 墓地
- サッカースタジアム
- JRA競馬場/ウィンズ
- 大学
- 短大
- 高等専門学校
- 高等学校
- 中学校
- 小学校
- 養護/盲/聾学校

立体ランドマークの例

- 東京駅
- 六本木ヒルズ（森タワー）
- ユニバーサルスタジオ
- 福岡ドーム
- 厳島神社（大鳥居）
- 姫路城
- 鹿苑寺金閣
- セントラルタワーズ
- 出雲大社（本殿）
- 横浜ランドマークタワー
- フジテレビ
- 汐留シオサイト（汐留シティーセンター）
- 東京タワー
- 東京ドーム
- 埼玉スタジアム2002
- 札幌時計台

高速情報アイコンの例

- 公衆電話
- トイレ
- 障害者施設
- 軽食
- レストラン
- 郵便ポスト
- キャッシュコーナー
- ドラッグ
- 名産
- 風呂
- 宿
- コインシャワー
- コインランドリー
- コイン洗車機
- 銀行

道路の表示色

青色：高速道路、有料道路
赤色：国道（経路対象/経路対象外ともに）
緑色：県道、主要地方道（経路対象/経路対象外ともに）
黄金色：その他一般道、細道路
灰色：細街路を含む、経路対象外のその他一般道
薄紺色：フェリー航路（経路対象/経路対象外ともに破線表示）

地図ソフト作成時点で未開通の道路は、計画道路として道路種別を表す色の破線として表示されます。

次のページにつづく →

料金表示機能の対象道路

料金表示機能の対象路線は以下のとおりです。
ここに記載されていない路線を通る場合は、正しく料金計算できないことがあります。

道央自動車道
札樽自動車道
東北自動車道
八戸自動車道
常磐自動車道
関越自動車道
東関東自動車道
新空港自動車道
中央自動車道
長野自動車道
東名自動車道
名神高速道路
北陸自動車道
東海北陸自動車道
近畿自動車道
東名阪自動車道
伊勢自動車道
西名阪自動車道
阪和自動車道
山陽自動車道
広島自動車道
中国自動車道
高松自動車道
松山自動車道
高知自動車道
関門橋
九州自動車道
長崎自動車道
大分自動車道
宮崎自動車道
沖縄自動車道
首都高速都心環状線
首都高速１号上野線
首都高速１号羽田線
首都高速２号目黒線
首都高速３号渋谷線
首都高速４号新宿線
首都高速５号池袋線
首都高速６号向島線
首都高速６号三郷線
首都高速中央環状線
首都高速７号小松川線
首都高速９号深川線
首都高速川口線
首都高速湾岸線
首都高速神奈川１号横羽線
首都高速神奈川２号三ツ沢線
首都高速八重洲線
東京高速道路
名古屋高速１号楠線
名古屋高速２号東山線
名古屋高速３号大高線
阪神高速１号環状線
阪神高速 12 号守口線
阪神高速 14 号松原線
阪神高速 15 号堺線
阪神高速 13 号東大阪線
阪神高速３号神戸線
阪神高速７号北神戸線
阪神高速 17 号西大阪線
阪神高速４号湾岸線
福岡都市高速道路１号線
北九州都市高速道路１号線
北九州都市高速道路２号線
北九州都市高速道路３号線
福岡都市高速道路２号線
福岡都市高速道路３号線
山形自動車道
上信越自動車道
首都高速神奈川５号大黒線
首都高速神奈川３号狩場線
浜田自動車道
米子自動車道
秋田自動車道
磐越自動車道
北九州都市高速道路４号線
阪神高速 11 号池田線
阪神高速 16 号大阪港線
阪神高速５号湾岸線
東京外環自動車道
首都高速 11 号台場線
関西空港自動車道
徳島自動車道
名古屋高速５号万場線
名古屋高速都心環状線
館山自動車道
阪神高速２号淀川左岸線
道東自動車道
岡山自動車道
首都高速５号大宮線
東名高速道路左ルート
名神高速自動車道上り左ルート
名神高速自動車道下り左ルート
福岡都市高速道路４号線
北関東自動車道
東九州自動車道
広島高速１号線
広島高速３号線
広島高速４号線
東名高速道路上り右ルート
山陰自動車道
名古屋高速 11 号小牧線
北九州都市高速道路５号線
日本海東北自動車道
中部横断自動車道
首都高速神奈川６号川崎線
東北中央自動車道
釜石自動車道
舞鶴若狭自動車道
伊勢湾岸自動車道（四日市～豊明）
中央自動車道下り右ルート
播磨自動車道
松江自動車道
福岡都市高速道路５号線
伊勢湾岸自動車道（豊田～豊田東）
阪神高速 31 号神戸山手線
青森自動車道
仙台南部有料道路
山陰道

日光宇都宮道路
京葉道路
千葉東金道路
第三京浜道路
横浜新道
西湘バイパス
小田原厚木道路
横浜横須賀道路
東富士五湖道路
西富士道路
知多半島道路
南知多道路
海南湯浅道路
新神戸トンネル有料道路
六甲北有料道路
播但連絡有料道路
第二神明道路
広島呉道路
若戸大橋
長崎バイパス
川平有料道路
大野川大橋
指宿有料道路
京都縦貫自動車道（沓掛～丹波）
京滋バイパス
境泉北有料道路
海田大橋
大分空港道路
隼人道路
本町山中有料道路
宇佐別府道路
福岡前原道路
三陸自動車道
瀬戸中央自動車道
西瀬戸自動車道
西九州自動車道
広島岩国道路
湯浅御坊道路
関西国際空港連絡橋
仙台東部有料道路
第二みちのく有料道路
湯沢横手道路
稲城大橋有料道路
百石道路
能越自動車道
首都圏中央連絡自動車道
東水戸有料道路
第二阪奈有料道路
東京湾アクアライン
東京湾アクアライン連絡道
大阪港咲洲トンネル
米沢南陽道路
秋田外環状道路
神戸淡路鳴門自動車道
第二神明北線
伊勢湾岸自動車道
深川留萌自動車道
日高自動車道
鹿児島道路
高松東道路
八代日奈久道路
京都縦貫自動車道（綾部～宮津天橋立）
西海パールライン
富津館山道路
今治小松自動車道
油坂峠道路
尾道大橋有料道路
常陸那珂有料道路
三浦縦貫道路
那覇空港自動車道
福島空港・あぶくま南道路
日出バイパス
仙台北部道路
琴丘能代道路
第二京阪道路
京都縦貫自動車道（綾部安国寺～綾部）
帯広・広尾自動車道

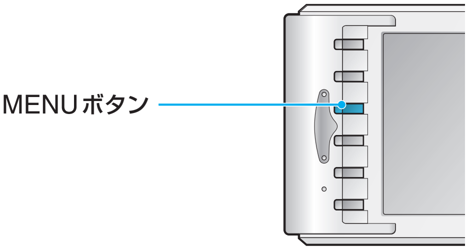


テレビを見る

準備：テレビ局を自動で登録する

88 77

受信できる放送を、自動的に本機のチャンネルに設定します。初期設定では、VHF放送の1～12チャンネルが設定されています。
地域ごとに受信できる放送が変わるので、遠出するときは旅先で設定し直してください。
NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。



1 アプリケーション選択画面で、「テレビを見る」をタッチする。



2 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



3 「テレビ設定」をタッチして、「オートプリセット」をタッチする。



受信できる放送を、チャンネル1から最大12までチャンネルに順次登録します。

テレビを見る

88 77

拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77のみに付属）を接続すると、テレビを見ることができます。
安全のため、サイドブレーキを引いた状態でないと映像は表示されません。
NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。
NVA-TS2の場合は別売りのテレビアンテナが必要です。

1 アプリケーション選択画面で、「テレビを見る」をタッチする。



2 「LIST」をタッチして、リストを表示する。



3 チャンネルをタッチする。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

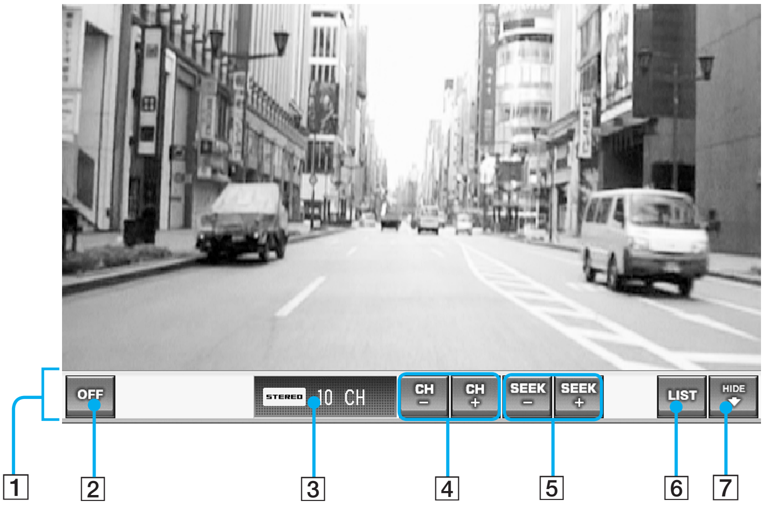
デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

ご注意

- パーキングブレーキスイッチコードを正しく接続していないと、本機は常時走行中と認識してしまい、安全のためテレビ、ビデオなどの動画表示や各種設定など詳細な設定が行えません。別冊「取り付けと接続」をご覧の上、正しく接続を行ってください。
- 本機から聞こえるのは、ナビの音声と操作音のみです。音楽やテレビなどの音声はカーステレオで聞きます。詳しくは20ページをご覧ください。

次のページにつづく →

テレビ画面各部のはたらき



1 **ツールバー**

2 OFF

テレビ画面を閉じて、アプリケーション選択画面を表示します。

3 **情報表示エリア**

表示されている映像に関する以下の情報を表示します。

- 放送チャンネル
- ステレオ放送
- 二重音声

4  / 

放送チャンネルを切り替えます。
リモコンを使うときは、センタージョグを上/下に回すか、カーソル/決定ボタンを上/下に動かします。

5  / 

受信中のチャンネルに近い受信可能なチャンネルに切り替えます。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）を使うときは、カーソル/決定ボタンを左/右に動かします。

6 LIST

プリセットされたチャンネルリストを表示します。
表示されたリストから、お好みのチャンネルを選べます。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）を使うときは、センタージョグを押し込んでチャンネルリストを表示します。

7 HIDE

ツールバーを非表示にします。
再表示するには、画面下側をタッチします。

ちょっと一言

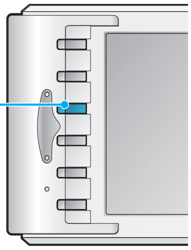
再生中にリモコン（NV-XYZ33では別売り）のサイドジョグを押すと、サイドメニュー* を表示します。

* プリセットされたチャンネルリストを表示します。

テレビを見るときの便利な機能

88 77

画面に表示されるメニューで、お好みの設定にしたり、「音声」で主音声/副音声を選んだり、「画面サイズ」で映像を画面サイズいっぱいに表示したりできます。



1 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



2 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

MENUボタンを押すときの画面によって、メニュー項目は異なります。調整/表示できない項目はグレー表示されます。各項目については以下のページをご覧ください。

「ツールバーを隠す/表示」:94ページ
「テレビ設定」:94ページ
「システム設定」:30～32ページ

次のページにつづく

「ツールバーを隠す/表示」*

ツールバーを隠します。
再表示するには、画面下側をタッチします。

* ツールバー非表示中は「ツールバーを表示」を表示します。

「テレビ設定」

二か国語放送などの二重音声放送を受信時に、「主音声」/「副音声」を選んだり、テレビ放送に合わせて、画面サイズを3とおりに切り替えられます。下線はお買い上げ時の設定です。

項目	設定	
音声画面設定	**「画面サイズ」**	**「ノーマル」**：通常のテレビと同じ比率で表示します（横縦比4:3）。 **「フル」**：画面サイズいっぱいに左右を拡大して表示します。 **「ズーム」**：画面サイズいっぱいに上下左右を拡大して表示します（上下のはみ出た部分はカットされます）。
	「音声」	**「主」**：音声多重放送時の主音声を出力します。 **「副」**：音声多重放送時の副音声を出力します。 **「モノラル」**：ステレオ放送のときは強制的にモノラルで受信し、二か国語放送のときは主音声で出力します。
	「画質調整」	テレビの色の濃さ、色合いなどを調整できます。 **「色の濃さ」**：色の濃さを調整します。数値が大きくなるほど、色が濃くなります。 **「色合い」**：色のバランスを調整します。 **「標準」**：色の濃さ/色合いを標準に合わせます。
オートプリセット	受信できる放送を、自動的に本機のチャンネルに設定します。 初期設定では、VHF放送の1～12チャンネルが設定されています。 地域ごとに受信できる放送が変わるので、遠出するときは旅先で設定し直して、その地域で見ることができる放送を受信してください。	

ご注意

「フル」、「ズーム」を選ぶと、「ノーマル」の映像とは見えかたに差が出ます。
この点にご留意のうえ、画面サイズを選んでください。

「システム設定」

本機全体に関わる設定を変えます。
システム設定について詳しくは、30～32ページをご覧ください。

ちょっと一言

MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。



外部機器/バックカメラを使う

準備：外部機器を拡張ステーションに接続する

88 77

拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77のみに付属）を接続すると、バックカメラやポータブルDVDプレイヤー、ビデオカメラ、ゲームなどの外部機器を接続できます。
バックカメラは本機のカメラ端子へ、それ以外の外部機器は本機の入力（音声右/左、映像）端子へ、あらかじめ接続しておいてください。接続方法について詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。なお、バックカメラとそれ以外の外部機器では操作が異なります。以下のページをご覧ください。

- バックカメラ以外の外部機器：「外部機器（AUX）を使う」（このページ）
- バックカメラ：「バックカメラを使う」（98ページ）

ご注意

- パーキングブレーキスイッチコードを正しく接続していないと、本機は常時走行中と認識してしまい、安全のためテレビ、ビデオなどの動画表示や各種設定など詳細な設定が行えません。別冊「取り付けと接続」をご覧の上、正しく接続を行ってください。
- 本機から聞こえるのは、ナビの音声と操作音のみです。音楽やテレビなどの音声はカーステレオで聞きます。詳しくは20ページをご覧ください。

外部機器（AUX）を使う

88 77

拡張ステーションに接続した DVDポータブルプレイヤー、ビデオカメラ、ゲームなどの外部機器の映像を画面に映して見たり、音声を車のスピーカーから聞いたりできます。
NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

アプリケーション選択画面で、「AUX入力」をタッチする。
接続している機器の映像が表示されます。



AUX画面各部のはたらき

1


2

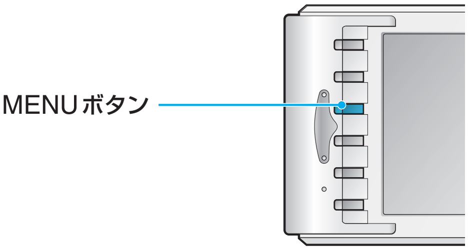
1 **タイトルバー**
一定時間表示後、自動的に非表示に切り替わります。

2 **モニターエリア**
接続している機器の映像を表示します。

バックカメラを使う

88 77

バックカメラ（別売り）を使うと後部の様子を画面に表示できるので、車庫入れや縦列駐車をするときに便利です。以下の設定を行うと、バックギアに切り替えると、画面が自動的にバックカメラの映像に切り替わります。
NV-XYZ55/XYZ33は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。



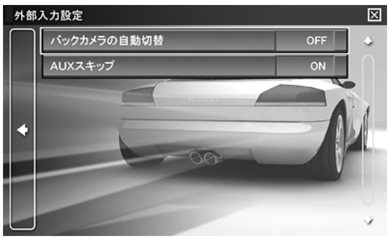
バックカメラの初期設定をする

1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。

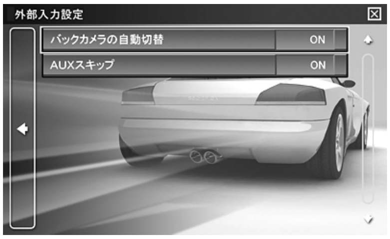
2 「基本設定」をタッチする。



3 「外部入力設定」をタッチする。



4 「バックカメラの自動切替」をタッチして、「ON」を選ぶ。



「ON」：バックギアに入れると自動的にバックカメラ画面に切り替わります。
「OFF」：手動で切り替えます。

バックカメラの映像を表示する

1 バックカメラの初期設定がされているか確認する（このページ）。

2 アプリケーション選択画面で、「バックカメラ」をタッチする。



ご注意

バックカメラの「自動切替」を使うためには、拡張ステーションとバックセンサーとの接続が必要です。詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。

バックカメラ画面各部のはたらき

1


2

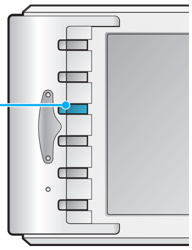
1 **タイトルバー**
一定時間表示後、自動的に非表示に切り替わります。

2 **モニターエリア**
バックカメラの映像を表示します。

外部機器を使うときの便利な機能

88 77

画面に表示されるメニューで、お好みの設定にしたり、「画面サイズ」で映像を画面サイズいっぱいに表示したりできます。



1 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



2 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

MENUボタンを押すときの画面によって、メニュー項目は異なります。調整/表示できない項目はグレー表示されます。各項目については以下のページをご覧ください。

「音声画面設定」: 101ページ
「システム設定」: 30 ～ 32ページ

ご注意

バックカメラのときは、MENUボタンを押してもメニューは表示されません。

「音声画面設定」

ポータブルDVDプレイヤーやビデオカメラなどを接続時、画面サイズを3とおりに切り替えたり、画質を調整したりできます。

項目	設定
「画面サイズ」	**「ノーマル」**:通常のテレビと同じ比率で表示します(横縦比4:3)。 **「フル」**:画面サイズいっぱいに左右を拡大して表示します。 **「ズーム」**:画面サイズいっぱいに上下左右に拡大して表示します(上下のはみでた部分はカットされます)。
「画質調整」	画面の色の濃さ、色合いなどを調整できます。 **「色の濃さ」**:色の濃さを調整します。数値が大きくなるほど、色が濃くなります。 **「色合い」**:色のバランスを調整します。 **「標準」**:色の濃さ/色合いを標準に合わせます。
「入力レベル設定」	外部機器とXYZ本体の音声入力のバランスを調整します。 出力設定については、「ステップ3:お手持ちのカーステレオで音声を聞く(初回のみ)」(20ページ)をご覧ください。

ご注意

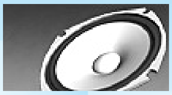
「フル」、「ズーム」を選ぶと、「ノーマル」の映像とは見えかたに差が出ます。
この点にご留意のうえ、画面サイズを選んでください。

「システム設定」

本機全体に関わる設定を変えます。システム設定について詳しくは、30～32ページをご覧ください。

ちょっと一言

MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。



音楽を聞く

ステップ1：パソコンからXYZ本体に音楽ファイルを転送する

88 77 33

聞きたい音楽ファイル（曲）を、あらかじめホームステーションを使って、パソコンからXYZ本体に転送するだけで、車内で音楽を楽しめます。転送のしかたについて詳しくは、ホームステーション付属の「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。
NV-XYZ55は別売りのホームステーションNVA-HS1が必要です。

ご注意

- XYZ本体へ転送できる音楽ファイルは、転送に使うソフトウェアによって異なります。
  - XYZデスクトップを使って転送するとき：
    MP3形式（拡張子mp3）の音楽ファイルが転送できます。
  - SonicStageを使って転送するとき：
    WMA形式、WAV形式、MP3形式の音楽ファイルが転送できます。いずれもATRAC3/ATRAC3plus形式にフォーマット変換してから転送する必要があります。詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください。
- XYZ本体で再生できる“メモリースティック”、“CFカード”内の音楽ファイルはMP3形式（拡張子 mp3）のみです。
- 本機から聞こえるのは、ナビの音声と操作音のみです。音楽やテレビなどの音声はカーステレオで聞きます。詳しくは20ページをご覧ください。

ステップ2：転送した音楽を聞く

88 77 33

あらかじめ転送しておいた曲の中から、聞きたい曲をアルバムやアーティスト、ジャンルなどから選んで聞けます。

1 **アプリケーション選択画面で、「音楽を聞く」をタッチする。**



前回再生を停止した位置から再生されます。

2 **「LIST」をタッチして、リストを表示する。**



3 **曲の選択方法をタッチする。**

それぞれの選択方法について詳しくは、以下のページをご覧ください。

「アルバム検索」から選んで聞く：このページ

「マイアルバム」から選んで聞く：106ページ

「ジャンル」から選んで聞く：106ページ

「アーティスト」から選んで聞く：107ページ

「曲名」から選んで聞く：107ページ



スクロールバー

聞きたい曲名/ジャンル名/アーティスト名/アルバム名が表示されていないときは、スクロールバーを上/下になぞり、リストをスクロール（移動）させます。

4 **曲名をタッチする。**

選んだ曲が再生されます。

再生が終わると、自動的に次の曲が再生されます。

ご注意

ジャンル/アーティスト/アルバム名は、SonicStageで音楽を取り込む際、自動的に取得されますが、取得されずに、"Unknown"と表示される場合、それがXYZ本体にも反映されます。

「アルバム検索」から選んで聞く

あらかじめ転送しておいた曲を、アルバム名で一覧表示します。

1 **104、105ページの手順1〜3に従って、「アルバム検索」を選ぶ。**



2 **アルバム名をタッチする。**



3 **曲名をタッチする。**

次のページにつづく→

ステップ2：転送した音楽を聞く（つづき） 88 77 33

「マイアルバム」から選んで聞く

あらかじめ、SonicStageでお好みに合わせて作成した曲リスト（マイセレクトアルバム）や転送したアルバムから選んで聞けます。
例えば、「クリスマスソング」、「サマーソング」といったマイセレクトアルバムを作成し、その中にお好みの曲をまとめておけば、それらの曲を続けて再生することができます。

1 104、105ページの手順1～3に従って、「マイアルバム」を選ぶ。



2 アルバム名をタッチする。



3 曲名をタッチする。

ちょっと一言
「マイアルバム」を選ぶと以下のフォルダ、ファイルが表示されます。
- SonicStageを使って転送したアルバム
- XYZデスクトップやファイルブラウザを使って転送したMP3ファイルを含むフォルダ
- XYZデスクトップやファイルブラウザを使って転送したMP3ファイル

「ジャンル」から選んで聞く

R&Bやジャパニーズポップスなど、お好みのジャンルを選ぶだけで、本機が自動的にお好みのジャンルの曲を見つけてくれます。

1 104、105ページの手順1～3に従って、「検索」を選ぶ。



2 「ジャンル」をタッチする。



3 ジャンル名、アーティスト名、アルバム名の順でタッチする。



4 曲名をタッチする。

「アーティスト」から選んで聞く

1 104、105ページの手順１～３に従って、「検索」を選ぶ。



2 「アーティスト」をタッチする。



3 アーティスト名、アルバム名の順でタッチする。



4 曲名をタッチする。

「曲名」から選んで聞く

1 104、105ページの手順１～３に従って、「検索」を選ぶ。



2 「曲名」をタッチする。



3 「すべての曲（昇順）」または「すべての曲（降順）」をタッチする。



4 曲名をタッチする。

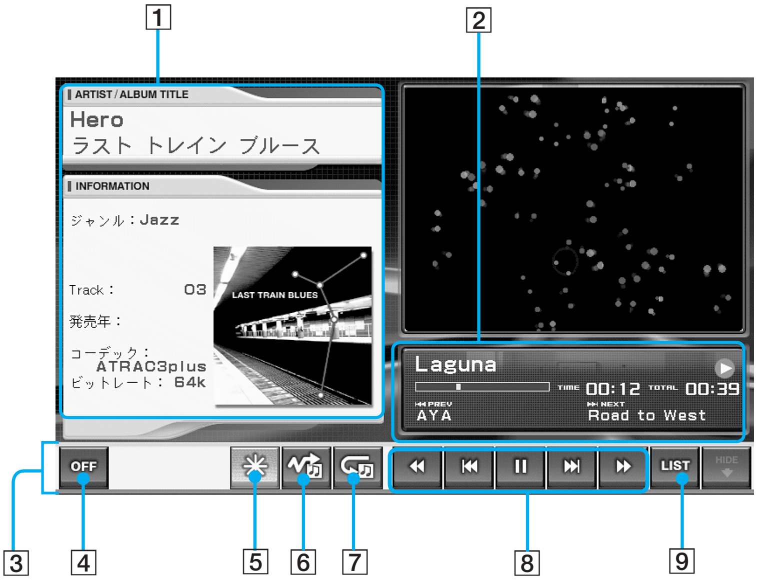
ちょっと一言

- 「未再生曲」をタッチすると、一度も聞いていない曲を選べます。
- 「ランキング」をタッチすると普段よく聞いている曲やアルバムを選べます。表示される項目は、「トップ25」「トップ50」「トップ100」「アルバムトップ10」です。

次のページにつづく →

ステップ2：転送した音楽を聞く（つづき）88 77 33

音楽画面各部のはたらき



1 **再生中の曲情報**
再生中の曲に関する以下の情報を表示します。
- アルバム/アーティスト/ジャンル名
- ジャケット
- トラック番号
- 発売年
- コーデック（MP3/ATRAC3/ATRAC3plus）
- ビットレート（1秒間に送受信できるデータ量）

2 **情報表示エリア**
再生中の曲の情報（曲名、経過時間、合計時間、曲の進行度）、およびその前後の曲名を表示します。

3 **ツールバー**

4 **OFF**
音楽画面を閉じてアプリケーション選択画面を表示します。

5 **（ビジュアライザ）**
タッチするごとに、映像が切り替わります。
ビジュアライザについて詳しくは、110ページをご覧ください。

6 **（シャッフル）**
曲またはアルバムを順不同に再生します。

7 **（リピート）**
タッチすると再生中の曲を、もう一度タッチすると再生中の曲が入ったマイアルバム/アルバムを、繰り返し再生します。

8 **▶（再生）/ ⏸（一時停止）**
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときは、カーソル/決定ボタンを押し込むと、再生/一時停止します。

（早戻し）/（早送り）
再生中の曲を早戻し/早送りします。
再生中にタッチしたままにすると、早戻し/早送りを続け、離すと早戻し/早送りをやめ、再生します。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときは、カーソル/決定ボタンを左/右に動かします。

（AMS −）/（AMS ＋）
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときは、カーソル/決定ボタンまたはセンタージョグ、サイドジョグを上/下に回します。
⏮：再生中の曲を頭出し再生します。
再生時間が3秒未満の場合、前の曲を頭出し再生します。
⏭：再生中は、次の曲を頭出し再生します。

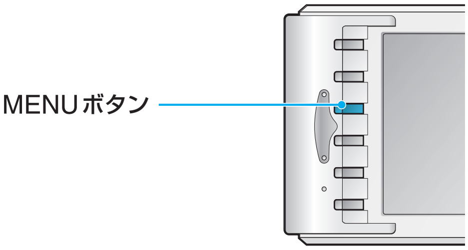
9 **LIST**
リストを表示します。
リストが表示されているときにタッチすると、再生画面を表示します。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときはセンタージョグを押し込みます。

ちょっと一言
再生中にリモコン（NV-XYZ33では別売り）のサイドジョグを押すと、サイドメニュー * を表示します。
* 再生中の曲が入った1つ上の階層のリスト画面を表示します。

音楽を聞くときの便利な機能

88 77 33

画面に表示されるメニューで、お好みの設定にしたり、アルバム名/アーティスト名などの情報を見たり、ビジュアライザを使って、再生している曲に合わせたさまざまなパターンの映像を見たりできます。



1 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



2 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

MENUボタンを押すときの画面によって、メニュー項目は異なります。調整/表示できない項目はグレー表示されます。

各項目については以下のページをご覧ください。

「再生」:110ページ
「再生モード」:110ページ
「次のアルバム」:110ページ
「前のアルバム」:110ページ
「ビジュアライザ」:110ページ
「情報を見る」:110ページ
「システム設定」:30～32ページ

次のページにつづく

「再生」

選んだ曲を再生します。

「再生モード」―リピート/シャッフルモードにする

再生中の曲やアルバム内の曲を、繰り返し聞いたり（リピート）、曲順を変えて聞いたり（シャッフル）できます。

項目	設定
「再生モードオフ」	再生モードの設定を解除します。
「1曲リピート」	再生中の曲を繰り返し再生します。
「アルバムリピート」	再生中の曲が入ったアルバムを繰り返し再生します。
「トラックシャッフル」	再生中のアルバム内の曲を順不同に再生します。
「アルバムシャッフル」	再生中のフォルダ内のアルバムを順不同に再生します。
「シャッフル&リピート」	再生中のアルバム内の曲を順不同で繰り返し再生します。

「次のアルバム」

再生しているアルバムの次のアルバムを再生します。

「前のアルバム」

再生しているアルバムの前のアルバムを再生します。

「ビジュアライザ」

ビジュアライザ表示エリアでは、さまざまなパターンの映像（ビジュアライザ）を表示できます。Spectrum Analyzer、花火、ポストペット、Spinners、連凧の順に切り替わります。

「情報を見る」―プロパティ

選んだ曲のアーティスト名/ジャンル名など詳細情報を見ることができます。

「システム設定」

本機全体に関わる設定を変えます。システム設定について詳しくは、30 ～ 32ページをご覧ください。

ちょっと一言

MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。

“メモリースティック”や“CFカード”のMP3ファイルを聞く

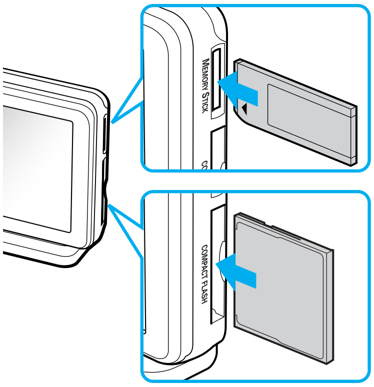
全機種

メモリースティック”や“CFカード”に保存してある音楽（MP3ファイル）を本機で聞けます。

「外部メディア」から選んで聞く

1 **“メモリースティック”または“CFカード”をXYZ本体のスロットに挿入する。**

“メモリースティック”は「カチッ」と音がするまで差し込み、“CFカード”は奥まで差し込んでください。



2 **アプリケーション選択画面で、「音楽を聞く」をタッチする。**



前回再生を停止した位置から再生されます。

3 **「LIST」をタッチして、リストを表示する。**



4 **「外部メディア」をタッチする。**



5 **「メモリースティック」または「CFカード」をタッチする。**



6 **曲名をタッチする。**

曲がフォルダに入っているときは、フォルダをタッチして、フォルダの中身を表示させてから、曲名をタッチします。

“メモリースティック”または“CFカード”を取り出すには

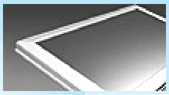
“メモリースティック”を軽く1回押し、指を離してから抜いてください。

“CFカード”は「CFカードを取りはずす」（31ページ）を「実行」してから抜いてください。

「実行」する前に抜くと、XYZ本体が再起動する場合があります。

ご注意

- XYZ本体で聞ける音楽ファイルについて詳しくは、104ページをご覧ください。
- “メモリースティック”や“CFカード”はすばやく抜き差ししないで、正しい向きでゆっくり差し込んでください。



ビデオを見る

ステップ1：パソコンからXYZ本体にビデオファイルを転送する 88 77 33

見たいビデオファイルをあらかじめホームステーションを使って、パソコンからXYZ本体に転送するだけで、車内でビデオを楽しめます。
転送のしかたについて詳しくは、ホームステーション付属の「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。
NV-XYZ55は別売りのホームステーションNVA-HS1が必要です。

ご注意

XYZ本体は、以下の形式のビデオファイルを見ることができます。

- MPEG1形式
- MPEG2形式
- MPEG4形式（拡張子mp4）*
- AVI形式
- Windows Mediaビデオファイル形式
- ビデオカプセル（VAIOパソコンの「Giga Pocket」で作成したファイル）
- 「Do VAIO」で録画し、「Do VAIO」管理されている録画ビデオファイル

* 本機では、映像がMPEG4 Simple Profile Video、音声がMPEG4 Audio AAC LCのMPEG4形式に対応しています。

ステップ2：転送したビデオを見る 88 77 33

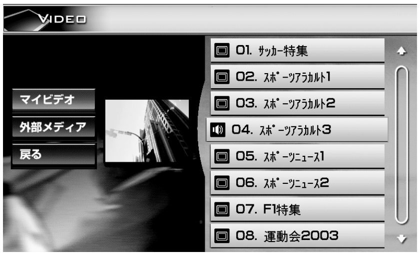
あらかじめ転送したビデオをタイトル一覧から選んで見ることができます。

1 アプリケーション選択画面で、「ビデオを見る」をタッチする。

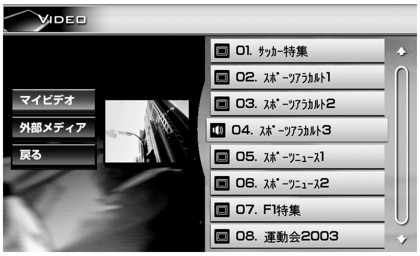


前回再生を停止した位置から再生されます。

2 「LIST」をタッチして、リストを表示する。



3 「マイビデオ」をタッチする。



見たいビデオのタイトル名が表示されていないときは、スクロールバーを上/下になぞり、リストをスクロール（移動）させます。

4 タイトルをタッチする。



「しおり」から選んでビデオを見る

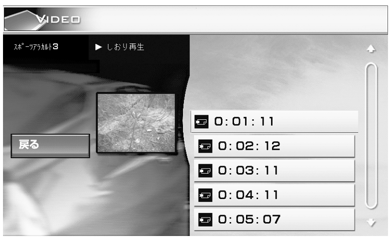
あらかじめ「しおり」を設定しておくと（117ページ）、リスト画面にしおりが表示されます。しおりに設定した1シーンを見て、選択したしおりの位置から再生を開始することができます。

1 114ページの手順1～3に従って、リストを表示する。



2 MENUボタンを押して、メニューを表示する

3 「しおり再生」をタッチして、しおりのリストを表示する。



4 見たいしおりをタッチする。

しおりの位置から再生が始まります。

しおりを削除するには

手順2でMENUボタンを押し、「しおり削除」を選びます。

ご注意

- パーキングブレーキスイッチコードを正しく接続していないと、本機は常時走行中と認識してしまい、安全のためテレビ、ビデオなどの動画表示や各種設定など詳細な設定が行えません。別冊「取り付けと接続」をご覧の上、正しく接続を行ってください。
- 本機から聞こえるのは、ナビの音声と操作音のみです。音楽やテレビなどの音声はカーステレオで聞きます。詳しくは20ページをご覧ください。

シーンを選んで見る

1 アプリケーション選択画面で、「ビデオを見る」をタッチする。

前回再生を停止した位置から再生されます。

2 画面をタッチする。または、II をタッチする。

再生を一時停止、スライドバーが表示されます。



3 バーをタッチまたはドラッグして見たいシーンまで進める。

4 画面をタッチする。または、▶ をタッチする。

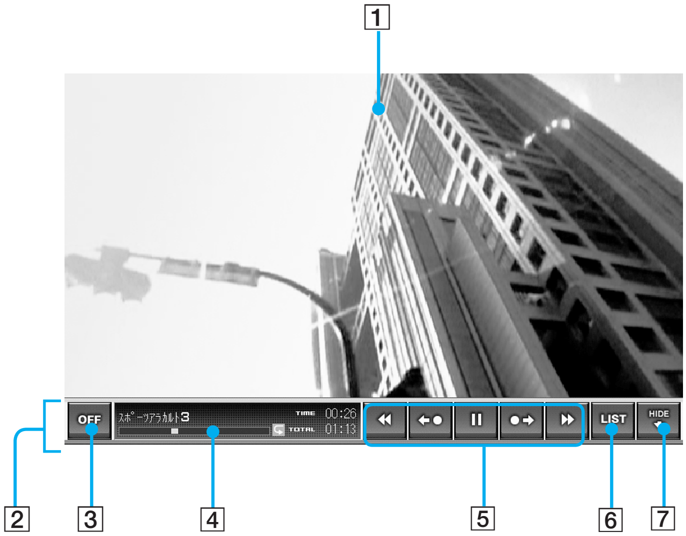
選択したシーンから再生を開始します。

ちょっと一言

スライドバーは「HIDE」をタッチして非表示にできます。
ツールバーの表示/非表示も同時に変わります。

次のページにつづく

ビデオ画面各部のはたらき



1 **モニターエリア**
ビデオの映像を表示します。

2 **ツールバー**

3 OFF
ビデオ画面を閉じて、アプリケーション選択画面を表示します。

4 **情報表示エリア**
再生中のビデオの情報（タイトル名、経過時間、合計時間、再生の進行度、リピート設定、音声多重/ステレオ）を表示します。

5 **▶（再生）/ II（一時停止）**
再生中は II を、一時停止中は ▶ を表示します。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときは、カーソル/決定ボタンを押し込みます。

◀◀（早戻し）/ ▶▶（早送り）
再生中のビデオを早戻し/早送りします。
タッチするごとに、10、30、120倍速の順に早戻し/早送りします。通常再生に戻す場合は ▶（再生）/ II（一時停止）をタッチします。
一時停止中は、II▶ を表示し、コマ送りします。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときは、再生中にカーソル/決定ボタンを左/右に動かすと早戻し/早送りします。
一時停止中にカーソル/決定ボタンを右に動かすとコマ送りします。

←●（フラッシュ－）/ ●→（フラッシュ＋）
13秒前/後から再生できます。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときは、カーソル/決定ボタンを上/下に動かします。

6 LIST
リストを表示します。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときは、センタージョグまたはサイドジョグを押し込みます。

7 **HIDE**
ツールバーを非表示にします。
スライドバー（シーンサーチ用）表示中は、スライドバーも非表示にします。
再表示するには、画面下部をタッチします。

ちょっと一言
- コマ戻し機能はありません。
- コマ送りはXYZビデオマネージャーを使って転送したビデオファイルでのみできます。
- リモコン（NV-XYZ33では別売り）の<ボタンを押すと、スロー再生、>ボタンを押すと早見再生します。
- リモコン（NV-XYZ33では別売り）のサイドジョグを回すと、ビデオを頭出しします。
- 再生中にリモコン（NV-XYZ33では別売り）のサイドジョグを押すと、サイドメニュー＊を表示します。

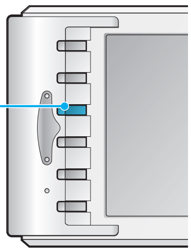
＊ リストを表示します。

ビデオを見るときの便利な機能

88 77 33

画面に表示されるメニューで、お好みの設定にしたり、より細かい情報を得たりできます。

MENUボタン



1 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



2 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

MENUボタンを押すときの画面によって、メニュー項目は異なります。調整/表示できない項目は表示されません。各項目については以下のページをご覧ください。

「ツールバーを隠す/表示」: 118ページ
「しおり追加」: 118ページ
「早見再生」: 118ページ
「通常再生」: 118ページ
「スロー再生」: 118ページ
「リピートON/OFF」: 118ページ
「続きから再生」: 118ページ
「先頭から再生」: 119ページ
「しおり再生」: 119ページ
「しおり削除」: 119ページ
「設定」: 119ページ

次のページにつづく

「ツールバーを隠す/表示」*

ツールバーを非表示にします。
再表示するには、画面下部をタッチします。

* ツールバー非表示中は「ツールバーを表示」を表示します。
ツールバーの表示中に「ツールバーを隠す」をタッチすると、
ツールバーと同時にスライドバー（シーンサーチ用）も非表示になります。

「しおり追加」

現在のシーンを「しおり」として設定します。しおりを設定しておくと、
「しおり再生」で見たいシーンを選んで再生できます。

ちょっと一言
「しおり追加」はXYZビデオマネージャーを使って転送した
ビデオファイルでのみできます。
しおりの設定ができるのは、一時停止の状態のときだけです。

「早見再生」

内容を把握しながら1.5倍速ですばやく再生
できます。

ちょっと一言
「早見再生」はXYZビデオマネージャーを使って転送した
ビデオファイルでのみできます。

「通常再生」

スロー再生もしくは早見再生を通常再生に戻します。

「スロー再生」

1/2に速度を変更して再生できます。

ちょっと一言
「スロー再生」はXYZビデオマネージャーを使って転送した
ビデオファイルでのみできます。

「リピートON/OFF」*

「リピートON」を選ぶと繰り返し再生し、「リピートOFF」を選ぶと繰り返し再生する設定を解除します。

* 通常再生中は「リピートON」を表示し、リピート再生中は「リピートOFF」を表示します。

「続きから再生」

続きから再生します。

ちょっと一言
「続きから再生」はXYZビデオマネージャーを使って転送した
ビデオファイルでのみできます。

「先頭から再生」

始めに戻って再生します。

「しおり再生」

選択したしおりの位置から再生を開始します。

「しおり削除」

しおりを削除します。

「設定」—設定を変える

下線はお買い上げ時の設定です。

項目	設定	
「情報を見る」		選んだビデオの詳細情報（タイトル、作成日時録画時間、録画チャンネルなど）を見ることができます。
「ビデオ設定」	「シーンサーチON/OFF」*	再生画面にスライドバーが表示され、バーをタッチ（またはドラッグ）して見たいシーンに進めます。「シーンサーチON」を選ぶと、一時停止時にスライドバーが表示され、「シーンサーチOFF」を選ぶと、一時停止してもスライドバーは表示されません。
	「音声画面設定」	**「画面サイズ」** **「ノーマル」**：通常のテレビと同じ比率で表示します（横縦比4:3）。 **「フル」**：画面サイズいっぱいに左右を拡大して表示します。 **「ズーム」**：画面サイズいっぱいに上下左右を拡大して表示します（上下のはみ出た部分はカットされます）。
		「音声」 **「主」**：音声多重放送時の主音声を出力します。 **「副」**：音声多重放送時の副音声を出力します。 **「ステレオ」**：ステレオ放送のとき、自動的に音声がステレオになります。
		「画質調整」 画面の色の濃さを調整できます。 **「色の濃さ」**：色の濃さを調整します。数値が大きくなるほど、色が濃くなります。
		「標準」 「画質調整」の「色の濃さ」を標準に合わせます。
	「連続再生設定ON/OFF」**	「連続再生設定ON」を選ぶと、登録されている順にビデオを繰り返し再生し、「連続再生設定OFF」を選ぶと、繰り返し再生する設定を解除します。
「システム設定」	本機全体に関わる設定を変えます。詳しくは30～32ページをご覧ください。	

* シーンサーチ設定がONのときは「シーンサーチ設定OFF」を表示し、シーンサーチ設定がOFFのときは「シーンサーチ設定ON」を表示します。

** 連続再生中は「連続再生設定OFF」を表示し、連続再生設定がOFFのとき、「連続再生設定ON」を表示します。

ちょっと一言

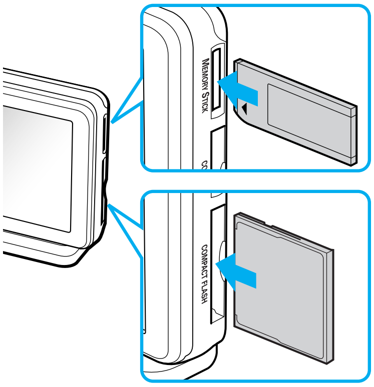
MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。

“メモリースティック” や “CFカード” のビデオを見る 全機種

“メモリースティック” や “CFカード” に保存しておいたビデオを本機で見ることができます。旅先で撮影したビデオをすぐに見たいときに便利です。

1 **“メモリースティック” または “CFカード” をXYZ本体のスロットに挿入する。**

“メモリースティック” は「カチッ」と音がするまで差し込み、“CFカード” は奥まで差し込んでください。

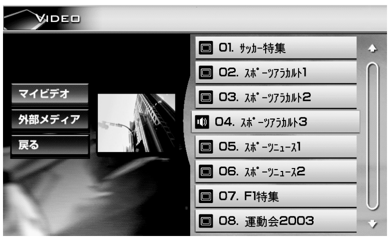


2 **アプリケーション選択画面で、「ビデオを見る」をタッチする。**



前回再生を停止した位置から再生されます。

3 **「LIST」をタッチして、リストを表示する。**



4 **「外部メディア」をタッチする。**



5 **「メモリースティック」または「CFカード」をタッチする。**



6 **タイトルをタッチする。**



“メモリースティック” または “CFカード” を取り出すには

“メモリースティック” を軽く1回押し、指を離してから抜いてください。

“CFカード” は「CFカードを取りはずす」（32ページ）を「実行」してから抜いてください。「実行」する前に抜くと、XYZ本体が再起動する場合があります。

ご注意

- XYZ本体で見ることができるビデオファイルについて詳しくは、114ページをご覧ください。
- “メモリースティック” や “CFカード” はすばやく抜き差ししないで、正しい向きでゆっくり差し込んでください。



写真を見る

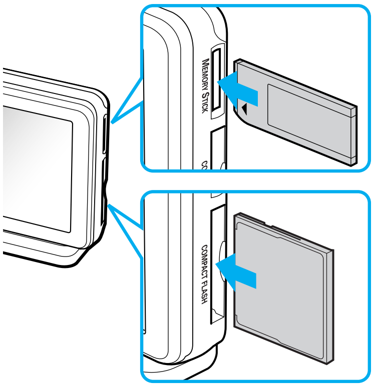
写真を見る

全機種

デジタルカメラで撮影した写真を本機で見ることができます。旅先で撮影した写真をすぐに見たいときに便利です。
また、見たい写真をあらかじめホームステーション（NV-XYZ88/XYZ77/XYZ33のみに付属）を使って、パソコンからXYZ本体に転送しておくと、旅先でもマイピクチャの写真を見ることができます。転送のしかたについて詳しくは、ホームステーション付属の「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。
NV-XYZ55は別売りのホームステーションNVA-HS1が必要です。

1 **“メモリースティック”または“CFカード”をXYZ本体のスロットに挿入する。**

“メモリースティック”は「カチッ」と音がするまで差し込み、“CFカード”は奥まで差し込んでください。
XYZ本体に取り込んである静止画を見るときは、この手順は不要です。



2 **アプリケーション選択画面で、「フォトビューワー」をタッチする。**



3 **（メディア選択）をタッチする。**



4 **「ハードディスク」、「メモリースティック」、「コンパクトフラッシュ」のいずれかをタッチする。**

写真が、サムネイル表示（縮小画像で一覧表示）されます。写真がフォルダに入っている場合は、先にフォルダが表示されます。



5 表示方法をタッチする。

サムネイル表示以外にも、以下の表示方法があります。詳しくは、各ページをご覧ください。

カレンダー表示して見る：このページ
スパイラルブラウジング表示して見る：124ページ
スライドショーを見る：124ページ



6 写真をタッチする。

写真がフォルダに入っているときは、フォルダをタッチして、フォルダの中身を表示させてから、写真のサムネイル画像をタッチします。



"メモリースティック" または "CFカード" を取り出すには

"メモリースティック" を軽く1回押し、指を離してから抜いてください。
"CFカード" は「CFカードを取りはずす」（131ページ）をタッチしてから抜いてください。この操作をしないと、XYZ本体が再起動する場合があります。

ご注意

- "メモリースティック" や "CFカード" はすばやく抜き差ししないで、正しい向きでゆっくり差し込んでください。
- XYZ本体で見ることができる写真にはJPEG形式（拡張子 JPG、JPEG、JPE）、TIFF形式（拡張子 TIF、TIFF）、Bitmap形式（拡張子 BMP）、PNG形式（拡張子 PNG）、GIF（拡張子GIF）があります。
- デジタルカメラで撮影した、1,000万画素を超えるような大きなサイズの写真などは表示できない場合があります。
- 液晶パネルの特性により、XYZ本体で表示される写真の縦横比は実際と異なります。

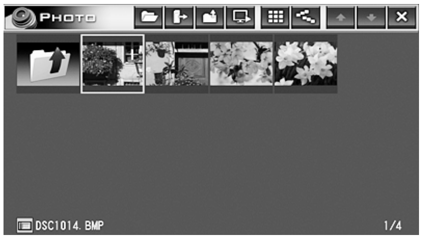
カレンダー表示して見る

写真を、カレンダーのように、月ごとに一覧表示できます。

1 122、123ページの手順1～5に従って、（カレンダー）をタッチする。



2 日付をタッチする。



3 見たい写真をタッチする。

写真が画面いっぱいに表示されます。



次のページにつづく

スパイラルブラウジング表示して見る

写真を、らせん状に一覧表示できます。写真がらせん状に回転するのを見て楽しめます。

1 **122、123ページの手順１～５に従って、（スパイラルブラウジング）をタッチする。**



2 **見たい写真をタッチする。**

右側の黄色い枠で囲まれている写真をタッチしてください。
全画面表示されます。



スライドショーを見る

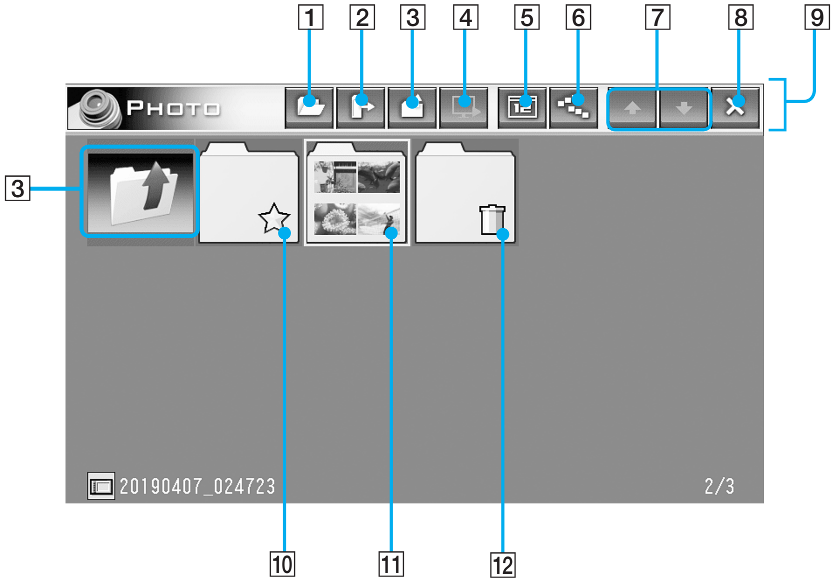
写真を１枚ずつ自動的にページ送りできます。

122、123ページの手順１～５に従って、（スライドショー）をタッチする。



写真画面各部のはたらき

サムネイル画面



1 （メディア選択）
見たい写真が入っているメディア（「ハードディスク」、「メモリースティック」、「コンパクトフラッシュ」）を選びます。

2 （メディア取り込み）
「メモリースティック」、「コンパクトフラッシュ」の内容をすべて本機にコピーします。

3 （階層移動）
サムネイル/スパイラルブラウジング画面でフォルダ展開時に、上の階層に移動します。

4 （スライドショー）
写真を1枚ずつ自動的にページ送りして表示します。

5 （サムネイル）/ （カレンダー）
サムネイルは写真を、縮小画像で一覧表示し、カレンダーは、日付ごとに一覧表示します。
サムネイル画面のときにタッチすると、カレンダー表示、カレンダー画面のときにタッチすると、サムネイル表示します。

6 （スパイラルブラウジング）
スパイラルブラウジングは写真をらせん状に一覧表示します。サムネイル画面やカレンダー画面のときにタッチすると、スパイラルブラウジング画面になり、スパイラルブラウジング画面のときにタッチすると、サムネイル画面またはカレンダー画面に戻ります。

7 （前へ）/ （次へ）
サムネイル画面では前/後の行に移動（スクロール）し、スパイラルブラウジング画面では8枚ずつバック/スキップします。
カレンダー画面では前/次月を表示します。
リモコン（NV-XYZ33では別売り）で操作するときは、ZOOM OUT/INボタンを押します。

8 （終了）
「フォトビューワー」を終了します。

9 ツールバー

10 （マイピクチャ）
バックアップフォルダ内の写真や“メモリースティック”、“CFカード”から、マイピクチャ登録をしたものを保存します。

11 バックアップフォルダ
「メディア取り込み」でバックアップしたデータです。バックアップするごとにフォルダが作成されます。また、このデータを「メディア書き出し」で再度メディアに戻すこともできます。

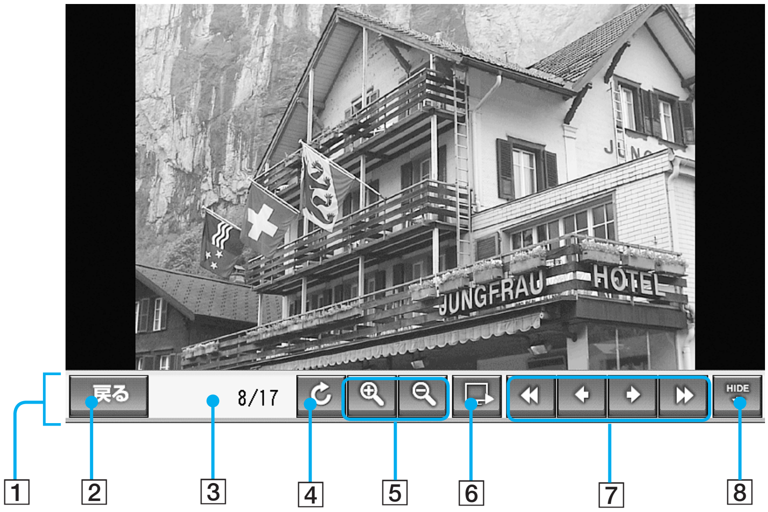
12 （ごみ箱）
不要な写真やフォルダを一時的に保存します。ごみ箱の中で削除するとハードディスクから完全に消去されます。

ちょっと一言

- リモコン（NV-XYZ33では別売り）のカーソル/決定ボタンまたはセンタージョグを押し込むと、全画面表示します。
- マイピクチャの中にフォルダを作成し、お好みの名前を付けることができます。

次のページにつづく ➡

全画面



1 **ツールバー**

2 **戻る**
前の画面に戻ります。

3 **写真番号**
同じフォルダの中に入っているすべての写真のうち、何番目の写真かを表示します。

4 **（右回転）/ （左回転）**
時計回り/反時計回りに90度回転します。

5 **（縮小）/ （拡大）**
写真を縮小/拡大します。

6 **（スライドショー）**
写真を1枚ずつ自動的にページ送りして表示します。

7 **/**
スキップ/バックして写真を表示します。
スキップ/バックする枚数は「スキップ枚数」（130ページ）で設定してください。

（前へ）/ （次へ）
前/後の写真を表示します。

8 **HIDE/OPEN**
ツールバーを非表示にします。
再表示するには、画面右下の「OPEN」をタッチします。

ちょっと一言
リモコン（NV-XYZ33では別売り）の数字ボタンを押すと、押した数字ごとに、画像をスキップします。

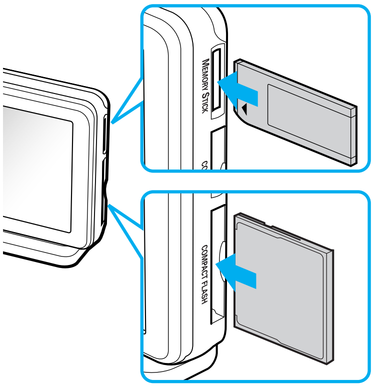
XYZ本体に写真ファイルを転送する

全機種

“メモリースティック” や “CFカード” に保存してある写真を、XYZ本体に転送（コピー）できます。デジタルカメラの “メモリースティック” や “CFカード” の容量が不足しそうなときは、写真をXYZ本体に転送して、“メモリースティック” や “CFカード” の空き容量を増やせます。

1 **“メモリースティック” または “CFカード” をXYZ本体のスロットに挿入する。**

“メモリースティック” は「カチッ」と音がするまで差し込み、“CFカード” は奥まで差し込んでください。



2 **アプリケーション選択画面で「フォトビューワー」をタッチする。**

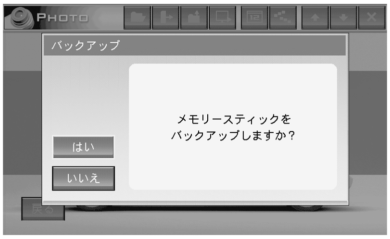


3 **（メディア取り込み）をタッチする。**



4 **「メモリースティック」または「コンパクトフラッシュ」をタッチする。**

“メモリースティック” や “CFカード” が挿入されていない場合はグレー表示されます。



5 **「メモリースティック/CFカードをバックアップしますか？」が表示されたら、「はい」をタッチする。**

“メモリースティック” や “CFカード” のファイル*がすべてXYZ本体に転送されます。

特定の写真ファイルだけを転送したいときは「“メモリースティック” や “CFカード” の特定の写真ファイルをマイピクチャとして転送するには」（128ページ）をご覧ください。

* 写真以外のファイルもすべて転送されます。

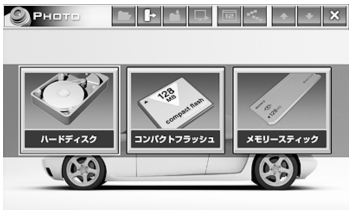
次のページにつづく

XYZ本体に写真ファイルを転送する（つづき）全機種

“メモリースティック”や“CFカード”の特定の写真ファイルをマイピクチャとして転送するには

1 127ページの手順1～2の操作を行う。

2 （メディア選択）をタッチする。



3 「メモリースティック」または「コンパクトフラッシュ」をタッチする。



4 マイピクチャに登録する写真を選び、MENUボタンを押して、メニューを表示する。



5 「マイピクチャ登録」をタッチする。



6 「この写真」または「写真を選ぶ」をタッチする。
「この写真」をタッチすると、転送先フォルダ選択画面が表示されます（手順8へ進んでください）。
「写真を選ぶ」をタッチすると、画像選択画面が表示され、選んだ写真の枠が白くなります。「選択解除」を選ぶと、すべての写真の選択が解除されます。



7 「登録」をタッチする。



8 転送先のフォルダをタッチする。
新しくフォルダを作りたいときは「新規フォルダ」をタッチします。

“メモリースティック”または“CFカード”を取り出すには

“メモリースティック”を軽く1回押し、指を離してから抜いてください。
“CFカード”は「CFカードを取りはずす」（131ページ）をタッチしてから抜いてください。この操作を行わないと、XYZ本体が再起動する場合があります。

ご注意

“メモリースティック”や“CFカード”はすばやく抜き差ししないで、正しい向きでゆっくり差し込んでください。

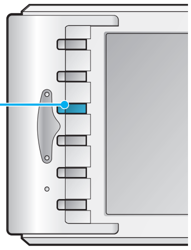
XYZ本体の写真をパソコンに転送する

XYZ本体に入っている写真をパソコンに転送して、パソコンで編集/管理できます。
転送のしかたについて詳しくは、ホームステーション付属の「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。
NV-XYZ55は別売りのホームステーションNVA-HS1が必要です。

写真を見るときの便利な機能

全機種

画面に表示されるメニューで、画面を切り替えたり、XYZ本体のハードディスクや“メモリースティック”、“CFカード”に写真をコピーしたりできます。



1 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



2 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

MENUボタンを押すときの画面によって、メニュー項目は異なります。調整/表示できない項目はグレー表示されます。

各項目については以下のページをご覧ください。

「画面切替」: 130ページ
「編集」: 130ページ
「マイピクチャ登録」: 131ページ
「情報を見る」: 131ページ
「メディア」: 131ページ
「設定」: 132ページ

次のページにつづく

「画面切替」

項目	設定
「スパイラル ON/OFF」	スパイラル画面とその他の画面を切り替えます。
「カレンダー ON/OFF」	カレンダー画面とその他の画面を切り替えます。
「スライドショー」	スライドショーを開始します。

「編集」

項目	設定	
「回転」	「右90度」	時計回りに90度回転します。
	「左90度」	反時計回りに90度回転します。
「並べ替え」	「名前」（昇順）	ファイル名を50音順に並べ替えます。
	「名前」（降順）	ファイル名を50音順の逆に並べ替えます。
	「時間」（昇順）	写真の撮影日時の古い順に並べ替えます。
	「時間」（降順）	写真の撮影日時の新しい順に並べ替えます。
「名前の変更」	「マイピクチャ」の中のフォルダ名/ファイル名を変更します。	
「削除」	**1**「この写真」または「写真を選ぶ」をタッチする。 「この写真」：選んだ写真が削除されます（手順3へ進んでください）。 「写真を選ぶ」：画像選択画面が表示され、選んだ写真の枠が白くなります。「選択解除」を選ぶと、写真の選択がすべて解除されます。 **2**「削除」をタッチする。 **3** 確認画面が表示されるので「はい」をタッチする。 削除した写真はごみ箱フォルダに移動します。 完全に削除するときは、ごみ箱フォルダ内の写真を選び、上記の操作を行います。また、ゴミ箱フォルダ内の写真を一度に全部削除するときは、「ごみ箱を空にする」をタッチします。 **ご注意** “メモリースティック”や“CFカード”の写真を削除した場合は、ごみ箱フォルダに移動されずに、すぐ削除されます。	
「元に戻す」	ごみ箱フォルダに移動した写真を元に戻せます。ごみ箱フォルダに入っている写真を削除した場合、元に戻りません。	
「ズーム」	「ズームイン」、「ズームアウト」、「原寸表示」、「標準」の中から選べます。	

「マイピクチャ登録」

気に入った写真を、マイピクチャフォルダに登録します。フォルダごとに整理して管理できるので、気に入った写真をすぐ見たいときに便利です。マイピクチャフォルダは、ハードディスクを選んだときに表示される☆がついたフォルダの中にあります。

「情報を見る」—プロパティ

選んでいる写真のファイル名や撮影日時などの情報を見ることができます。

「メディア」

項目	設定
「メディア選択」	「ハードディスク」、「メモリースティック」、「コンパクトフラッシュ」から選びます。
「メディア取り込み」	「メモリースティック」、「コンパクトフラッシュ」の内容をすべて本機にコピーします。 **1**「メモリースティック」または「コンパクトフラッシュ」をタッチする。 「メモリースティック」を選ぶと「メモリースティックをバックアップしますか？」が、「コンパクトフラッシュ」を選ぶと「CFカードをバックアップしますか？」が表示されます。 **2**「はい」をタッチする。 「バックアップしています・・・」が表示され、転送が完了すると、サムネイル画面に戻ります。 途中でやめるときは「キャンセル」をタッチしてください。
「メディア書き出し」	「メディア取り込み」で取り込んだ内容を「メモリースティック」、「コンパクトフラッシュ」に書き戻し（リストア）します。
「外部メディア保存」	選んだ写真を「メモリースティック」や「コンパクトフラッシュ」にコピーします。
「CFカードを取りはずす」	“CFカード”を取りはずすときは、必ず「CFカードを取りはずす」をタッチしてから取りはずしてください。「CFカードを取りはずす」をタッチせずに取りはずすと、データが壊れることがあります。“CF通信カード”など「CFカードを取りはずす」がグレー表示され選べないときは、この操作は不要です。

次のページにつづく

「設定」

項目	設定	
「フォト設定」	「スライドショー設定」	**「表示順序」** **「昇順」**：サムネイル表示の並び順で、先頭の写真からスライドショー表示します。 **「降順」**：サムネイル表示の並び順で、最後の写真からスライドショー表示します。 **「ランダム」**：順不同に写真をスライドショー表示します。
		「切替時間」 スライドが移り変わる間隔を1、3、5、7、10秒から選びます。
		「繰り返し」 スライドショーを繰り返し表示するかどうか設定します。
	「表示設定」	**「スキップ枚数」** ◀◀ / ▶▶ を押したときに、スキップ/バックする写真の枚数を6、12、18、24、30枚から選びます。
		「全画面表示中の画像回転方向」 **「右90度」**：時計回りに90度回転します。 **「左90度」**：反時計回りに90度回転します。
		「サムネイルの並び順」 **「名前（昇順）」**：50音順に並べ替えます。 **「名前（降順）」**：50音順の逆に並べ替えます。 **「時間（昇順）」**：写真の撮影日時の古い順に並べ替えます。 **「時間（降順）」**：写真の撮影日時の新しい順に並べ替えます。
「システム設定」	本機全体に関わる設定を変えます。詳しくは30 ～ 32ページをご覧ください。	

ちょっと一言

MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。

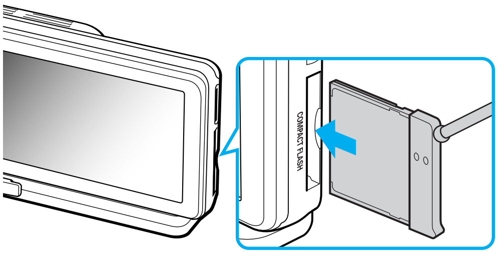


インターネット（メール/ホームページ）を使うための準備

準備1：XYZ本体に通信カードを挿入する

全機種

CF（コンパクトフラッシュ）カードタイプの通信カード（市販）を使って、ダイヤルアップまたは無線LANでインターネットに接続できます。"CF通信カード" について詳しくは、通信会社の販売店か下記ホームページの接続確認機種リストで確認してください。
URL: http://www.sony.co.jp/SonyMobile



XYZ本体のCFカードスロットに "CF通信カード" を挿入する。

"CF通信カード" を取りはずすには

WEBブラウザやメールを終了してから抜いてください。

ご注意

- CATVモデムでは、登録した機器のみしか使えないことがあります。詳しくは、お使いのCATV会社にお問い合わせください。
- 一部公共施設（ホテルなど）で認証が必要な場合は、使えないことがあります。
- 契約しているプロバイダによっては、本機のメール機能が使えないことがあります。
- "CFカード" はすばやく抜き差ししないで、正しい向きでゆっくり差し込んでください。

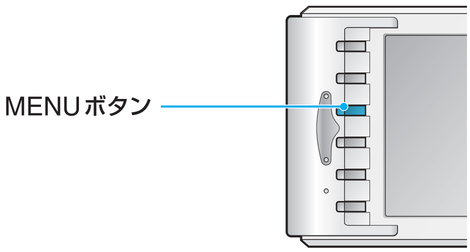
ちょっと一言

設定した個人情報を他人に見られないよう保護するため、パスワードを設定できます。あらかじめ本機にパスワードを設定しておくと、本機の電源を入れたときにパスワードを入力する画面が表示されます。パスワードの設定のしかたについて詳しくは、30ページをご覧ください。

準備2：インターネット接続の設定をする

全機種

インターネットに接続するためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「プロバイダ」といいます。
プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、インターネットを使ってホームページを見たり、メールをやり取りしたりできます。
プロバイダに加入し、プロバイダから送られてきた設定内容を本機に登録すると、インターネットに接続できます。
文字入力のしかたについて詳しくは、26ページをご覧ください。



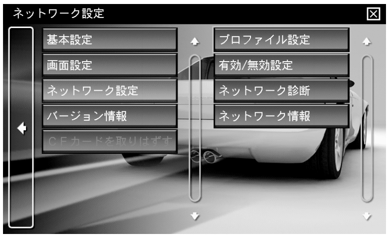
ダイヤルアップ接続の設定をする

通信カードを使って電話回線に接続するときに必要な設定です。無線LAN接続するときは、以下の操作は不要です。「無線LAN接続の設定をする」（137ページ）をご覧ください。
ご契約のプロバイダから送られてきた資料に従って設定してください。設定する項目の内容がよくわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。

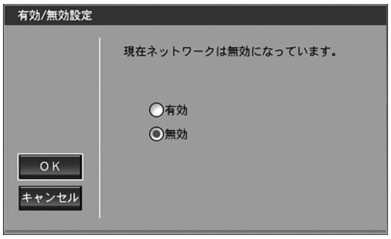
1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。



2 「ネットワーク設定」をタッチする。



3 「有効/無効設定」をタッチする。



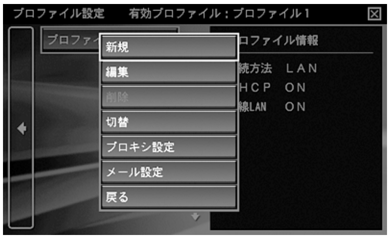
4 「有効」をタッチして、「OK」をタッチする。



5 「プロファイル設定」をタッチする。



6 「プロファイル1」をタッチする。



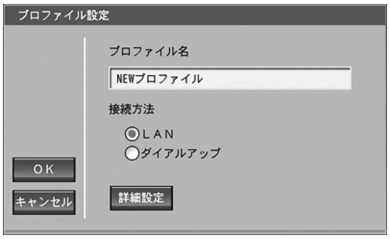
7 「新規」をタッチする。



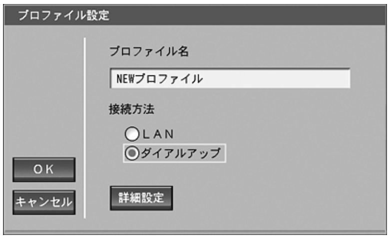
8 プロファイル名の項目をタッチし、お好みのプロファイル名を入力する。

これから行う設定に名前を付けて、本機に設定内容を保存します。

9 入力が完了したら、「入力終了」をタッチする。



10 「ダイアルアップ」をタッチしてチェックを入れる。



次のページにつづく

準備2：インターネット接続の設定をする（つづき） 全機種

11 「詳細設定」をタッチする。



12 以下の項目をタッチし、設定を行う。

「接続ID」
プロバイダにダイヤルアップで接続するのに使うユーザー名を入力します。

「パスワード」
プロバイダにダイヤルアップで接続するときに使う、ログイン名に対するパスワードを入力します。

「電話番号」
プロバイダが支給するインターネット用の電話番号を入力します。ご家庭の電話番号を入力しないでください。

「自動接続する」
インターネットに接続するとき、自動的に接続します。

「自動切断する」
電話回線の切り忘れを防ぐため、インターネットに接続した状態で、一定時間通信が行われないと、自動的に電話回線を切断する設定を行います。「自動切断する」をタッチして、設定時間（分）を入力してください。

13 「詳細設定」をタッチする。



14 以下の項目をタッチし、設定を行う。

「DNSを自動取得する」
DNSを自動取得するときはチェックを入れてください。

「DNS1」
プライマリDNSサーバーを入力します。

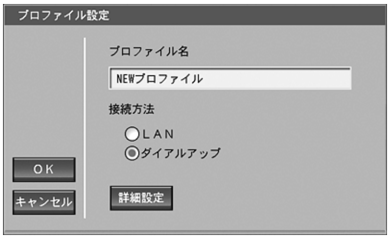
「DNS2」
セカンダリDNSサーバーを入力します。

「モデム初期化コマンド」
モデム初期化コマンドを入力します。

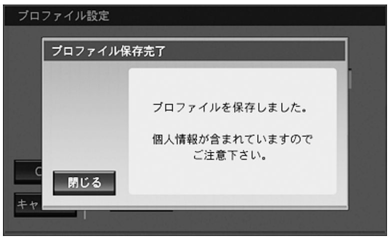
15 設定が完了したら、「設定」をタッチする。



16 「設定」をタッチする。



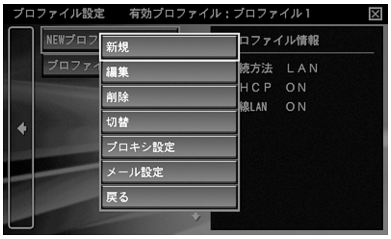
17 「OK」をタッチする。



18 「閉じる」をタッチする。

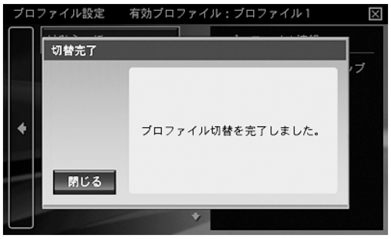


19 設定した「プロファイル名」をタッチする。



20 「切替」をタッチし、「はい」をタッチする。

保存したプロファイル（ダイヤルアップ）でインターネット接続する設定になります。



21 「閉じる」をタッチする。

確認画面が表示されるので、ダイヤルアップ接続をすぐにするときは、「はい」を、後でするときは「いいえ」を選びます。

無線LAN接続の設定をする

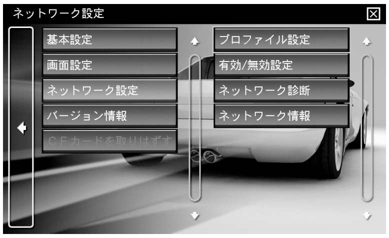
CFカードタイプの無線LANカード（市販）を使って、無線LANアクセスポイントを経由してインターネットに接続します。ダイヤルアップ接続するときは、以下の操作は不要です。「ダイヤルアップ接続の設定をする」（134ページ）をご覧ください。

ご契約のプロバイダから送られてきた資料に従って設定してください。設定する項目の内容がよくわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。

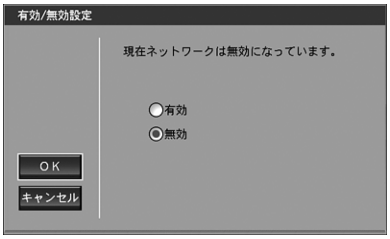
1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。



2 「ネットワーク設定」をタッチする。



3 「有効/無効設定」をタッチする。



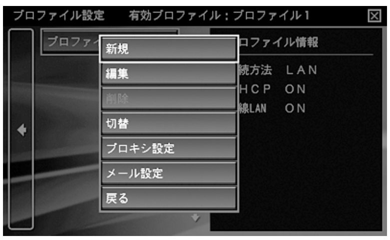
4 「有効」をタッチして、「OK」をタッチする。



5 「プロファイル設定」をタッチする。



6 「プロファイル1」をタッチする。



次のページにつづく

準備2：インターネット接続の設定をする（つづき） 全機種

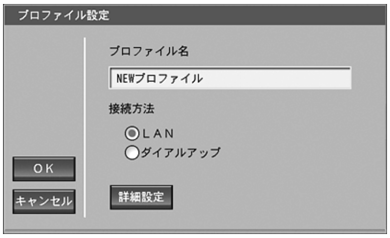
7 「新規」をタッチする。



8 プロファイル名の項目をタッチし、お好みのプロファイル名を入力する。

これから行う設定に名前を付けて、本機に設定内容を保存します。

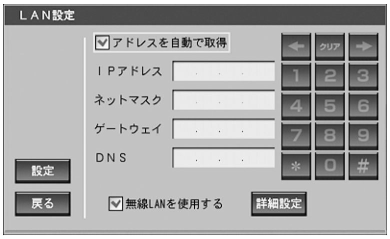
9 入力が完了したら、「入力終了」をタッチする。



10 「LAN」をタッチしてチェックを入れる。



11 「詳細設定」をタッチする。



12 以下の項目をタッチして、設定を行う。

「IPアドレス」（「アドレスを自動で取得」にチェックを入れたときは入力不要）
IPアドレスを入力します。

「ネットマスク」（「アドレスを自動で取得」にチェックを入れたときは入力不要）
ネットマスクを入力します。

「ゲートウェイ」
ゲートウェイを入力します。

「DNS」
DNSサーバーアドレスを入力します。

「無線LANを使用する」
チェックが入っているか確認します。

13 「詳細設定」をタッチする。



14 以下の項目をタッチして、プロファイル設定を行う。

「ESS ID」
ESS IDを半角英数字で入力します。アルファベットの大文字や小文字は区別されますので、入力するときはご注意ください。

「WEP キー」
WEP キーを入力します。
WEP キーは、電波に乗せるデータを暗号化するセキュリティ機能のことです。

「文字コード」
「16進」または「ASCII」にチェックを入れます。

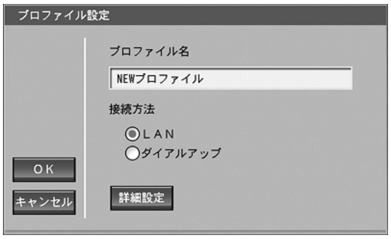
「接続モード」
「アクセスポイント」：無線LAN アクセスポイントへ接続します。
「アドホック」：無線LAN アクセスポイントを経由せずに、直接無線LAN 対応機器に通信します。

「チャンネル」
アクセスポイント側で使っているチャンネルと同じチャンネルを選びます。空白にすると自動でチャンネルを選びます。

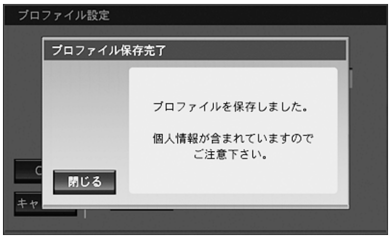
15 設定が完了したら、「設定」をタッチする。



16 「設定」をタッチする。



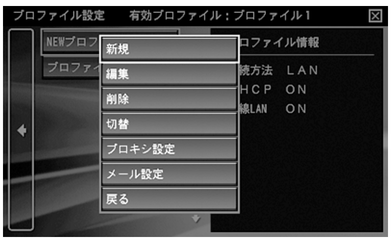
17 「OK」をタッチする。



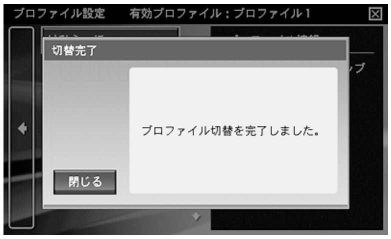
18 「閉じる」をタッチする。



19 設定した「プロファイル名」をタッチする。



20 「切替」をタッチし、「はい」をタッチする。
保存したプロファイル（無線LAN）でインターネット接続する設定になります。



インターネット接続できない設定にするには

誤操作を防ぎたいときなど、インターネットに接続できないように設定できます。

1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。
2 「ネットワーク設定」をタッチする。
3 「有効/無効設定」をタッチする。
4 「無効」をタッチする。
5 「OK」をタッチする。
6 「閉じる」をタッチする。
インターネット接続ができる設定に戻すには、手順4で「有効」を選んでください。

プロファイル名を削除するには

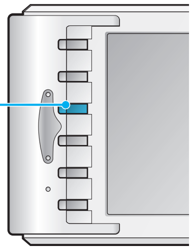
1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。
2 「ネットワーク設定」をタッチする。
3 「プロファイル設定」をタッチする。
4 削除するプロファイル名をタッチしてから、「削除」をタッチする。
5 「はい」をタッチする。
6 「閉じる」をタッチする。

ご注意

- 設定項目の内容で、無線LANアクセスポイントの設定値について詳しくは、お使いの無線LANネットワークの管理者などにお問い合わせください。インターネットに接続するために必要な設定値についてはお使いのプロバイダにお問い合わせください。
- 本機の使用周波数は1～14ch（2.4GHz帯）です。

準備3：接続が正しくできているかを確認する

全機種

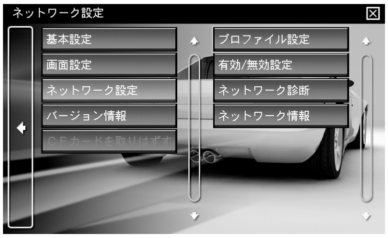


MENUボタン

1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。



2 「ネットワーク設定」をタッチする。



3 「ネットワーク診断」をタッチしてから、「開始」をタッチする。

本機に設定したIPアドレスでインターネットに接続して、接続状況を確認します。

正しく接続されていたら

「ネットワークの設定に問題はありません」が表示されるので、「閉じる」をタッチして終了します。

接続できなかったら

「○○○*設定に問題があります。内容を確認して下さい。」が表示されるので、「閉じる」をタッチして終了します。

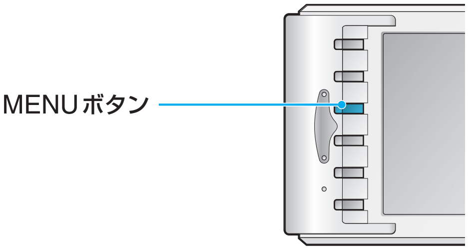
* 実際には設定項目が表示されます。

4 接続できなかった場合は、表示された箇所を正しく設定し直す。

準備4：メールの初期設定をする

全機種

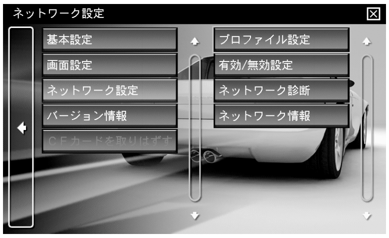
メールを送信するには、お使いのプロバイダの設定を本機に登録する必要があります。
プロバイダに加入し、プロバイダから送られてきた資料に従って設定を行ってください。



1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。



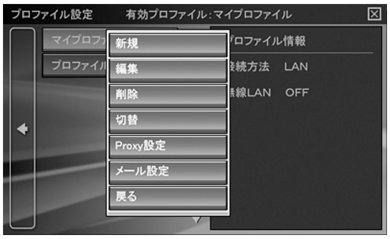
2 「ネットワーク設定」をタッチする。



3 「プロファイル設定」をタッチする。



4 プロファイル名をタッチする。



5 「メール設定」をタッチする。



6 以下の項目をタッチし、設定を行う。

「フルネーム」
送信するメールの差出人として、受信側で表示する名前を入力します。通常はご自分の名前を入力します。

「メールアドレス」
ご自分のメールアドレスを入力します。

7 「サーバー設定」をタッチする。

「SMTPホスト名」
SMTPホスト名を半角英数字で入力します。SMTPは送信用のサーバーのことです。

「POP3ホスト名」
POP3ホスト名を半角英数字で入力します。POP3は受信用のサーバーのことです。

「POP3ユーザー名」
メールを受信する際のアカウント名を入力します。

「POP3パスワード」
受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを入力します。

「サーバーにメールを残す」
サーバーにメールを残します。

次のページにつづく

準備4：メールの初期設定をする（つづき） 全機種

8 「詳細設定」をタッチする。



9 以下の項目をタッチし、設定を行う。

「SMTPポート」
SMTPサーバーのポート番号を入力します。

「POP3ポート」
POP3サーバーのポート番号を入力します。

「APOPで認証する」
APOPとは、メールを受信する際にパスワードを暗号化して安全性を向上させる仕組みです。
パスワードを暗号化するときはチェックを入れてください。

「メール送信時に認証する」
認証が必要な送信サーバーにアクセスするときはチェックを入れてください。

10 「受信設定」をタッチする。

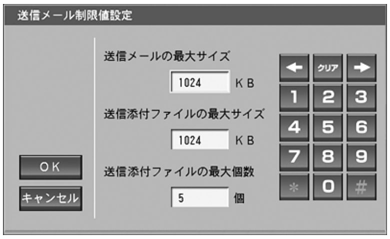


11 以下の項目をタッチして、設定を行う。

「受信メールの最大サイズ」
メール1通あたりの受信できる最大サイズを入力します。

「表示する添付ファイルの個数」
メール1通あたりの表示できる添付ファイルの最大個数を入力します。

12 「送信設定」をタッチする。



13 以下の項目をタッチして、設定を行う。

「送信メールの最大サイズ」
メール1通あたりの送信できる最大サイズを入力します。

「送信添付ファイルの最大サイズ」
メール1通あたりの送信できる添付ファイルの最大サイズを入力します。

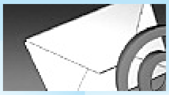
「送信添付ファイルの最大個数」
メール1通あたりの送信できる添付ファイルの最大個数を入力します。

14 設定が完了したら、「OK」をタッチする。



本機の接続状況を確認するには

1 アプリケーション選択画面で、MENUボタンを押す。
2 「ネットワーク設定」をタッチする。
3 「ネットワーク情報」をタッチする。
接続情報が表示されます。
4 「OK」をタッチする。



メールを使う

メールを書いて送信する

全機種

まず試しに、自分自身にメールを書いて送信してみましょう。本機でメールを正しく送受信できるかどうか確認できます。
文字入力のしかたについて詳しくは、27ページをご覧ください。

メールを使う準備はできていますか？
あらかじめインターネット接続のための準備をしておく必要があります。詳しくは、134 ～ 142ページをご覧ください。

1 アプリケーション選択画面で、「メール」をタッチする。



2 （新規作成）をタッチする。



3 「宛先」をタッチする。



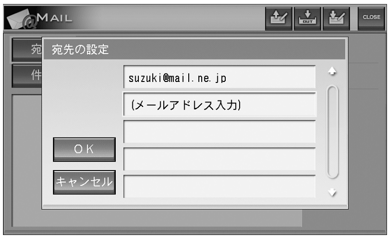
4 「(メールアドレス入力)」をタッチしてから、「直接入力」をタッチする。

「アドレス帳から」について詳しくは、「アドレス帳を使う」（146ページ）をご覧ください。

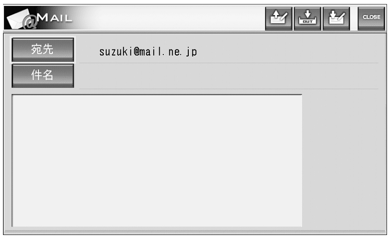


5 メールアドレスを入力する。

複数の相手に同時に送るときは、各枠にメールアドレスを1件ずつ入力してください。



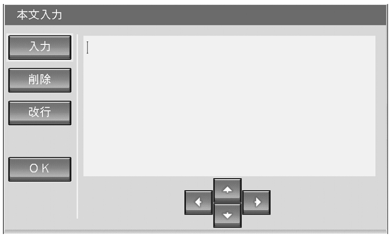
6 入力が完了したら、「OK」をタッチする。



7 「件名」をタッチして選び、メールの件名を入力する。



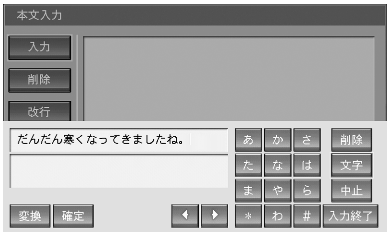
8 画面下半分の枠をタッチする。



9 「入力」をタッチする。

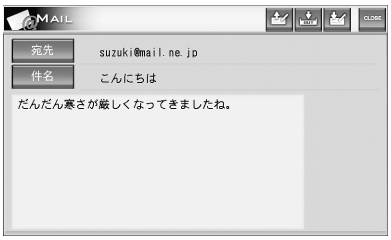
文字入力のしかたについて詳しくは、27ページをご覧ください。

メール本文の文字入力を終了したとき、一定の文字数を超えると、自動的に改行を入れます。





10 入力が完了したら、「OK」をタッチする。



11 メールの内容と宛先のメールアドレスが正しいか確認する。

メールは一度送信してしまうと、取り消せません。送信する前に、もう一度メールの内容に間違いがないか確認しましょう。

12 （すぐに送信）をタッチする。



本機がインターネットに接続し、メールが送信されます。

13 送信完了のメッセージが表示されたら、「OK」をタッチする。



途中でやめるには

CLOSE（メール編集中止）を、表示しているときにタッチします。

後で送信するときは

手順11の後、（送信箱に保存）をタッチします。送信箱では、保存しているすべてのメールを一度に送信できます（153ページ）。インターネットの通信状態が良くない場合などは、メールを送信箱にいったん保存しておいて、後でまとめて送信すると便利です。

作成途中のメールを保存するには

手順11の後、（草稿箱に保存）をタッチします。後で編集したいときは、メールボックス一覧画面で「草稿箱」をタッチしてから、メールをタッチし、文章を編集してください。

次のページにつづく

メールを書いて送信する（つづき）

全機種

「Cc」、「Bcc」にメールアドレスを入力するには

メール編集画面のメニューから設定します。
詳しくは、155ページをご覧ください。

メールにファイルを添付するには

詳しくは、155ページをご覧ください。

ご注意

- 宛先（To）にメールアドレスを入力しないと、「送信」するときに送信エラーになります。
- メールアドレスが正しく入力されていないメールは送信されません。
- メールの送信中に通信状態が悪くなると、送信に時間がかかったり、失敗する場合があります。送信できなかったメールは、同じメールボックスにそのまま残ります（新規作成の場合は、草稿箱に残ります）。

ちょっと一言

- 送信元（自分）の名前やメールアドレスなどの情報を「署名」として保存し、メールの文末に入れられます。詳しくは、「シグネチャ設定」（154ページ）をご覧ください。
- 件名は半角128文字/全角64文字まで入力できます。制限を超えた文字は、自動的に削除されます。
- 宛先（To）、Cc、Bccには、それぞれ100件までメールアドレスを設定できます。

アドレス帳を使う

あらかじめメールアドレスをアドレス帳に登録しておけば、メール作成時にアドレス帳から選んで自動的に入力できるので、簡単で正確です。あらかじめ以下の手順で、アドレス帳に宛先を登録しておきます。

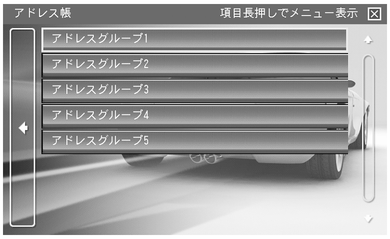
1 アプリケーション選択画面で、「メール」をタッチする。



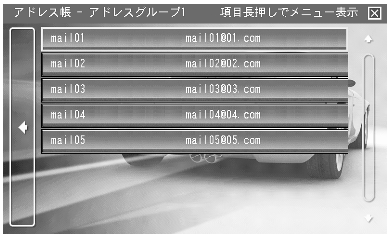
2 メールボックスのいずれかを操作音がするまでタッチしてから指を離し、メニューを表示する。



3 「アドレス帳表示」をタッチして、アドレス帳を表示する。

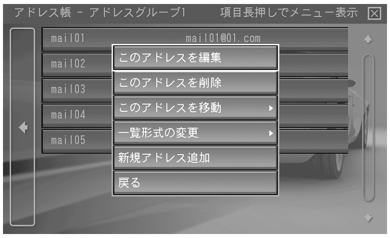


4 お好みの「アドレスグループ」をタッチして、グループ内のアドレスを一覧表示する。

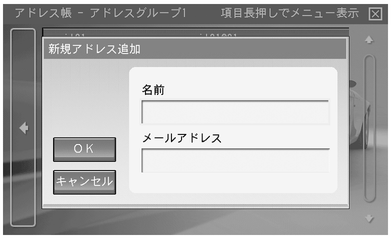


5 アドレスを操作音がするまでタッチしてから指を離し、メニューを表示する。

アドレスが1件も登録されていないときは、XYZ本体のMENUボタンを押してください。

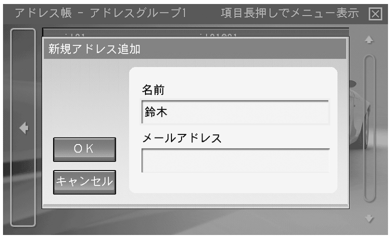


6 「新規アドレス追加」をタッチする。

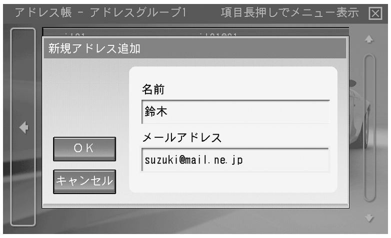


7 「名前」の項目をタッチして、メールアドレスの名前を入力する。

識別しやすい名前にしましょう。



8 「メールアドレス」の項目をタッチして、登録するメールアドレスを入力する。



9 「OK」をタッチする。

アドレス帳に、メールアドレスが登録されます。

差出人をアドレス帳に登録するには

1 「メールを受信して読む」(148ページ)の手順1～4の操作を行う。

2 MENUボタンを押して、メニューを表示する。

3 「差出人をアドレス帳に登録」をタッチする。

4 「アドレスグループ」をタッチする。

差出人のアドレス(「名前」と「メールアドレス」)が、選んだアドレスグループに登録されます。

アドレス帳から宛先を選ぶには

1 「メールを書いて送信する」(144ページ)の手順1～3を行う。

2 「(メールアドレス入力)」をタッチして「アドレス帳から」をタッチする。

ちょっと一言

- アドレス帳の編集について詳しくは、158ページをご覧ください。
- 5つのアドレスグループに、それぞれ100件までアドレスを登録できます。

次のページにつづく

メールを受信して読む

全機種

送られてきたメールがあるかどうか受信箱で確認しましょう。

メールを使う準備はできていますか？
あらかじめインターネット接続のための準備をしておく必要があります。詳しくは、134 ～ 142ページをご覧ください。

1 アプリケーション選択画面で、「メール」をタッチする。



2 （受信）をタッチする。

本機がインターネットに接続し、受信メールがあるか確認します。



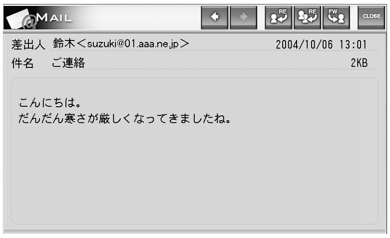
3 受信確認完了のメッセージが表示されたら、「OK」をタッチする。



受信メールがある場合は、メールボックス一覧画面が表示されます。新着メール（未開封）の数が黄色の数字で表示されます。

4 「受信箱」をタッチして選び、読みたいメールをタッチする。

新たに届いたメールには、受信箱のメールの横に（未開封）マークが付きます。



メールの内容が表示されます。

受信したメールをごみ箱に移動するには

1 ごみ箱に移動したいメールを操作音がするまでタッチしてから指を離しメニューを表示する。

2 「このメールをごみ箱へ」をタッチする。

ちょっと一言

- ごみ箱に移動しただけでは、メールデータは削除されません。メールを完全に削除するには、ごみ箱またはメールボックス一覧画面で「ごみ箱の全メールを削除」を実行してください（156ページ）。
- メールボックス一覧画面のハードディスク空き容量表示は、メールデータを削除した後、すぐに更新されません。メールを再起動したときに更新されます。

受信メールの文中にホームページのアドレスが青色で表示されているときは

1 受信メールにあるホームページのアドレスをタッチする。

2 「このURLをWebブラウザで表示しますか？」が表示されたら、「はい」をタッチする。
インターネット画面に切り替わり、ホームページが表示されます。

受信したメールを自動的にメールボックスに振り分けるには

「メール振り分け設定」で設定できます（153ページ）。

メールで送られてきた添付ファイルを見る/保存するには

1 受信メールを表示させた状態で、MENUボタンを押す。

2 「添付ファイル一覧」をタッチする。

3 ファイル名をタッチする。

4 「実行」または「保存」をタッチする。
「実行」：ファイルを開きます。
「保存」：ファイルを本機に保存します。
ファイル保存画面が表示されるので、保存場所を選んで、ファイルを保存します。

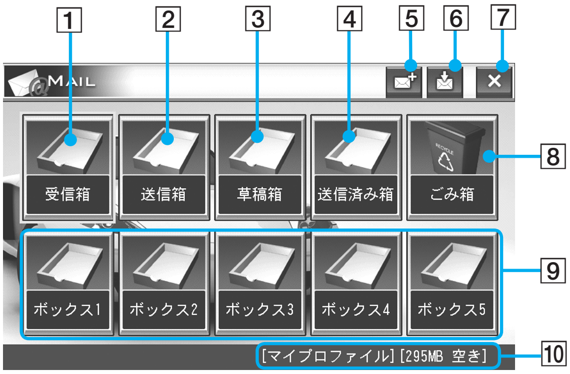
ご注意

- 表示できる添付ファイルは、TEXT、HTML、PDF、JPEGです。ただし、これらのファイルでも送信側のメーラーによっては本機で正しく表示できない場合があります。
- 本機で実行できない添付ファイルは、添付ファイル一覧には表示されません。実行できないファイルが添付されたメールや、5個以上のファイルが添付されたメールは、お手持ちのパソコンなどに転送して添付ファイルをご覧ください。
- 転送などで添付されたメールデータは、「実行」を選ぶと、新着メールとして受信箱に保存されます。
- 受信メールに画像などの添付ファイルがある場合、受信にしばらく時間がかかることがあります。

次のページにつづく

メールを受信して読む（つづき） 全機種

メールボックス一覧画面



1「受信箱」
受信したメールを保管します。黄色の数字は新着（未開封）メール数を示しています。

2「送信箱」
送信待ちのメールを保管します。また保管しているメールを一度に送信できます。送信後は、「送信済み箱」に移動します。

3「草稿箱」
編集中のメールを保管します。

4「送信済み箱」
送信済みのメールを保管します。

5
メールを作成します。

6
メールを受信します。

7 ×
メールを終了します。

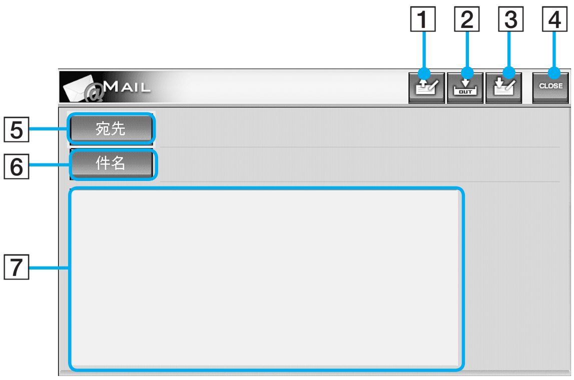
8「ごみ箱」（156ページ）
不要なメールを削除できます。

9 メールボックス（153、154ページ）
受信したメールを、お好みのメールボックスに振り分けて保管します。

10 プロファイル情報
プロファイル名、ハードディスクの空き容量を表示します。

ちょっと一言
XYZ本体は、メールで使用可能な容量は300MBです。それを超えても使えますが、他のアプリケーションやメールの動作に影響を与えることがあるため、300MB以下で使うことをお勧めします。

メール編集画面



1
現在編集中のメールをすぐ送信します。

2
現在編集中のメールを「送信箱」に保存します。

3
現在編集中のメールを「草稿箱」に保存します。

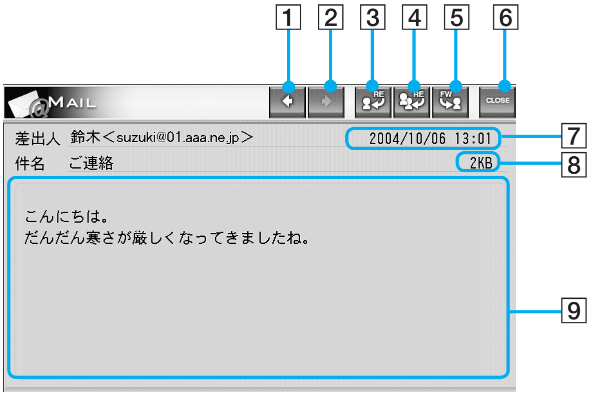
4 CLOSE
メールの編集を途中でやめます。

5「宛先」
宛先のメールアドレスを設定します。
「Cc」、「Bcc」について詳しくは、155ページをご覧ください。

6「件名」
「件名」を入力します。

7「本文表示欄」
メールの本文を入力します。

メール閲覧画面



1 前のメールを表示します。

2 次のメールを表示します。

3 受信したメールの差出人に返事を書きます。

4 自分を含む、複数のメールアドレスに送られたメールに、送られた全員に届くように返事を書きます。

5 受信したメールを他の人へ転送します。

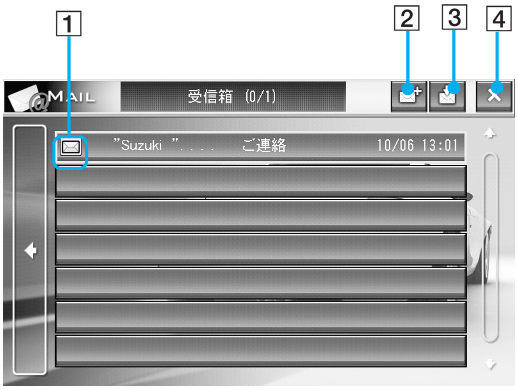
6 メール閲覧画面を閉じます。

7 **送信日時**

8 **メールサイズ**

9 **受信メールの内容**

受信メール一覧画面



1 新着（未開封）であることを示しています。

2 メールを作成します。

3 メールを受信します。

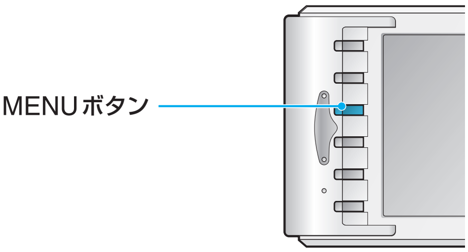
4 メールを終了します。

次のページにつづく

メールを使うときの便利な機能

全機種

画面に表示されるメニューで、メールを使うときに便利な機能を設定できます。



1 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



2 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

メニューを表示するときの画面によって、設定できる項目が異なります。設定できない項目はグレー表示されます。各メニューについて詳しくは、153～158ページをご覧ください。

次のページにつづく

メールボックス一覧メニュー

メールボックス一覧メニューは、メールの基本的な機能を設定できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定</th></tr>
<tr><td>「新規作成」</td><td colspan="2">メールを作成します。</td></tr>
<tr><td>「受信」</td><td colspan="2">メールを受信します。</td></tr>
<tr><td>「アドレス帳表示」</td><td colspan="2">アドレス帳を表示します。</td></tr>
<tr><td>「メールボックス名変更」</td><td colspan="2">1 メールボックス名をタッチして、名前を入力する。
2 入力が完了したら、「OK」をタッチする。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">「機能」</td><td>「ネットワーク接続」</td><td>本機の接続情報を表示します。</td></tr>
<tr><td>「送信箱のメールを送信」</td><td>「送信箱」に保管しているメールを送信します。</td></tr>
<tr><td>「全受信メール一覧」</td><td>受信メールを一覧表示します。</td></tr>
<tr><td>「メール振り分け実行」</td><td>「はい」をタッチすると、メール振り分け設定に従って、メールを各メールボックスに振り分けます。メール振り分け設定のしかたについて詳しくは、「メール振り分け設定」（154ページ）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>「ごみ箱の全メールを削除」</td><td>ごみ箱へ移動したメールすべてを削除します。</td></tr>
</table>

次のページにつづく

全機種

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定</th></tr>
<tr><td rowspan="2">「設定」</td><td>「メール設定」</td><td>「メール振り分け設定」:
設定したメールアドレスからメールを受信したとき、自動的に指定してあるメールボックスに振り分けるように設定できます。
設定できるメールアドレスはメールボックスごとに、最大5件です。
1 振り分け先のメールボックスをタッチする。
2「（メールアドレス入力）」をタッチして、「直接入力」か「アドレス帳から」のいずれかをタッチする。
3 メールアドレスを入力する。
4 入力が完了したら、「OK」をタッチする。
設定したメールアドレスを削除するには、メールアドレスをタッチして、「削除」をタッチします。すべてのメールアドレスを削除するには「すべて削除」をタッチします。
「シグネチャ設定」:
送信元（自分）の名前やメールアドレスなどの情報を「シグネチャ」（署名）として保存し、自動的にメールの文末に入れて送信できます。署名を登録しておくと、自分の名前や住所などをその都度入力しなくても済むので便利です。
最大5行まで入力できます。
1 署名の内容を入力する。
2 入力が完了したら、「OK」をタッチする。
「メール情報初期化」:
「はい」をタッチすると、メールの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。すべてのメールデータが削除されます。メールデータを復元することはできません。
ただし、本機の「ネットワーク設定」（134 ～ 142ページ）で設定したプロファイル情報は、削除されません。</td></tr>
<tr><td>「システム設定」</td><td>本機全体に関わる設定を変えます。システム設定について詳しくは、30 ～ 32ページをご覧ください。</td></tr>
<tr><td>「メール終了」</td><td colspan="2">メール画面を閉じ、アプリケーション選択画面を表示します。</td></tr>
</table>

メール編集メニュー

メール編集メニューは、メールを作成するとき
に便利な機能を設定できます。

項目	設定
「すぐに送信」	現在編集中のメールをすぐ送信します。
「送信箱に保存」	現在編集中のメールを「送信箱」に保存します。
「草稿箱に保存」	現在編集中のメールを「草稿箱」に保存します。
「Cc, Bccの設定」	「Ccの設定」または「Bccの設定」をタッチして選び、メールアドレスを入力します。 「宛先」と「Cc」、「Bcc」のどれで受け取るかで、相手の受けとめかたが異なることがあります。以下を参考に、うまく使い分けましょう。 **「宛先」**: メールを送りたい相手先（宛先）です。 **「Cc」**: カーボンコピー（Carbon copy : カーボン紙で複写する）の意味で、メールのコピーを送りたい相手先（「宛先」以外の人）です。 **「Bcc」**: ブラインドカーボンコピー（Blind carbon copy : 隠れたカーボンコピー）の意味です。「宛先」や「Cc」に入力したメールアドレスは、メールを受け取った相手に表示されますが、「Bcc」に入力したメールアドレスは、メールを受け取った相手からは見えません。
「ファイル添付」	手紙に写真や絵を同封するように、メールでも、デジタルカメラで撮影した写真などのファイルを添付して送信できます。 本機のハードディスクや、本機に挿入している“メモリースティック”/“CFカード”に保存されているファイルから、添付するファイルを選びます。本機では、1通のメールに5個までファイルを添付できます。 メール本文と添付ファイルの合計サイズが設定した値（142ページ）を超えると、送信できません。 **1**「（ファイル選択）」をタッチする。 **2** 添付したいファイルを選ぶ。 **3**「閉じる」をタッチする
「メール編集中止」	メールの編集を途中でやめます。

次のページにつづく

メール一覧メニュー

メール一覧メニューは、受信メールを編集したり、返信したりする機能を設定できます。
メールボックスによって異なるメニューが表示されます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">設定</th></tr>
<tr><td>「このメールに返信」</td><td colspan="2">選んだメールに返信するメールを作成します。</td></tr>
<tr><td>「このメールをごみ箱へ」</td><td colspan="2">選んだメールをごみ箱へ移動します。</td></tr>
<tr><td>「このメールを移動」</td><td colspan="2">移動先のメールボックスをタッチして、選んだメールを移動します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">「機能」</td><td>「新規作成」</td><td>メールを作成します。</td></tr>
<tr><td>「送信」</td><td>メールを送信します。</td></tr>
<tr><td>「受信」</td><td>メールを受信します。</td></tr>
<tr><td>「検索」</td><td>メールボックスのメールを検索できます。たまったメールから、見たいメールや、移動/削除したいメールを、件名でまとめて検索でき、便利です。
1 検索したいメールの件名に含まれる文字列を入力する。
2 入力が完了したら、「検索開始」をタッチする。
検索文字列を件名に含んだメールが一覧表示されます。
3 メールをタッチする。</td></tr>
<tr><td>「一覧形式の変更」</td><td>「差出人順」（宛先順）、「件名順」、「送信日時順」をタッチして、メールを並び替えます。</td></tr>
<tr><td>「ごみ箱の全メールを削除」</td><td colspan="2">ごみ箱へ移動したメールすべてを削除します。</td></tr>
<tr><td>「このメールを削除」</td><td colspan="2">ごみ箱で選んだメールを１通削除します。</td></tr>
<tr><td>「メール終了」</td><td colspan="2">メール画面を閉じ、アプリケーション選択画面を表示します。</td></tr>
</table>

メール閲覧メニュー

メール閲覧メニューは、受信メールを見るとき
に便利な機能を設定できます。

項目	設定	
「前のメールを読む」	1つ前のメールを表示します。	
「次のメールを読む」	次のメールを表示します。	
「返信/転送/編集」	「このメールに返信」	受信したメールの差出人に返事を書きます。 受信したメールの文面を引用して返事を書けます。返信先のメールアドレスがすでに自動的に入力されたメール作成画面が表示されます。題名の文頭には返信を表す「Re:」が、文面の行頭には「＞」（引用符）が自動的に付きます。返信に必要な部分だけを残しながら返事を書きましょう。
	「全員に返信」	自分を含む、複数のメールアドレスに送られたメールに、送られた全員に届くように返事を書きます。 受信したメールの文面を引用して返事を書けます。返信先のメールアドレスがすでに自動的に入力されたメール作成画面が表示されます。題名の文頭には返信を表す「Re:」が、文面の行頭には「＞」（引用符）が自動的に付きます。返信に必要な部分だけを残しながら返事を書きましょう。
	「転送」	受信したメールを他の人へ「転送」します。「転送」とは、ある人から届いたメールを他の人に送ることをいいます。元のメールの受信情報とメールの文面が自動的に入力されます。 題名の文頭には転送を表す「Fw:」が自動的に付きます。文章を付け加えて転送したい場合は、文章を入力します。
	「引用して新規作成」	受信したメールの内容を引用して、メールを作成します。元の文面が自動的に入力されます。宛先と件名、本文を付け加えます。
「添付ファイル一覧」	受信したメールの添付ファイルを最大5件まで表示します（155ページ）。	
「差出人をアドレス帳に登録」	「アドレスグループ」をタッチすると、差出人のアドレス（「名前」と「メールアドレス」）が、選んだアドレスグループに登録されます。	
「メール一覧に戻る」	メール一覧画面に戻ります。	

次のページにつづく

アドレス帳メニュー

アドレス帳メニューは、アドレス帳を編集する
機能を設定できます。

項目	設定
「このグループの名称変更」	**1** 入力枠をタッチして、新しいグループ名称を入力する。 **2** 入力が完了したら、「OK」をタッチする。
「このグループを初期化」	「はい」をタッチすると、アドレスグループ名やグループ内のメールアドレスがお買い上げ時の状態に戻ります。アドレスグループ名やグループ内のメールアドレスを復元することはできません。
「このアドレスを編集」	**1** アドレスの名前/メールアドレスを入力する。 **2** 入力が完了したら、「OK」をタッチする。
「このアドレスを削除」	「はい」をタッチすると、選んだメールアドレスを削除します。
「このアドレスを移動」	移動先のアドレスグループをタッチして選びます。
「一覧形式の変更」	「名前順」または「メールアドレス順」をタッチして、アドレスを並び替えます。
「新規アドレス追加」	詳しくは、「アドレス帳を使う」（146ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。



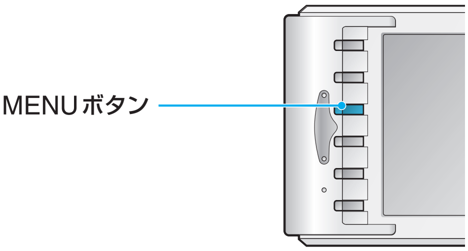
ホームページを見る

ホームページを見る

全機種

URL（ホームページのアドレス）を入力して、ホームページを表示してみましょう。
文字入力のしかたについて詳しくは、27ページをご覧ください。

ホームページを見る準備はできていますか？
あらかじめインターネット接続のための準備をしておく必要があります。詳しくは134～142ページをご覧ください。



1 アプリケーション選択画面で、「WEBブラウザ」をタッチする。
ダイヤルアップ接続で、「自動接続する」（136ページ）にチェックしていない場合、手順2の後、「ネットワーク接続」をタッチして、ダイヤルアップ接続してください。



2 MENUボタンを押す。



3 「基本」をタッチしてから、「URL入力ジャンプ」をタッチする。



4 「URL」をタッチしてから、ホームページのURL（アドレス）を入力する。



5 入力が終わったら、「入力終了」をタッチする。



6 「ジャンプ」をタッチする。
ホームページの読み込み（ダウンロード）が始まります。読み込み中はインターネットマークが動きます。完了すると、ホームページが表示され、インターネットマークは止まります。

ご注意

- 本機の仕様により、一部ご覧になれないホームページがあります。
- 「#(半角)」「－」「～」や特殊記号などが含まれたファイルは、WEBブラウザで文字化けしたり、開けなかったりする場合があります。
  例：「‖」「¢」「£」「¥」「¬」

画面をスクロールするには

スクロールバーを上/下、左/右になぞり、スクロール（移動）させます。



以前入力したURLをもう一度入力するには

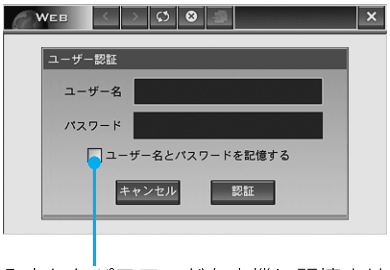
1 160ページの手順1～3を行い、「入力履歴リスト」をタッチする。

2 URLをタッチする。

3 「ジャンプ」をタッチする。
URLを修正するときは、「URL」をタッチすると、文字入力画面で修正できます。

本人確認（ユーザー認証）が必要なホームページを見るには

プライバシー保護のために、本人と確認されて初めて表示するホームページがあります。ユーザー認証画面が最初に表示されるので、ユーザーID（本人の名前など）とパスワード（暗証番号）を入力してログインしてください。



入力したパスワードを本機に記憶させておく場合、タッチしてチェックを入れる。

画面に「ログアウト」ボタンがある場合は、そのページを見終わったら、あなたの個人的な情報を他の人に見られないようにするため、必ず「ログアウト」ボタンをタッチしてから、他のページに進んでください。

WEBブラウザを立ち上げたままで回線を切断するには（"CF通信カード"によるダイアルアップ接続時のみ）

1 MENUボタンを押す。

2 「ネットワーク接続」をタッチする。

3 「切断」をタッチする。
再び回線を接続するときは、上記手順1、2を行い、「接続」をタッチしてください。

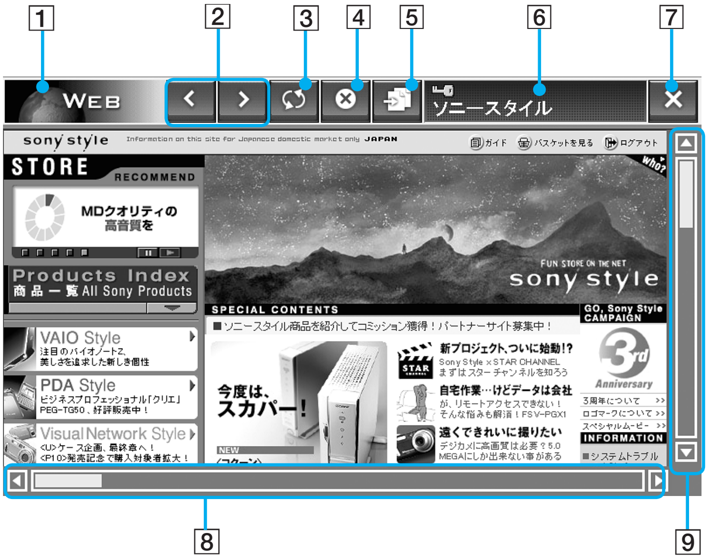
ご注意

漢字やかな、スペースが使われているURLは、表示できないことがあります。

次のページにつづく

WEB画面各部のはたらき

WEB閲覧画面



1 **通信状態**
ホームページなどを読み込んでいる（ダウンロードしている）ときは、このマークが動きます。

2 ＜ / ＞
前/次のページを表示します。

3 （再読み込みボタン）
現在表示しているURLのホームページをもう一度読み込んで、最新の情報を表示します。

4 （中止ボタン）
ホームページの読み込みをやめます。

5 （タブ切り替えボタン）
タブを切り替えます。

6 **タイトル**
ホームページのタイトルを表示します。

7 ×
WEBブラウザを閉じます。

8 **スクロールバー（横）**

9 **スクロールバー（縦）**

WEB検索バー



1 ↓ / ↑
下/上方向へ検索します。

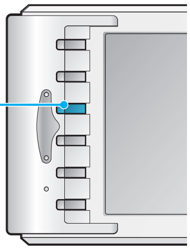
2 **入力枠**
検索する文字を入力します。

3 CLOSE
WEB検索バーを閉じます。

ホームページを見るときの便利な機能

全機種

画面に表示されるメニューで、ホームページを見るときに便利な機能を設定できます。



1 アプリケーション選択画面で、「WEBブラウザ」をタッチする。



2 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



3 メニュー項目をタッチして調整/表示する。

各メニューについて詳しくは、以下のページをご覧ください。

「基本」: 164ページ
「ブックマーク」: 164ページ
「ツール」: 166ページ
「表示」: 166、167ページ
「ネットワーク接続」: 167ページ
「設定」: 167、168ページ
「WEBブラウザを終了」: 168ページ

次のページにつづく

「基本」

ホームページを閲覧しているときに使える基本的な機能を設定できます。

項目	設定
「前に戻る」	前のページに戻ります。
「次に進む」	次のページに進みます。
「ホームページを表示」	「ホームの設定」（168ページ）で登録したホームページを表示します。
「ページの更新」	現在表示しているURLのホームページをもう一度読み込んで、最新の情報を表示します。
「読み込みの中止」	ホームページの読み込みをやめます。
「URL入力ジャンプ」	詳しくは「ホームページを見る」（160ページ）をご覧ください。
「リンク先を別のタブで開く」	新しいタブで、表示しているホームページのリンク先を開きます。

「ブックマーク」

気に入ったホームページをブックマークへ登録したり、ブックマークに登録してあるホームページを表示したりできます。

項目	設定
「ブックマークを表示」	ブックマークに登録してあるホームページを見ることができます。 **1** 登録してあるフォルダをタッチする。 **2** ホームページのタイトルをタッチする。 ホームページが表示されます。 **ブックマークの名前を変えるには** **1** ブックマーク名を、操作音がするまでタッチしてから指を離しメニューを表示する。 リモコン操作の場合は、選択枠をブックマークに移動させてから、MENUボタンを押します。 **2**「名前の変更」をタッチする。 **3** 名前を入力する。 **4** 入力が完了したら、「入力終了」をタッチする。 **同一フォルダ内で移動するには** ブックマーク名を、操作音がするまでタッチしてから指を離しメニューを表示する。 リモコン操作の場合は、選択枠をブックマークに移動させてから、MENUボタンを押します。 「上へ移動」を選ぶと、ブックマークを1つ上に移動し、「下へ移動」を選ぶと、1つ下に移動します。

項目	設定
「ブックマークを表示」(つづき)	**ブックマークを他のフォルダに移動するには** **1** ブックマーク名を、操作音がするまでタッチしてから指を離し、メニューを表示する。 リモコン操作の場合は、選択枠をブックマークに移動させてから、MENUボタンを押します。 **2**「他のフォルダへ」をタッチする。 **3** 移動先のフォルダをタッチする。 **ブックマークを削除するには** **1** ブックマーク名を、操作音がするまでタッチしてから指を離し、メニューを表示する。 リモコン操作の場合は、選択枠をブックマークに移動させてから、MENUボタンを押します。 **2**「削除」をタッチする。 **3**「このブックマークを削除します。よろしいですか?」が表示されたら、「はい」をタッチする。 **ブックマークフォルダの名前を変えるには** **1** 名前を変えるフォルダを、操作音がするまでタッチしてから指を離し、メニューを表示する。 リモコン操作の場合は、選択枠をフォルダに移動させてから、MENUボタンを押します。 **2**「名前の変更」をタッチする。 **3** 名前を入力する。 **4** 入力が完了したら、「入力終了」をタッチする。
「ブックマークに登録」	登録するフォルダをタッチすると、表示しているホームページがブックマークへ登録されます。

次のページにつづく

ホームページを見るときの便利な機能（つづき）全機種

「ツール」

ホームページの内容を本機に保存したり、保存したホームページを表示したりできます。また、以前見たホームページは、履歴で探して、簡単にインターネット接続できます。

項目	設定
「オンライン/オフラインモード」	「オフラインモード」を選ぶと、本機に一時的に保存されているページを優先して表示します。本機に保存されていないページを表示しようとするとネットワークに接続してよいかの確認メッセージが表示されます。 オンラインモード中は「オフラインモード」が表示され、オフラインモード中は「オンラインモード」を表示します。
「ページを参照」	ホームページのタイトルをタッチして選びます。パソコンからあらかじめ転送して保存してあるホームページの内容が表示されます。また、パソコンなどでホームページを保存した、“メモリースティック”や“CFカード”を挿入して、本機で見ることもできます。
「履歴を表示」	以前表示したホームページの一覧を見ることができます。
「履歴を全件削除」	以前表示したホームページの一覧を削除します。
「キャッシュを削除」	キャッシュとは、一度読み込んだホームページを一時的に保存し、表示を高速にするしくみのことをいいます。一時的に保存しているデータ（キャッシュ）を削除します。

「表示」

複数のホームページを開いているとき、タブを切り替えて画面に表示するホームページを選べます。また、ホームページの内容で、調べたい文字を検索したり、フレームを選べます。

項目	設定
「タブ切り替え」	複数のホームページを開いているとき、画面に表示するホームページを切り替えます。見たいホームページのタブをタッチしてください。 表示されるタブの数は最大5個です。
「現在のタブを閉じる」	表示されているホームページを閉じます。
「タブを追加」	新しいタブを作成します。新しいホームページを開くまでは、現在タブ表示しているホームページと同じページが表示されます。
「次のフレームに移動」	次のフレームを選びます。複数のフレームから成り立っているホームページを見るときに使います。
「検索」	表示しているホームページ内で、文字を検索できます。 **1** 文字の入力枠をタッチする。 **2** 検索する文字を入力する。 **3** 入力が完了したら、「入力終了」をタッチする。 該当する文字が選ばれます。検索を続けるときは（下方向）を、前に戻って検索するときは（上方向）を、それぞれタッチします。

項目	設定
「文字サイズ」	表示する文字のサイズを、「大」「中」「小」からタッチして選びます。
「文字コード変換」	ホームページの文字コードが違うため、ホームページが文字化けするときなど、文字コードをタッチして変えてみてください。

「ネットワーク接続」

本機の接続情報を表示します。

「設定」

通常は、お買い上げ時の設定のままでホームページを楽しめますが、ホームページを見るための設定を細かく設定できます。

項目	設定	
「WEBブラウザ設定」	「アニメーションGIF」	ホームページで使われているアニメーションGIFが正常に表示されない場合や、表示したくないときは「しない」を選びます。
	「JavaScriptの実行」	JavaScriptを使ったホームページが正常に表示されない場合や、表示したくないときは「しない」を選びます。
	「Plug-inの実行」	ホームページで使われているPlug-inを表示したくないときは「OFF」を選びます。
	「Cookieの設定」	Cookieは、一部のホームページが作成するファイルで、そのホームページにアクセスしたときの設定などの情報が保存されています。 **Cookieを使うとき(お買い上げ時の設定)** 「許可する」をタッチしてチェックを入れ、「設定」をタッチします。 **Cookieを使いたくないとき** 「許可しない」をタッチしてチェックを入れ、「設定」をタッチします。 **Cookieを消去するとき** 「Cookieの全削除」をタッチして、「設定」をタッチします。
	「起動時に表示するページ」	「WEBブラウザ」を選んだとき最初に表示されるホームページを選べます。 **「ホーム」**:「ホームの設定」(168ページ)で設定してあるページにします。 **「ラストURL」**:前回最後に表示したホームページにします。

次のページにつづく

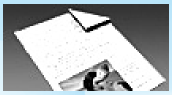
項目	設定	
「WEBブラウザ設定」（つづき）	「ホームの設定」	最初に表示されるホームページを設定します。ただし、「起動時に表示するページ」（167ページ）で、「ラストURL」を設定しているときは設定したホームページは表示されません。 **1**「アドレス」をタッチして、URLを入力する。 **2** 入力が完了したら、「入力終了」をタッチする。 現在表示しているホームページを設定するには、「現在のアドレスを使用」をタッチしてください。 **3**「設定」をタッチして終了します。
「システム設定」	本機全体に関わる設定を変えます。システム設定について詳しくは、30 ～ 32ページをご覧ください。	
「WEBブラウザ初期化」	ホームページの設定をお買い上げ時の設定に戻します。	

「WEBブラウザを終了」

WEBブラウザを閉じます。

ちょっと一言

MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。



ファイルブラウザを使う

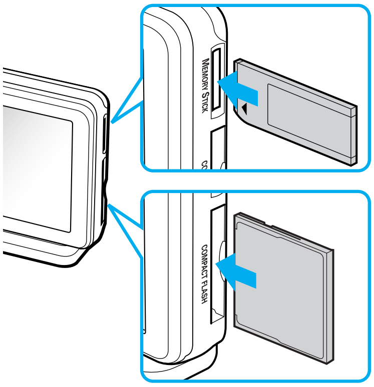
ファイルを表示する

全機種

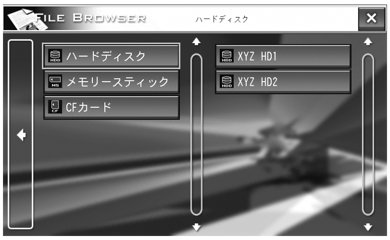
XYZ本体のハードディスクや、“メモリースティック”、“CFカード”に入っているファイルを開いて、再生/表示したり、編集したりできます。

1 **“メモリースティック”または“CFカード”を本体のスロットに挿入する。**

“メモリースティック”は「カチッ」と音がするまで差し込み、“CFカード”は奥まで差し込んでください。
XYZ本体に取り込んであるファイルを見るときは、この手順は不要です。



2 **アプリケーション選択画面で、「ファイルブラウザ」をタッチする。**

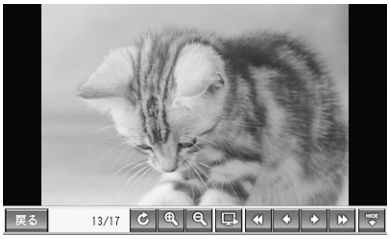


3 **「ハードディスク」または「メモリースティック」、「CFカード」をタッチする。**



4 **ファイルをタッチする。**

アプリケーションが起動します。
たとえば、写真を選んだ場合はフォトビューワーに、MP3ファイルを選んだ場合は、音楽画面に切り替わります。
見たいファイルが表示されていないときは、「XYZ HD1」や「XYZ HD2」、フォルダをタッチして、ハードディスクやフォルダの中身を表示します。



“メモリースティック”または“CFカード”を取り出すには

“メモリースティック”を軽く1回押し、指を離してから抜いてください。
“CFカード”は「CFカードを取りはずす」(172ページ)をタッチしてから抜いてください。この操作を行わないと、XYZ本体が再起動する場合があります。

ご注意

- “メモリースティック”や“CFカード”はすばやく抜き差ししないで、正しい向きでゆっくり差し込んでください。
- ファイル名が256バイト以上の場合、表示できません。
- 「#(半角)」「－」「～」や特殊記号などが含まれたファイルは、ファイルブラウザで文字化けしたり、開けなかったりする場合があります。
  例：「‖」「¢」「£」「¥」「¬」

ファイルブラウザ画面各部のはたらき



1 **階層情報表示**
ファイルのあるフォルダやメディアのパスを確認できます。
例：ハードディスク/XYZ HD1/MapData

2 ✕
ファイルブラウザ画面を閉じて、アプリケーション選択画面を表示します。

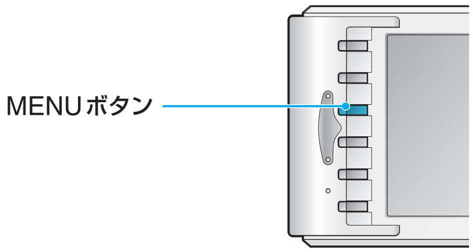
3 **データの種類判別マーク**
以下のマークは、ファイル/フォルダ/メディアの種類を表示します。

- **ハードディスク**
- **"メモリースティック"**
- **"CFカード"**
- **汎用フォルダ**
- **汎用ファイル**
- **音楽ファイル**
- **ビデオファイル**
- **写真ファイル**
- **WEBファイル**
- **テキストファイル**
- **PDF**

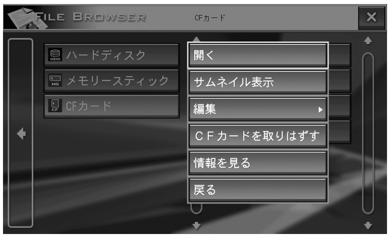
ちょっと一言
ファイルをタッチすると、対応したアプリケーションが起動します。

ファイルブラウザを使うときの便利な機能 全機種

画面に表示されるメニューで、ファイルブラウザを使うときに便利な機能を設定できます。



1 MENUボタンを押してメニューを表示する。



2 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

MENUボタンを押すときの画面によって、メニュー項目は異なります。調整/表示できない項目は表示されません。各項目については以下のページをご覧ください。

「開く」: 173ページ
「サムネイル表示」: 173ページ
「編集」: 173ページ
「CFカードを取りはずす」: 174ページ
「情報を見る」: 174ページ

「開く」

選んだファイルを再生/表示します。

「サムネイル表示」

画像を並べて一覧表示します。

「編集」

項目	設定
「コピー」	選んだファイルをコピーします。 **1** コピーしたいファイルをタッチする。 チェックボックスにチェックが入っているのを確認して、「OK」をタッチする。 解除するにはもう一度タッチして、チェックをはずします。 **2** コピー先をタッチして、「OK」をタッチする。 **3** 確認画面が表示されるので、「はい」をタッチする。 **ご注意** • MP3ファイルをXYZ本体で再生するには、ハードディスクの「XYZ HD2」の中の「ファイル」にコピーしてください。 • ハードディスクのMP3ファイルを"メモリースティック"または"CFカード"にコピーまたは移動することはできません。
「移動」	選んだファイルを移動します。 **1** 移動したいファイルをタッチする。 チェックボックスにチェックが入っているのを確認して、「OK」をタッチする。 解除するにはもう一度タッチして、チェックをはずします。 **2** 移動先をタッチして、「OK」をタッチする。 **3** 確認画面が表示されるので、「はい」をタッチする。
「削除」	選んだファイルを削除します。 **1** 削除したいファイルをタッチする。 チェックボックスにチェックが入っているのを確認して、「OK」をタッチする。 解除するにはもう一度タッチして、チェックをはずします。 **2** 確認画面が表示されるので、「はい」をタッチする。 **ご注意** 「XYZ HD1」は読み取り専用です。
「名前の変更」	名前を変更するファイルを選び、ファイル名を変更します。 文字入力のしかたについて詳しくは、27ページをご覧ください。
「フォルダ新規作成」	フォルダを作成して、フォルダ名を入力します。 文字入力のしかたについて詳しくは、27ページをご覧ください。
「フォーマット」	"メモリースティック"、"CFカード"をフォーマットします。 フォーマット中に"メモリースティック"や"CFカード"を抜くとメディアが壊れることがあります。

次のページにつづく

「CFカードを取りはずす」

“CFカード” を取りはずすときは、必ず「CFカードを取りはずす」をタッチしてから取りはずしてください。「CFカードを取りはずす」をタッチせずに取りはずすと、データが壊れることがあります。
“CF通信カード” など「CFカードを取りはずす」がグレー表示され選べないときは、この操作は不要です。

「情報を見る」—プロパティ

ファイルやフォルダ、メディア情報を表示します。

ちょっと一言
MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。

PDFを見る

PDFを見る

全機種

ホームページのリンクやメール添付されているPDFを、見ることができます。PDFは、インターネット上で扱われる文書の標準フォーマットの1つです。PDFについて詳しくは、215ページをご覧ください。

ホームページから見る

1 **ホームページを表示する。**

ホームページの表示のしかたについて詳しくは、「ホームページを見る」（160ページ）をご覧ください。



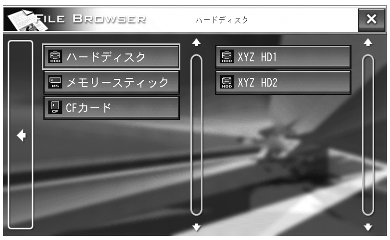
2 **PDFのリンクをタッチする。**



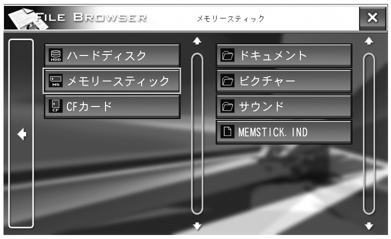
PDFが表示されます。

ファイルブラウザから見る

1 **アプリケーション選択画面で、「ファイルブラウザ」をタッチする。**



2 **「ハードディスク」または「メモリースティック」、「CFカード」をタッチする。**

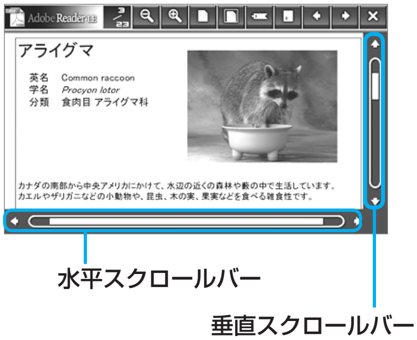


3 **表示するPDFをタッチする。**



画面をスクロールするには

スクロールバーを上/下、左/右になぞり、スクロール（移動）させます。



ご注意

- 表示できないPDFがあります。
- 印刷用などに作成された解像度の高いPDFを表示すると、動作が遅くなる場合があります。

ちょっと一言

- PDFの中でURLがリンクしている場合、タッチするとホームページを表示できます。
- メール添付されているPDFも見ることができます。

PDF画面各部のはたらき



1 **ページ数**
ページ数を表示します。

2 /
PDFを縮小/拡大して表示します。

3
実際の大きさで表示します。

4
表示領域の幅に合わせて表示します。

5
しおりを表示します。

6
PDFを縮小して一覧表示します。

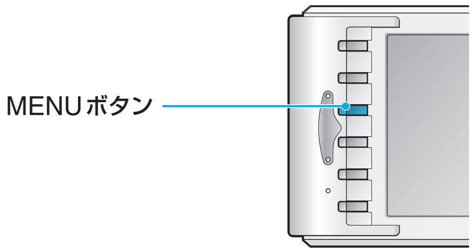
7 /
直前/直後に表示した画面を表示します。

8
PDFを閉じます。

PDFを見るときの便利な機能

全機種

画面に表示されるメニューで、PDFを見るときに便利な機能を設定できます。



1 MENUボタンを押して、メニューを表示する。



2 メニュー項目をタッチして、調整/表示する。

MENUボタンを押すときの画面によって、メニュー項目は異なります。調整/表示できない項目は表示されません。各項目については以下のページをご覧ください。

「操作」: 179ページ
「表示」: 179ページ
「移動」: 179ページ
「設定」: 180ページ
「CFカードを取りはずす」: 180ページ
「Adobe Reader LEを終了」: 180ページ

「操作」

PDFを閲覧しているときの表示のしかたを設定できます。
すでに選んだ表示画面になっているときは、表示は変わりません。

項目	設定	
「ファイル」	「開く」	選んだPDFを表示します。
	「保存」	選んだPDFを保存します。
「ズーム」	「縮小」	縮小して表示します。
	「拡大」	拡大して表示します。
「実際の大きさ」	実際の大きさで表示します。	
「幅に合わせる」	表示領域に合わせて表示します。	
「全体表示」	ページ全体を表示します。	
「回転」	「右90度」	時計回りに90度回転します。
	「左90度」	反時計回りに90度回転します。

「表示」

項目	設定
「PDF画面」	PDFを表示します。
「しおり」	PDFのしおりを表示します。表示したい内容のしおりをタッチすると、その内容を表示します。
「サムネイル」	PDFを縮小して一覧表示します。

「移動」

項目	設定
「最初のページ」	PDF内の最初のページを表示します。
「最後のページ」	PDF内の最後のページを表示します。
「ページ指定」	ページ数を入力して、そのページを表示します。
「前の画面」	直前に表示していた画面に戻ります。
「次の画面」	直後に表示していた画面に戻ります。

次のページにつづく

「設定」

項目	設定	
「スクロールバー（水平）」	「表示」	水平（横）方向のスクロールバーを表示します。
	「非表示」	水平（横）方向のスクロールバーを非表示にします。
「スクロールバー（垂直）」	「表示」	垂直（縦）方向のスクロールバーを表示します。
	「非表示」	垂直（縦）方向のスクロールバーを非表示にします。

「CFカードを取りはずす」

“CFカード”を取りはずすときは、必ず「CFカードを取りはずす」をタッチしてから取りはずしてください。「CFカードを取りはずす」をタッチせずに取りはずすと、データが壊れることがあります。
“CF通信カード”など「CFカードを取りはずす」がグレー表示され選べないときは、この操作は不要です。

「Adobe Reader LEを終了」

PDFを閉じます。

ちょっと一言
MENUボタンを押すときの画面によって、表示されるメニュー項目は異なります。
ここでは表示されるすべてのメニュー項目を記載しています。

その他

主な仕様

XYZ本体

使用温度範囲	－10℃～＋55℃
電源	DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
消費電流	約2.5 A
接続端子	ステーション接続端子（拡張ステーションを除く）
スピーカー	モノラルスピーカー
メモリースティックスロット	Pro対応
CF（コンパクトフラッシュ）カードスロット	Type Ⅰ / Type Ⅱ対応

[ハードディスク部]

容量	30GB

[モニター部]

種類	ワイド液晶カラーモニター
表示方式	透過型TN液晶パネル
駆動方式	a-Si　TFTアクティブマトリックス方式
画面の大きさ	144.00×78.24mm、163.90mm（幅×高さ、対角線径）
画素数	1,152,000画素

インダッシュステーション（NV-XYZ88）

使用温度範囲	－10℃～＋55℃
電源	DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
消費電流	約0.5 A
接続端子	GPSアンテナ端子 拡張ステーション接続端子 XYZ接続端子 リモコン出力端子 音声出力端子 アンテナ入力端子 アンテナ出力端子

カーステーション（NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33）

使用温度範囲	－10℃～＋55℃
電源	DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
消費電流	約0.5 A
FMトランスミッター送信範囲	2.4m ～ 3.0m
FMトランスミッター周波数範囲	76.5MHz ～ 79.5MHz
接続端子	GPSアンテナ端子 拡張ステーション接続端子 XYZ接続端子

拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77）

使用温度範囲	－10℃～＋55℃
電源	DC12Vカーバッテリー（マイナスアース）
消費電流	約1 A
受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	1CH ～ 12CH（VHF） 13CH ～ 62CH（UHF）
接続端子	I/O（カーステーション）端子（インダッシュステーション接続用） TVアンテナ接続端子 FMアンテナ接続端子 ビーコンユニット端子
入力端子	映像入力（1系統）：RCAピンジャック 音声入力（1系統）：RCAピンジャック カメラ入力（1系統）：RCAピンジャック
出力端子	映像出力（1系統）：RCAピンジャック 音声出力（2系統）：RCAピンジャック

GPSアンテナ

使用温度範囲	－30℃～＋75℃
防水方式	防噴流仕様
マイクロストリップ平面アンテナ	

外形寸法（幅×高さ×奥行き）

XYZ本体	203.4×104.0×48.8mm（突起部含まず）

インダッシュステーション（NV-XYZ88）
約178.0×50.0×137.0mm（突起部含まず）
カーステーション（NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33）
176.0×89.2×58.1mm（突起部含まず）

GPSアンテナ	34.0×38.0×13.2mm
リモコン	43.0×31.2×136.0mm

拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77）
190.6×27.8×80.8mm（突起部含まず）
フィルムアンテナ 324.0×85.5mm
TV/FMアンテナアンプユニット
53.7×54.8×13.0mm（突起部含まず）、ケーブル長：3.0m
アンテナ入力ケーブル
4.4m

質量

XYZ本体	約720g
インダッシュステーション（NV-XYZ88）	約1,300g
カーステーション（NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33）	約193g
GPSアンテナ	約100g
リモコン	約89g
拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77）	約424g
フィルムアンテナ	約8g
TV/FMアンテナアンプユニット	約336g
アンテナ入力ケーブル	約145g

付属品

全機種共通	GPSアンテナ キャリングケース ナビ用リカバリDVD-ROM（2枚）（NV-XYZ33のみ1枚） 取り付け/接続部品（一式）** 「はじめにお読みください」 「取り付けと接続」 「取扱説明書」（本書） 「XYZを使ってみよう」 ソフトウェア使用許諾契約書 製品カスタマー登録のお願い ソニーご相談窓口のご案内 保証書
NV-XYZ88	ホームステーション* インダッシュステーション リモコン 拡張ステーション フィルムアンテナ（一式） 「ホームステーション取扱説明書」
NV-XYZ77	ホームステーション* カーステーション リモコン 拡張ステーション フィルムアンテナ（一式） 「ホームステーション取扱説明書」
NV-XYZ55	カーステーション リモコン
NV-XYZ33	ホームステーション* カーステーション 「ホームステーション取扱説明書」

* 詳細は「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。
** 付属品詳細は「取り付けと接続」をご覧ください。

別売り品

インダッシュステーション NVA-DS1
拡張ステーション NVA-TS1/TS2
ホームステーション NVA-HS1
カーステーション NVA-CS1
リアステーション NVA-RS1
VICS対応ビーコンユニット
NVA-VB4/VB5

リモコン	RM-X700
バックカメラ	XA-700C
DVDプレーヤー	MV-101
接続コード	ステレオミニプラグ：ピンプラグ（×2）RK-G129（1.5m）、RK-G329（3.0m）など

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

使用上のご注意とお手入れ

重要なご注意（10ページ）もあわせてお読みください。

本機の取り扱い

「自車位置学習データ」などのメモリーについて

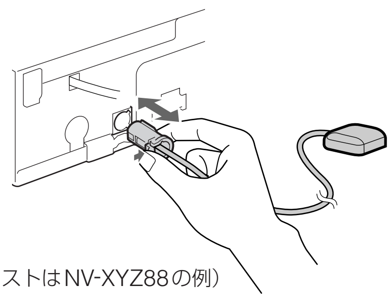
車両のバッテリーをはずしたり、電源コネクターをはずしたりした場合、「自車位置学習データ」など一部のデータは内蔵リチウム電池で保持されます。しかし、長期間放置すると、リチウム電池が消耗し、データを保持できなくなります。内蔵のリチウム電池の交換については、お買い上げ店やサービス窓口へご相談ください。

XYZ本体を取りはずす際は

必ずイグニッションスイッチをOFFにするかキーを抜いてからXYZ本体を取りはずしてください。車種によっては、XYZ本体をインダッシュステーションまたはカーステーションから取りはずした状態でイグニッションスイッチをOFFにすると、カーステレオなどの周辺機器の電源が数秒切れないことがあります。使ううえで支障はありませんが、XYZ本体をインダッシュステーションから取りはずしている状態で、電源のシガープラグを抜くことによって回避できます。

GPSアンテナについて

- GPSアンテナを取りはずすときに、アンテナコードを引っ張らないでください。



（イラストはNV-XYZ88の例）

- 車外に付ける時はドアにコードを挟まないようにご注意ください。
- 携帯電話などの強い電波を出す機器はGPSアンテナの近くに置かないでください。

液晶画面の輝点・滅点について

画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れることがあります。このような現象を輝点といいます。液晶画面の性質上発生するものです。本機の画面は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。いずれの場合も使ううえで支障はありません。

結露について

結露とはXYZ本体を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴が付くことで、そのまま使うと故障の原因となります。このような場合はしばらく放置しておくと結露が取り除かれ、正常に戻ります。
もし、何時間経過しても正常に動作しない場合は、お買い上げ店やサービス窓口へご相談ください。

無線や携帯電話、レーダー探知機などについて

無線機や携帯電話、レーダー探知機など強い電波を出す機器はXYZ本体の近くや GPSアンテナの近くで使うと以下のようなことが起きることがあります。強い電波を出す機器はXYZ本体から遠ざけるか、使わないでください。

- 画像が乱れることがあります。
- 自車位置を正しく表示できないことがあります。
- XYZ本体が正しく動作しないことがあります。

電波障害自主規制について（NV-XYZ88/XYZ77/XYZ33のみ）

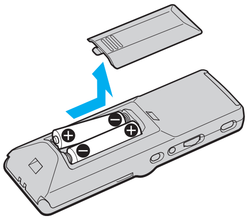
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
「取扱説明書」に従って正しい取り扱いをしてください。

テレビ/AUX画面を見るには（拡張ステーション接続時*）
テレビ/AUX画面は、車を止めて、パーキングブレーキを引いているときのみ映ります。
パーキングブレーキを戻すと、メッセージ画面が表示されたあと、自動的にテレビ/AUX画面が消え、音声のみとなります。

* NV-XYZ88/XYZ77のみ

リモコンについて

電池の入れかた
単4形乾電池2本（付属)を、（+）と（−）を正しく入れる。



電池の交換時期
ふつうの使いかたで約6か月もちますが、カーソルボタンでスクロール操作をひんぱんに行うと、電池寿命は短くなります。電池が消耗するとボタンを押しても操作できないことがあります。この場合は電池を交換し、動作を確認してください。
リモコンのボタンを押して、LEDの点灯が弱くなったときは、電池寿命です。

リモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上など直射日光の当たる場所に、リモコンを取り付けたり放置したりしないでください。リモコンが熱により変形するおそれがあります。（特に夏季の直射日光の当たるダッシュボードはかなりの高温になるためご注意ください。）
- 直射日光の当たる場所に車を駐車するときは、リモコンを取り付け場所からはずし、グローブボックスの中など、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。

“メモリースティック” について

“メモリースティック” とは？
“メモリースティック” は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック” 対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にお使いいただけます。
本機で対応している “メモリースティック” は、“Memory Stick”（“メモリースティック”）、“Memory Stick DUO”、“Memory Stick PRO”、“Memory Stick PRO DUO” です。

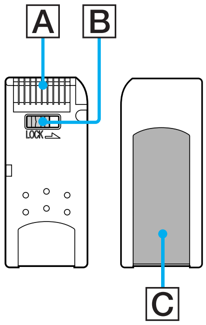
“メモリースティック” 使用上のご注意

- “メモリースティック” は、正しい挿入方向をご確認の上ご使用下さい。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- “メモリースティックデュオ” または “メモリースティックプロデュオ” をメモリースティックデュオアダプターに装着していない状態で、本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中や書き込み中に “メモリースティック” を抜いたり、電源を切ったりした場合。
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合。

フォーマット（初期化）についてのご注意
“メモリースティック” は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。フォーマット（初期化）が必要な場合は必ず、「フォーマット」（173ページ）の方法でフォーマットを行ってください。Windowsエクスプローラで初期化された “メモリースティック” を入れると、FORMAT ERRORになり、本機では使えません。

次のページにつづく

"メモリースティック" の取り扱いについて



- 端子部には手や金属で触れないでください。（A）
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。（B）
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。（C）
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に、はみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所での使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店やソニーサービス窓口にご相談ください。（"メモリースティック" がXYZ本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、"メモリースティック" を入れたままご相談されることをお勧めします。）

"CFカード" について

本機で使える "CFカード" について

- 本機で使えるカードの種類については、下記ホームページの接続確認機種リストで確認してください。
  URL: http://www.sony.co.jp/XYZ/
- 本機のCFカードスロットは、コンパクトフラッシュ型カード専用です。その他の通信カードやメモリーカードのご使用は故障の原因となりますのでおやめください。特にCFカードスロットの内部に入る部分が特殊な形状の "CFカード" を挿入すると、CF カードスロットの故障の主な原因になりますのでおやめください。
- XYZ本体の動作が不安定になった場合は、電源を切ってから "CFカード" を取りはずし、もう一度 "CFカード" を入れてください。

"CF通信カード" の対応について

お使いの "CF通信カード" およびプロバイダによっては、ご利用になれないデータ通信サービスがありますのでご注意ください。詳しくはお使いの "CF通信カード" の取扱説明書をご覧になるか、プロバイダへお問い合わせください。

ご注意

- "CFカード" を入れるときは、間違った向きや角度で無理な力を加えないでください。本機および "CFカード" が故障するおそれがあります。
- "CFカード" へのファイル/データの書き込み中/読み出し中や通信中に、"CFカード" を取り出した場合、記録されたファイル/データが消えたり壊れたりすることがあります。また、本機および "CFカード" が故障する原因となりますので、"CFカード" を取り出すときは、電源を切ってから取り出してください。
- "CFカード" を取り出すときは、間違った向きや角度で無理な力を加えないでください。本機および "CFカード" が故障する原因となります。

お手入れと廃棄について

- 本機のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。お手入れは以下の点に注意して行ってください。
  - 画面の汚れを拭きとるときは、市販のクリーニングクロスで軽く拭きとってください。
  - XYZ本体やインダッシュステーションまたはカーステーションなどは、乾いた柔らかい布、または水を硬く絞った布で軽く拭いてください。
  - アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
  - 液体状の洗剤などは使わないでください。XYZ本体の内部に入って故障の原因となります。

- 化学ぞうきんを使うと、色落ちや変色することがあります。
- 殺虫剤やヘアスプレーのような揮発性のものをかけたり、ゴム、ビニール製品、防虫剤などに長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

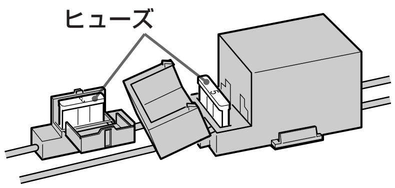
- 廃棄するときは以下の点に注意して行ってください。
  - 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にXYZ本体を捨てないでください。
  - XYZ本体の蛍光管の中には水銀が含まれているため、地方自治体の条例または規則に従ってください。

個人情報について

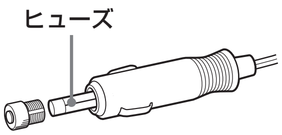
- 本製品には、お客様の個人情報が保存されることがありますので、盗難などには充分ご注意ください。
- プライバシー保護のため、本製品を譲渡、処分などする場合は、個人情報の取り扱い、管理（消去など）を必ずお客様の責任において行ってください。

ヒューズの交換について

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。



NV-XYZ88/XYZ77



NV-XYZ55/XYZ33

商標と著作権について

- SonicStage、OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"（"メモリースティック"）、"Memory Stick DUO"、"Memory Stick PRO"、"Memory Stick PRO DUO" および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標です。
- "POBox" および PoBox はソニー株式会社の登録商標です。
- CompactFlash™は米国SanDisk社の商標です。
- PostPet™ © Sony Communication Network Corporation
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL（「original SSLeay」と称するライブラリーを含む）」及び「NetBSD」,「D3DES」,「libjpeg」、「libpng」、「libtiff」、「zlib」、「Expat」、「Macromedia Flash」、「Mobile Wnn」、「DB2 Everyplace」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社は以下の内容をお客様に通知する義務があります。下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<OpenSSL>

次のページにつづく

商標と著作権について（つづき）

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.(http://www.openssl.org/)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” an “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permissions of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgement:

   This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=Original SSLeay License =

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”

   The word “cryptographic” can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

<NetBSD>

Copyright © 1986,1993-1994,The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

<D3DES>
Copyright © 1988,1989,1990,1991,1992 by Richard Outerbridge.
(GEnie : OUTER ; CIS : [71755,204]) Graven Imagery, 1992.

OBLIGATORY IMPORTANT DISCLAIMERS, WARNINGS AND RESTRICTIONS
[1] This software is provided "as is" without warranty of fitness for use or
suitability for any purpose, express or implied. Use at your own risk or not
at all. It does, however, "do" DES.

[2] This software (comprised of the files listed above) is "freeware". It may
be freely used and distributed (but see [3], below). The copyright in this
software has not been abandoned, and is hereby asserted.

[3] ENCRYPTION SOFTWARE MAY ONLY BE EXPORTED FROM NORTH AMERICA UNDER THE AUTHORITY OF A VALID EXPORT LICENSE OR PERMIT. CONSULT THE APPROPRIATE BRANCH(ES) OF YOUR FEDERAL GOVERNMENT FOR MORE INFORMATION.

<libjpeg>
“this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group”

<libpng>
- Copyright © 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson
- Copyright © 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson
- Copyright © 1996, 1997 Andreas Dilger
- Copyright © 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

<libtiff>
Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its
documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that
(i) the above copyright notices and this permission notice appear in all
copies of the software and related documentation, and (ii) the names of
Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or
publicity relating to the software without the specific, prior written
permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

<zlib>
Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler

<Expat>
- Copyright © 1998,1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
- Copyright © 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a
copy of this software and associated documentation files (the "Software"),
to deal in the Software without restriction, including without limitation
the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense,
and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the
Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

次のページにつづく

商標と著作権について（つづき）

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<Macromedia Flash>

- Contains Macromedia® FlashTM Player technology by Macromedia, Inc., Copyright © 1995-2001 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia, Flash and Macromedia Flash are trademarks or registered trademarks of Macromedia, Inc. in the United States and internationally.

<Mobile Wnn>

- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  "Mobile Wnn V2" © OMRON SOFTWARE, Co., Ltd. 2001-2003 All Rights Reserved.

<DB2 Everyplace>

本製品は、IBMのソフトウェアを含んでいます。IBMソフトウェアは本製品と共にのみご使用いただけます。バンドルされずに切り離してご使用いただくことはできません。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public Licence（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public Licence（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、Webで提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.co.jp/XYZ/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright ©1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software. Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

次のページにつづく

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

次のページにつづく

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.
Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or
modify it under the terms of the GNU General Public License
as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful,
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

次のページにつづく

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.
b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

次のページにつづく

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

次のページにつづく

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public
License along with this library; if not, write to the Free Software
Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

困ったときは

XYZ本体

症状	原因および処置
本機が動作しない。	• 電源コードを正しく取り付けて下さい（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。 • XYZ本体をインダッシュステーションまたはカーステーションにしっかりと取り付けてください。 • POWERボタンを押して、電源を入れてください。
電源が落ちる。 再起動する。	• 各接続がしっかり行われているか確認してください。 • インダッシュステーションまたはカーステーションの端子にほこりなどがついている場合は、筆などで取り除いてください。
リモコン（NV-XYZ88/XYZ77/XYZ55のみ）のボタンを押しても反応しない。	• リモコンの発光部をXYZ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。 • リモコンの乾電池を交換してください。
テレビ、音楽、ビデオなどの音が聞こえない。	• XYZ本体スピーカーからはナビゲーションの音声のみ出力されます。 • ナビゲーション以外の音声は、カーステレオから出力されます。本機とカーステレオが正しく接続されているか確認してください（詳しくは別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。また、音楽/動画音声は、FMトランスミッター（FMモジュレーター）の設定が正しいか確認してください（20ページ）。
操作音が出ない。	• 操作音が出ない設定になっている。操作音（30ページ）の設定を確認してください。
ノイズが出る。 （FMトランスミッターまたはFMモジュレーターを使用している場合のみ）	• 周辺地域のラジオ放送の周波数と重なってその影響を受けていることがあります。違う周波数に再設定して確認してください。 • アンテナなどの配線が正しく接続されているか確認してください。（詳しくは別冊の「取り付けと接続」をご覧ください。） • FMトランスミッター用アンテナ（NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33のみ）や電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。 • FMトランスミッター用アンテナ（NV-XYZ77/XYZ55/ XYZ33のみ）が正しく取り付けられているか確認してください。 • FMトランスミッター用アンテナ（NV-XYZ77/XYZ55/ XYZ33のみ）には指向性があります。設定位置を変更して確認してください。
音が飛ぶ、音が途切れる、音が割れる。	• 本機が正しく固定されていない。

次のページにつづく

症状	原因および処置
“メモリースティック”または“CFカード”の音楽ファイルやビデオファイルを再生中に、写真ファイルを見ていると音が途切れる。	• 再生中のビデオファイル、音楽ファイルまたは写真ファイルがすべて同一の“メモリースティック”または“CFカード”に保存されている。 → 本体のハードディスクに移動してから再生してください。 → “メモリースティック”または“CFカード”内の音楽ファイルやビデオファイル再生中は、再生中の“メモリースティック”または“CFカード”にアクセスしないでください。
電源を入れたが黒画面のまま。 画面上部に「タッチパネル調整」の表示が出ている。	• 本機を初めてお使いになるときは「タッチパネル調整」が必要です。タッチパネルの調整を行ってください。（30ページ）。
テレビやビデオ、DVDなどの動画が表示されず、走行中を示すメッセージや「安全のために…」の表示が出る。 ルート設定や各種設定など、詳細な設定が行えず、走行中を示すメッセージや「安全のために…」の表示が出る。	• 別冊「取り付けと接続」に従い、パーキングブレーキスイッチコードが正しく接続されているか確認する。 • パーキングブレーキスイッチコードに接続した圧着式コネクターが確実に固定されているか確認する。 本機はパーキングブレーキスイッチコードの接続により走行中か停止中かを判断しています。正しく接続しないと、常時走行中と認識してしまい、安全のためテレビ、ビデオなどの動画表示や各種設定など詳細な設定が行えません。
突然デモンストレーション画面になってしまう。	• 「デモンストレーション」の設定で「オートスタート設定」が「ON」または「オートOFF」になっている。 →アプリケーション選択画面、または、本体のMENUボタンを押して「画面設定」を選び、「デモンストレーション」を「OFF」にする（31ページ）。
“メモリースティック”または“CFカード”が読めない。	• “メモリースティック”または“CFカード”の端子部が汚れている。“メモリースティック”または“CFカード”を数回抜き差ししてください。 • “メモリースティック”または“CFカード”のスロットに細かいほこりや異物などがないか確認してください。 • 挿入する方向を確認してください。 • ファイルをパソコンなどにコピーしたうえで、“メモリースティック”または“CFカード”をフォーマットしてください。 • XYZ本体の電源を切ってから、電源を入れ直してください。
“メモリースティック”または“CFカード”にファイルをコピーまたは移動できない。	• “メモリースティック”が書き込み禁止になっている。“メモリースティック”背面の誤消去防止スイッチの「LOCK」を解除して、書き込み可能にしてください。 • コピーまたは移動先の“メモリースティック”または“CFカード”内のファイルが読み取り専用の設定になっている。読み取り専用になっているファイルを書き込み可能な状態に設定し直してください。
データを読み込めない、それに準じたエラーメッセージが表示される。	• 熱や振動により一時的にデータが読み込めません。再度実行してください。
データを更新できない、それに準じたエラーメッセージが表示される。	• ハードディスクの空き容量が不足しています。データを削除またはパソコンに転送するなど、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

ナビゲーション

症状	原因および処置
音声案内が聞こえない。	• 音声案内を設定してください(57ページ)。 • XYZ本体のVOLボタン、またはリモコンのVOLUMEボタンを押して、音量を上げてください。
現在地ボタンを押しても自車の現在地を表示しない。	• 障害物の影響でGPS衛星の電波を受信できない。見晴らしの良い場所に移動してください。 • GPSアンテナの取り付け場所が悪い。なるべく車のボディによって電波をさえぎらない場所に、水平にアンテナを取り付けてください(詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください)。 • GPSアンテナケーブルのコネクターをインダッシュステーションまたはカーステーションにしっかり接続してください(詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください)。
走行中に詳細地図をスクロールできない。 走行中に細街路が表示されない。 走行中にスクロールすると、縮尺が変わってしまう。	• 走行中は、縮尺250m ～ 50mの地図では、細街路(主に道幅が3.0m以上5.5m未満の道路)は表示されません。 • 走行中は、縮尺50m ～ 10mの市街地図でのスクロール操作はできません。スクロール操作した場合は縮尺が市街地図ではない50mに自動変更されます。
自車位置がずれる。	• GPS衛星からの電波の誤差が大きい(GPS衛星からの電波は、最悪時で数百メートルの誤差があります)。拡張ステーションを接続していない場合、自車が停止中であっても、現在位置や方向がずれてしまうことがあります。 • 自律航法の学習が終了していない。取り付け直後は学習が完了していないため、誤差が大きくなることがあります。しばらく走行すると正しい測位をします。 • 自律航法の学習結果に誤差が発生している。リセットボタンを押して、もう一度、学習を行ってください(詳しくは、34ページをご覧ください)。 • 取り付けが正しく行われていないため自律航法/マップマッチングの誤差が生じている。しばらく走行すると正しい測位をします。自車位置を正しく表示するには、本機を正しく取り付けることが重要です。別冊の「取り付けと接続」に従い、正しく取り付けられているか確認してください。正しく取り付けられていないと、自車位置がずれることがあります。 • GPSアンテナはGPS衛星からの電波を遮る障害物のない位置に設置して、GPSアンテナの受信状態を確認してください。 **GPSの受信状況を確認するには**:APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「GPS受信状況を確認する」(80ページ) • 車速センサーコードやGPSアンテナが正しく確実に接続されているか確認してください。 **接続状態を確認するには**:APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「接続情報を確認する」(79ページ) • 車速センサーコードを接続している場合は、必ずバックランプの電源コードへの接続も行ってください。接続しないと、自車位置がバック時に前進表示され、ずれてしまいます。

次のページにつづく

症状	原因および処置
自車位置がずれる。	• 拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77のみに付属）は必ず水平５度以内にしっかり取り付けてください。 • GPSアンテナは、XYZ本体やビーコンユニット、レーダー探知機、携帯電話から離して設置してください。近づけて設置すると、GPSの受信状態が不安定になることがあります。 • 拡張ステーション（NV-XYZ88/XYZ77のみに付属）ごと別の車に載せ替えたり、タイヤを交換した場合には、自律航法の学習値を初期化してください。 **初期化するには**：APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「車種を設定する」→「自律航法の学習値を初期化」（80ページ）
GPSを受信しない。 （自車位置が動かない。）	GPSアンテナが正しく接続されているか確認してください（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。 **GPS受信状態を確認するには**：APPLIボタン→「ナビゲーション」→MENUボタン→「ナビの設定をする」→「GPS受信状況を確認する」 • XYZ本体のリセットボタンを押してください。 • GPSのアンテナ端子が確実に接続されているか確認してください。 • 室内にGPSアンテナを取り付けている場合 - 必ず付属のGPSアンテナ取付板をご使用ください。 - 車種により、GPS衛星からの電波を通さないガラスを使用している場合がある。GPSアンテナを車外に取り付けてください。 - ガラスの電熱線やワイパーなどで、電波が遮られている場合がある。GPSアンテナの取り付け位置を変えてみてください。 - GPSアンテナを車外に出して、受信できるか確認してください。GPSアンテナを車外に出して受信できた場合は、GPSアンテナの設置場所を変えてみてください。 • 地下駐車場やビルの谷間などでは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できない。見通し良い場所に移動して再確認してください。
ルートが表示されない。	• ルートが設定されていない。ルート探索を行ってください（45ページ）。
時計がずれている。	• GPS衛星の電波を受信させてください。自動補正されます。
モーションストリートガイドが表示されない。	• 音楽の再生中は、機器の処理負荷が高く、データの準備が間に合わないことがあります。音楽再生を停止して使ってください。 • 地図データが入っているか確認してください。東京都と政令指定都市の主要部が収録されています。
検索できない場所がある。	• 検索対象地域の検索データが削除されている可能性があります。付属（NV-XYZ55は別売り）のアプリケーション（XYZマップマネージャー）を使って、その都道府県の検索データを消去していないか確認ください。消去されている場合はXYZマップマネージャーを使って付属の地図ディスクから、検索データを追加してください。追加のしかたについて詳しくは、ホームステーション付属の「ホームステーション取扱説明書」をご覧ください。 • NV-XYZ33は、一部の検索データが収録されていません。別売りのバージョンアップ地図ディスクSDRM-XYZ2またはインターネットから地図データを購入し、XYZマップマネージャーを使ってXYZ本体へ転送してください。

テレビを見る

NV-XYZ55/XYZ33の場合は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

症状	原因および処置
テレビのチャンネルが1つも映らない。	• XYZ本体の電源を入れてください。 • アンテナ接続ケーブルを拡張ステーションにしっかり接続してください（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。 • オートプリセットし直してください（90ページ）。 • パーキングへの接続（セーフティの配線）をしないと映像が表示されません。正しく配線をしてください。（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。
特定のチャンネルだけが映らない。	• オートプリセットし直してください（90ページ）。
はん点や点模様が走る。	• アンテナ類は、なるべくノイズ源（エンジン、携帯電話など）から離してください。
画像がぶれたり、二重三重になる。	• アンテナ線がはずれかかっていたり、山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込んだりした場合は、画像がぶれたり、二重三重になったりします。 • アンテナ接続ケーブルをしっかり接続してください（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。
雪が降るような画面、映りが薄い画面になる。	• フィルムアンテナがはがれたり、はずれたりしていないか確認してください（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。 • アンテナアンプ部に電源コードが正しく接続されているか確認してください。
縞状のノイズが多い/雑音が多い。	• フィルムアンテナがはがれたり、はずれたりしていないか確認してください。 • アンテナ接続ケーブルは、他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。

外部機器/バックカメラを使う

NV-XYZ55/XYZ33の場合は別売りの拡張ステーションNVA-TS1/TS2が必要です。

症状	原因および処置
接続機器の画像や音が出ない。	• 接続コードが正しく接続されているか確認してください。 • パーキングへの接続（セーフティの配線）をしないと映像が表示されません。正しく配線をしてください。（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。

次のページにつづく

音楽を聞く

症状	原因および処置
ノイズが出る。 （FMトランスミッター（FMモジュレーター）を使用している場合のみ）	• 周辺地域のラジオ放送の周波数と重なってその影響を受けていることがあります。違う周波数に再設定して確認してください。 • アンテナなどの配線が正しく接続されているか確認してください。 • FMトランスミッター用アンテナ（NV-XYZ77/XYZ55/XYZ33のみ）や電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。 • FMトランスミッター用アンテナ（NV-XYZ77/XYZ55/ XYZ33のみ）が正しく取り付けられているか確認してください。 • FMトランスミッター用アンテナ（NV-XYZ77/XYZ55/ XYZ33のみ）には指向性があります。設定位置を変更して確認してください。
音楽ファイルが再生できない。	• あらかじめホームステーション（NV-XYZ55は別売り）を使って、パソコンからXYZ本体へ音楽ファイルを転送しておく必要があります。 • 対応しているファイル形式を確認してください（102ページ）。
MP3ファイルが再生できない。	• 本機で再生できるMP3ファイルは、対応圧縮方式がMPEG1 Audio Layer3でサンプリング周波数が32,44.1,48kHz、対応ビットレートが96/112/128/160/192/224/256kbpsのみです。 • あらかじめホームステーション（NV-XYZ55は別売り）を使って、パソコンからXYZ本体へMP3ファイルを転送しておくか、MP3ファイルの入った“メモリースティック”または“CFカード”を挿入しておく必要があります。

ビデオを見る

症状	原因および処置
ビデオファイルが再生できない。	• あらかじめホームステーション（NV-XYZ55は別売り）を使って、パソコンからXYZ本体へビデオファイルを転送しておくか、ビデオファイルの入った“メモリースティック”または“CFカード”を挿入しておく必要があります。 • パーキングへの接続（セーフティの配線）をしないと映像が表示されません。正しく配線をしてください。（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。
“メモリースティック”からビデオファイルを再生すると、コマ落ちしたり、音が途切れたりする。	• ビデオファイルのビットレートが高いため、データ転送速度が不足しています。XYZ本体に転送してから再生するか、“メモリースティック”に保存するビデオファイルのビットレートを低く設定してください。
「ビデオを見る」のリスト画面でサムネイル表示されない。 “メモリースティック”、“CFカード”などに入っているビデオファイルで以下の操作をしてもサムネイル表示されない。 －ファイルブラウザを起動する －外部メディアを選択する － MPEGファイルが入っている“メモリースティック”を選択する	以下のビデオファイルでは、サムネイルが表示できません。 － GigaPocket 4.x（4.0、4.1、4.3、4.5、4.6）で作成したビデオカプセル － MPEG-4ファイル（拡張子.MP4） －“メモリースティック”、“CFカード”などに入っているビデオファイル

写真を見る

症状	原因および処置
写真ファイルが表示できない。	• 写真ファイルが入った"メモリースティック"または"CFカード"を本機に挿入するか、あらかじめホームステーションを使って、パソコンからXYZ本体へ写真ファイルを転送しておく必要があります。 • 以下の条件の場合、写真ファイルは表示できません。 - 写真のファイルサイズ*が小さすぎる場合 - 写真のファイルサイズ*が大きすぎる場合 - 写真が極端に長い長方形の場合 - 対応していないフォーマットである場合 * 対応しているファイルサイズは16×16～4,064×2,704（1,000万画素クラス）ピクセルまでです。
誤って消してしまった。	• 削除を行うといったんごみ箱に入ります。ごみ箱の中で削除した写真ファイルは元に戻せません。
フォトビューワーが起動しない。起動に時間がかかる。	• 付属のアプリケーション（XYZデスクトップ）を使って、多数の画像を削除すると、フォトビューワーの起動に時間がかかる場合があります。そのままの状態でしばらくお待ちください。
"メモリースティック"または"CFカード"に写真ファイルを取り込んだら、写真ファイルが壊れた。	• ファイルを取り込んでいる時に、アプリケーションの切り替えなどの操作を行うと、ファイルが壊れる場合があります。取り込みが完了するまでアプリケーションの切り替えなどの操作は行わないでください。

メールを使う

症状	原因および処置
メールの送受信ができない。	• メールの設定が正しいか、プロバイダからの情報を確認してください。 • インターネットに接続できていない。ネットワークの設定が正しいか確認してください（134～142ページ）。
ユーザー認証のパスワードを忘れてしまった。	• ご利用のプロバイダへお問い合わせください。
受信メールの文字が正しく表示されない。	• 受信したメールに特殊な文字が使われていると正しく表示できません。またHTML形式など特殊なメールも正しく表示できません。差出人に確認してください。
メールに添付された画像が表示されない。	• 本機が対応していない形式の画像ファイルは表示できません。

次のページにつづく

ホームページを見る

症状	原因および処置
インターネットに接続できない。	• 本機に対応していない“CF通信カード”を挿入している。対応している“CF通信カード”は、下記ホームページで確認してください。 URL: http://www.sony.co.jp/XYZ/ **ダイヤルアップ接続の場合** • 接続先の電話番号が間違っている。接続先の電話番号が正しく入力されているか確認してください。 • お使いの通信サービスエリア内の電波の強い場所から接続してください。 • 接続ID、接続パスワードが正しいか確認してください。 **無線LAN接続の場合** • プロバイダの接続項目が間違っている。DNSサーバーアドレスが正しく入力されているか確認してください。 以上のことを確認しても接続できなかった場合、プロバイダから送られてきた資料に従って設定しているか確認してください。 設定する項目の内容がよくわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。
ホームページの一部が表示されない。	• 無線LAN通信が途切れています。圏外表示の出ない場所へ移動するか、無線LANのアクセスポイントの設定を確認してください（137ページ）。 • 無線LANで接続している場合、同じ周波数を利用している周囲の機器から電波の干渉を受けている可能性があります。電波の干渉の少ない場所へ移動するか、アクセスポイントの設定を変更してください。 • 画面表示の一部が欠けてしまうことがあります。「更新」をタッチして再読み込みをしてください。 • 画像ファイルのリンクが切れている場合やファイルサイズが大きい画像の場合は、画像が正しく表示されません。
リンクを押してもページが表示されない。	• 本機で対応していない形式のファイルは表示できません。 • JavaScriptを使っているホームページを表示する場合、正しく表示されなかったり、何度も読み込みを繰り返したりすることがあります。設定画面で「JavaScriptの実行」を「しない」にすると正しく表示されることがあります（167ページ、ただし通常は「JavaScriptの実行」を「する」にしておいてください）。 • リンク先をタッチして別のウィンドウが開くホームページの場合は、本機では表示できないことがあります。

症状	原因および処置
指定したホームページが表示されない。	• 指定したホームページが混み合っている。しばらくしてからもう一度接続してください。 • URLが間違っている。大文字と小文字の間違いや「.」と「、」、「_」と「-」などの区別を確認してください。 • DNSサーバーの設定が間違っている。DNSサーバーの設定を確認してください。DNSサーバーの設定が正しくないと、ホームページに接続できません。 • Proxyサーバーの設定が間違っている。Proxyサーバーの設定を確認してください。Proxyサーバーの設定が正しくないと、ホームページに接続できません。
ホームページが表示されるのに時間がかかる。	• 接続先のサーバーに接続が集中している。しばらくしてから、もう一度接続してください。
「ホームページを表示」をタッチして選んでも何も表示されない。	• 「ホームの設定」がされていません。ホームにしたいホームページの場所（URL）を直接入力してください（160ページ）。

ファイルブラウザを使う

症状	原因および処置
テキストファイルが文字化けする。	• 以下の操作を行って、文字コードを変更してください。 **1** MENUボタンを押す。 **2**「表示」をタッチする。 **3**「文字コード変換」をタッチする。

PDFを見る

症状	原因および処置
XYZ本体でPDFを表示させると、パソコンと違う色で表示される。	• 「Adobe Reader LE*」でサポートされていないカラーセットやフォントなどを使っているPDFを表示しようとすると、パソコンと違う色で表示される場合があります。 * PDFを表示するためのソフトウェア

エラーメッセージ

XYZ本体

メッセージ	原因および処置
本体温度が低すぎるため起動できません。しばらくお待ちください。	• XYZ本体の温度が低すぎるため起動できません。しばらくしてXYZ本体の温度が上がるまでお待ちください。
ハードディスクの情報が読み出せませんでした。再度このメッセージが表示される場合は、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。	• ハードディスクが故障しているためXYZ本体を起動できません。お買い上げ店または、お客様ご相談センターまでお問い合わせください。
ファイルシステムの情報が読み出せないため、アプリケーションが正しく動作できません。再起動してもこのメッセージが表示される場合は、取扱説明書に従って対処してください。	• ファイルシステムが壊れているためデータを正しく読み込めません。お買い上げ店もしくはお客様ご相談センターまでお問い合わせください。
ファイルシステムを修復しています。この処理には数分かかることがあります。	• ハードディスクの内容を修復しています。電源を切ったり、エンジンを切らずに、そのまましばらくお待ちください。また、この処理は、10分ほどかかることがあります。

ナビゲーション

メッセージ	原因および処置
「地図データ」がありません。表示を変更します。	• 該当する地域の地図データが削除されたためXYZ本体にありません。XYZマップマネージャーを使って地図データを転送してください。
この縮尺の「地図データ」はありません。縮尺を変更します。	• 該当する地域の詳細市街地図データがありません。XYZマップマネージャーを使って地図データを転送してください。

ビデオを見る

メッセージ	原因および処置
このコンテンツは再生できません。	• XYZ本体では再生できない形式のビデオファイルです。ビデオファイルの形式を確認してください。再生できるファイルについて詳しくは、114ページをご覧ください。

写真を見る

メッセージ	原因および処置
CFカードをマウントできません。	• “CFカード”を読み取れません。XYZ本体から取りはずして、もう一度挿入してみてください。また、パソコンなど他の機器で読み取れるか確認してください。
メモリースティックをマウントできません。	• “メモリースティック”を読み取れません。XYZ本体から取りはずして、もう一度挿入してみてください。また、パソコンなど他の機器で読み取れるか確認してください。

メールを使う

メッセージ	原因および処置
文字コード変換エラーが発生しました。	• 受信したメールの文字を正しく表示できません。パソコンなどに転送してご覧ください。

ホームページを見る

メッセージ	原因および処置
保存されているページの情報を参照できませんでした。	• XYZ本体に一時的に保存されているページの情報を読み取れません。ネットワークに接続して、もう一度ページを読み込んでください。
現在のページはブックマークに登録できません。	• ブックマークに登録できないページです。関連する他のページが登録できるか確認してください。

PDFを見る

メッセージ	原因および処置
指定されたページは見つかりませんでした。	• 正しいページ番号を入力してください。
しおり情報を正しく取得できませんでした。	• ファイルが壊れている可能性があります。ファイルを確認してください。
ディスクの空き容量が不足しています。	• ファイルブラウザで不要なファイルを削除してから、もう一度開いてください。
指定されたファイルは、暗号化されているため開けません。	• XYZ本体では見ることができません。お手持ちのパソコンへ転送してご覧ください。
指定されたファイル名で保存できません。	• 現在開かれている可能性があります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この「取扱説明書」をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではナビゲーションシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

用語集

ア行

アクセスポイント

ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口のことです。
一般的には、ユーザーが公衆回線を使ってインターネットに接続するために、プロバイダやネットワーク運営者が用意している通信機器やその電話番号を指します。

アニメーションGIF

GIF形式の画像をコマ送りして動画を表現するファイルです。ウェブブラウザによっては、GIF形式の画像は表示できても、アニメーションGIFは再生できないものがあります。

インターネット

世界中のコンピューターが接続された通信網のことです。メールや情報検索サービスなどが利用できます。

引用符（>）

届いたメールの本文を返信の中に含めるときに行頭に付く記号のことです。相手の質問に対する返事というように区別できます。

カ行

ガイドポイント

推奨ルート上の、案内すべき交差点、高速出入口、高速分岐及び経由地のことです。

軌跡

地図上で、自車がそれまでに走ってきた道に付く印（点）です。本機では、現在地表示画面やナビゲーション画面で、最大5,000ポイント（点表示）の軌跡を表示します。
（本機は地図の縮尺に合わせて、見やすい間隔で軌跡を表示するので、広域な地図では5,000ポイントまで表示されません。）

くるぴ

リモコンのセンタージョグを「くるくる」回して、「ぴっ」と押し込んで決定することから付いたメニュー名称です。
ショートカットメニューが表示され、本機ではルートの探しかたや地図の表示方法などが選べます。

ゲートウェイ

ネットワーク同士を接続するときに必要なハードウェアやソフトウェアのことです。
接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマットやアドレス、プロトコルなどを変換します。

コーデック（CODEC）

デジタルビデオやデジタルオーディオのデータを圧縮したり、もとに戻したりするときに使用されるプログラムのことです。本機では、音声圧縮規格のMP3やATRAC3のことを示しています。

サ行

サーバー

ユーザーの使うコンピューターに対して何らかのサービスを提供するコンピューターやソフトウェアのことです。

自律航法

車速パルスとジャイロセンサーを用いて自車位置を検出する測位方法のことです。
車速パルスから車が走った距離を測定し、ジャイロセンサーから車の進行方向が測定されます。この2つの情報から、GPS衛星の電波状態に関係なく、現在位置を表示します（このとき、GPSの情報は累積する誤差の解消に利用されます）。したがって正確な測位のためには、車速パルスとバックセンサーをナビゲーションに正しく接続する必要があります。また、ジャイロセンサーを有効に働かせるために、拡張ステーションをしっかり固定する必要があります（詳しくは、別冊の「取り付けと接続」をご覧ください）。

車速パルス

車が移動した距離を知るための信号です。車載のコンピューターより検出する車速センサーからの信号をナビのコンピューターで計算し、常に正確な自車位置を求めるシステムです。

詳細地図

道路や建物の形を忠実に再現した地図のことです。50mスケール以下で利用できます。

署名

シグネチャ。メールの本文の末尾にあって、名前や連絡先、メールアドレスなどを記述するメッセージのことです。

測位（Positioning）

3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機は、測位した自車の現在地を地図上に表示します。2個以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、現在地を測位できません。

タ行

ダイヤルアップ接続

インターネットを使う目的で（TCP/IPプロトコルで）、電話回線を使って必要なときだけプロバイダに接続することです。

電波ビーコン

都市間高速道路でVICSセンターが提供する情報提供手段の1つです。
提供する情報としては、現在地位置データ、渋滞/規制/駐車場/看板情報などの動的情報。また、方向識別信号により、自車の走行方向を識別します。

時計表示

GPS衛星には原子時計が搭載されていて、正確な時刻信号電波を送信しています。本機動作中はこの時刻信号電波を受信しています。本機はこのデータを元に正確な時刻を表示します。

ナ行

ネットマスク

IPアドレスの一部で、サブネットを特定するものです。

ハ行

光ビーコン

主要幹線道路でVICSセンターが提供する情報提供手段の1つです。
提供する情報としては、現在地位置データ、渋滞・規制などの動的情報です。

次のページにつづく

ぴっくる
リモコンのセンタージョグを「ぴっ」と押し込んでから「くるくる」回して選ぶことから付いたメニュー名称です。
ショートカットメニューが表示され、本機では「検索履歴」「ルート履歴」「マークから選ぶ」などが選べます。

ブックマーク
インターネットでお気に入りのホームページや頻繁に見るホームページの登録のことです。
一度登録すると、ホームページを見たいときにアドレスを毎回入力する必要がなくなり便利です。

プロバイダ
インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者のことです。

プロパティ
Windowsで、ファイルやディスク、プリンターなど各オブジェクトに関する情報をまとめたもののことです。たとえば、ファイルのプロパティでは、ファイルサイズ、作成日時、更新日時などを表示します。

ホームページ
組織や個人が一般に情報を公開しているインターネットのページのことです。このページにリンクが張られている場合、リンクを選ぶと、あらかじめ指定された別のホームページを表示します。

ポップアップ画面
ガイドポイント表示及びVICS図形表示のことです。交差点拡大図や高速分岐案内、都市高速入り口案内、VICSレベル2簡易図形表示をする際にポップアップ画面を表示します。

マ行

マップマッチング
誤差によって実際に走行している道路からはずれて自車マークが表示される場合、そのずれを補正して必ず道路上に自車マークを表示させる機能です。
この機能は、走行する道路がマップマッチング用の道路として地図データに存在するときのみ働きます。

無線LAN
ワイヤレスLANともいいます。ケーブルを使わず、電波を使って通信を行うネットワークのことです。

メールアドレス
「Eメールアドレス」、または「電子メールアドレス」。メールの送信先や受信先の住所のことです。@（アットマーク）を間に挟んだアルファベットと数字記号の組み合わせで表されます。このアドレスを入力することで、相手にメールを送信できます。

“メモリースティック”
小型メモリーカードの規格の1つです。
本機では、“メモリースティック”に画像や音楽、ホームページを保存できます。

ヤ行

予測入力機能
入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測したりする入力機能のことです。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できます。

ラ行

ランドマーク
全国的によく知られたドーム球場や遊園地、公共施設など、ドライブの目印になる建物、場所を示すマークのことです。

リンク
表示しているホームページに関連のあるページのアドレスが埋め込まれているところのことです。

アルファベット順

“CF（コンパクトフラッシュ）カード”
小型メモリーカードの規格の1つです。
本機では、“CFカード”に画像や音楽、ホームページを保存できます。

Cookie
Webサーバーにアクセスしてきたユーザーを識別するための情報のことです。ホームページに再度アクセスした場合、保存されているCookieの情報がWebサイトに送信されます。オンラインショッピングなどのように利用者を識別する場合によく使われます。

DNS
Domain Name Systemの略です。
ネットワーク上に存在するすべてのコンピューターを識別するために割り当てられたネットワークアドレスや名称などの情報を収めたサーバーのことです。
ユーザーがネットワークに接続する際に、IPアドレスとドメイン名のインデックスの対応付けをすることによって、IPアドレスの代わりにドメイン名を使えるようにします。

ESS-ID
Extended Service Set Identificationの略です。無線LANの中で特定のグループを識別するための情報です。

GPS
Global Positioning Systemの略です。
このシステムはGPS衛星（人工衛星）から地上に放射される位置測定用の電波を利用して、利用者の現在地（緯度・経度・高度）を知ることができるシステムです。地球の周り高度約21,000kmにはGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためのものですが、民間用にもその使用が開放されています。

IPアドレス
TCP/IP（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。通常は、3桁の数字4組を点で区切ったものです（192.168.239.1など）。

JavaScript
ホームページを作成するための言語の1つです。本機の設定で「JavaScriptの実行」に設定するとJavaScript対応のホームページを見ることができます。JavaScript対応のホームページが正常に表示されない場合や、表示したくないときは「しない」を選びます。

LAN
ローカルエリアネットワーク（Local Area Network）の略です。
オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピューターやプリンター、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称です。

MACアドレス
Media Access Control の略です。LAN 回線などの配線の上につながっている機器を識別するために機器ごとに割り当てられている番号です。

PDF
Portable document formatの略です。
米アドビシステム社が開発した文書表示用のファイル形式です。テキストや画像だけでなく、レイアウトやフォントの情報などもファイルに収められています。そのためパソコンやOSの種類にかかわらずオリジナル文書のまま保存できます。

Plug-in（プラグイン）
ウェブブラウザなどに動画再生などの機能を追加するプログラムです。

POP3
Post Office Protocol version 3 の略です。
メールを受け取るときに必要なプロトコルのことです。

Proxy（プロキシ）
外部のコンピューターと通信を行うサーバーのことです。キャッシュ機能によってインターネットのホームページなどを高速表示できるプログラムまたはサーバーです。

SMTP
Simple Mail Transfer Protocol の略です。
メールを送るときに必要なプロトコルのことです。

URL
Uniform Resource Locatorの略です。インターネット上の情報（ホームページ）のアドレスのことです。アドレスを入力すると、特定のホームページを表示します。ただし、1文字でも間違えると、閲覧したいホームページは表示されません。

VICS
Vehicle Information and Communication Systemの略です。
最新の道路交通情報をドライバーにリアルタイムに提供する官民学共同の道路交通情報通信システムのことです。本機では、拡張ステーション接続時、渋滞、交通規制などの情報や、駐車場の混雑状況などを受信できます。

WEPキー
電波に乗せるデータを暗号化するセキュリティ機能のことです。

メニュー索引

MENUボタンを押すときの画面によって、設定できる項目が異なります。

アプリケーション選択画面

MENU

ナビゲーション

MENU

- 行き先を決める
  - ジャンルで探す ▶ P.46
  - 住所で探す ▶ P.47
  - 電話番号で探す ▶ P.48
  - シチュエーションで探す ▶ P.49
  - 名称で探す ▶ P.49
  - マークで探す ▶ P.50
  - その他の方法で探す
    - 最寄で探す ▶ P.50
    - 検索履歴で探す ▶ P.51
    - ルート履歴で探す ▶ P.51
    - 郵便番号で探す ▶ P.51
    - 緯度経度で探す ▶ P.52
  - 自宅に帰る ▶ P.52
- ルート情報/案内を見る
  - ルート案内を開始/終了する ▶ P.54
  - ルート設定を編集する
    - 複数ルートで探す ▶ P.60
    - ルートを探す ▶ P.60
    - ルートを編集する ▶ P.61
    - ルートを消去する ▶ P.57
  - シミュレーション開始 ▶ P.58
  - モーションガイドデモ ▶ P.58
  - 案内方法を設定する
    - オートリルート ▶ P.57
    - 渋滞回避オートリルート ▶ P.57
    - 音声案内 ▶ P.57
    - 案内ポップアップ表示 ▶ P.57
    - 方面看板表示 ▶ P.57
    - 目的地方位表示 ▶ P.57

次のページにつづく

メニュー索引（つづき）

- ナビの設定をする
  - 地図の表示を設定する
    - 駐車場表示 ▶ P.68
    - 渋滞情報の点滅 ▶ P.68
    - 取得時間の表示 ▶ P.68
    - ポップアップ情報の表示 ▶ P.68
    - ポップアップ情報の表示時間 ▶ P.68
    - ビーコン受信のチャイム通知 ▶ P.68
    - ビーコン情報を消す ▶ P.68
    - メインマップ表示方向 ▶ P.77
    - サブマップ表示方向 ▶ P.77
    - ビュー切り替え ▶ P.42、43
    - 簡易マップ自動切替え ▶ P.77
    - 走行軌跡の表示 ▶ P.77
    - 走行軌跡の消去 ▶ P.77
    - 地図カラーの自動切替え ▶ P.77
    - 地図カラー設定 ▶ P.77
    - 方面ガイドスクロール ▶ P.77
    - 3Dマップを調整する ▶ P.77
    - 立体ポリゴン表示 ▶ P.77
    - 立体ランドマーク表示 ▶ P.77
    - 一方通行表示 ▶ P.77
  - マークを編集する ▶ P.78
  - ランドマークを設定する ▶ P.79
  - 自車位置を修正する ▶ P.79
  - 自車マークを変更する ▶ P.79
  - 接続情報を確認する ▶ P.79
  - GPS受信状況を確認する ▶ P.80
  - 車種を設定する ▶ P.80

次のページにつづく →



テレビを見る

MENU

- ツールバーを隠す/表示 ▶ P.94
- テレビ設定
  - 音声画面設定 ▶ P.94
  - オートプリセット ▶ P.94



AUX入力

MENU

- 音声画面設定
  - 画面サイズ ▶ P.101
  - 画質調整 ▶ P.101
  - 入力レベル設定 ▶ P.101



音楽を聞く

MENU

- 再生 ▶ P.110
- 再生モード
  - 再生モードオフ ▶ P.110
  - 1曲リピート ▶ P.110
  - アルバムリピート ▶ P.110
  - トラックシャッフル ▶ P.110
  - アルバムシャッフル ▶ P.110
  - シャッフル&リピート ▶ P.110
- 次のアルバム ▶ P.110
- 前のアルバム ▶ P.110
- ビジュアライザ ▶ P.110
- 情報を見る ▶ P.110

ビデオを見る

MENU

- ツールバーを隠す/表示 ▶ P.118
- しおり追加 ▶ P.118
- 早見再生 ▶ P.118
- 通常再生 ▶ P.118
- スロー再生 ▶ P.118
- リピートON/OFF ▶ P.118
- 続きから再生 ▶ P.118
- 先頭から再生 ▶ P.119
- しおり再生 ▶ P.119
- しおり削除 ▶ P.119
- 設定
  - 情報を見る ▶ P.119
  - ビデオ設定
    - シーンサーチON/OFF ▶ P.119
    - 音声画面設定 ▶ P.119
    - 連続再生設定ON/OFF ▶ P.119
  - システム設定 ▶ P.119

フォトビューワー

MENU

- 画面切替
  - スパイラルON/OFF ▶ P.130
  - カレンダー ON/OFF ▶ P.130
  - スライドショー ▶ P.130
- 編集
  - 回転
    - 右90度 ▶ P.130
    - 左90度 ▶ P.130
  - 並べ替え
    - 名前（昇順） ▶ P.130
    - 名前（降順） ▶ P.130

次のページにつづく

メール

MENU

- 送信 ▶ P.156
- 受信 ▶ P156
- 検索 ▶ P.156
- 一覧形式の変更 ▶ P.156

- 設定
  - メール設定
    - メール振り分け設定 ▶ P.154
    - シグネチャ設定 ▶ P.154
    - メール情報初期化 ▶ P.154
- メール終了 ▶ P.154、156
- すぐに送信 ▶ P.155
- 送信箱に保存 ▶ P.155
- 草稿箱に保存 ▶ P.155
- Cc,Bccの設定 ▶ P.155
- ファイル添付 ▶ P.155
- メール編集中止 ▶ P.155
- このメールに返信 ▶ P.156
- このメールをごみ箱へ ▶ P.156
- このメールを移動 ▶ P.156
- ごみ箱の全メールを削除 ▶ P.156
- このメールを削除 ▶ P.156
- 前のメールを読む ▶ P.157
- 次のメールを読む ▶ P.157
- 返信/転送/編集
  - このメールに返信 ▶ P.157
  - 全員に返信 ▶ P.157
  - 転送 ▶ P.157
  - 引用して新規作成 ▶ P.157
- 添付ファイル一覧 ▶ P.157
- 差出人をアドレス帳に登録 ▶ P.157
- メール一覧に戻る ▶ P.157
- このグループの名称変更 ▶ P.158

次のページにつづく

Webブラウザ

MENU

- 検索 ▶ P.166
- 文字サイズ ▶ P.167
- 文字コード変換 ▶ P.167

- ネットワーク接続 ▶ P.167
- 設定
  - WEBブラウザ設定
    - アニメーションGIF ▶ P.167
    - JavaScriptの実行 ▶ P.167
    - Plug-inの実行 ▶ P.167
    - Cookieの設定 ▶ P.167
    - 起動時に表示するページ ▶ P.167
    - ホームの設定 ▶ P.168
  - WEBブラウザ初期化 ▶ P.168
- WEBブラウザを終了 ▶ P.168



ファイルブラウザ

MENU

- 開く ▶ P.173
- サムネイル表示 ▶ P.173
- 編集
  - コピー ▶ P.173
  - 移動 ▶ P.173
  - 削除 ▶ P.173
  - 名前の変更 ▶ P.173
  - フォルダ新規作成 ▶ P.173
  - フォーマット ▶ P.173
- CFカードを取りはずす ▶ P.174
- 情報を見る ▶ P.174

次のページにつづく →

PDFを見る

MENU

- 操作
  - ファイル
    - 開く ▶ P.179
    - 保存 ▶ P.179
  - ズーム
    - 縮小 ▶ P.179
    - 拡大 ▶ P.179
  - 実際の大きさ ▶ P.179
  - 幅に合わせる ▶ P.179
  - 全体表示 ▶ P.179
  - 回転
    - 右90度 ▶ P.179
    - 左90度 ▶ P.179
- 表示
  - PDF画面 ▶ P.179
  - しおり ▶ P.179
  - サムネイル ▶ P.179
- 移動
  - 最初のページ ▶ P.179
  - 最後のページ ▶ P.179
  - ページ指定 ▶ P.179
  - 前の画面 ▶ P.179
  - 次の画面 ▶ P.179
- 設定
  - スクロールバー（水平）
    - 表示 ▶ P.180
    - 非表示 ▶ P.180
  - スクロールバー（垂直）
    - 表示 ▶ P.180
    - 非表示 ▶ P.180
- CFカードを取りはずす ▶ P.180
- Adobe Reader LEの終了 ▶ P.180

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

その他

次のページにつづく

索引（つづき）

ジェスチャー操作の説明

画面に円や直線を描くようにタッチすると（ジェスチャー操作）、よく使う機能を簡単に行えます。ジェスチャー操作できるのは、「ナビゲーション」、「テレビを見る」、「音楽を聞く」、「ビデオを見る」、「AUX入力」のときのみです。詳しい操作方法については、下表をご覧ください。

アプリケーション	機能	ジェスチャー操作	
ナビゲーション	地図をスクロールする	↖↑↗←→↙↓↘	地図画面（2画面表示のサブマップ、簡易マップは除く）で、スクロールする方向（8方向）へなぞる
	地図の縮尺を広域/詳細にする	↻/↺	地図画面で、右回り/左回りになぞる
	自宅までのルートを探索する（自宅が登録されている場合のみ）	∧/∧	地図画面で、「へ」の字になぞる
	決定メニューを表示する	∨/∨	地図画面（簡易マップは除く）で、「V」字になぞる
テレビを見る	チャンネルを切り替える	↑/↓	全画面/2画面表示で、上/下へなぞる
	受信できる放送局を探してチャンネルを切り替える	←/→	全画面/2画面表示で、左/右へなぞる
	画面サイズを切り替える	↻/↺	全画面表示で、右回り/左回りになぞる*
	全画面表示にする		2画面表示で、画面をタッチする
	2画面表示にする	↳	全画面表示で、「L」字になぞる
音楽を聞く	一時停止/再生する		メイン画面で、画面をタッチする
	頭出しする	←/→	メイン画面で、左/右へなぞる
	次/前のアルバムを選ぶ	↑/↓	メイン画面で、上/下へなぞる
ビデオを見る	一時停止/再生する		ビデオ画面をタッチする
	全画面表示にする		2画面表示で、再生中に、ビデオ画面をタッチする
	2画面表示にする	↳	全画面表示で、「L」字になぞる
	頭出しする	↑/↓	全画面/2画面表示で再生中に、上/下へなぞる
	早戻し/早送りする	←/→	全画面/2画面表示で、再生中に、左/右へなぞる
	スロー再生する	→	全画面/2画面表示で、一時停止中に、右へなぞる
	画面サイズを切り替える	↻/↺	全画面表示で、右回り/左回りになぞる*
AUX 入力	画面サイズを切り替える	↻/↺	右回り/左回りになぞる*

* 右回りはノーマル→フル→ズーム、左回りはズーム→フル→ノーマルの順に切り替わります。